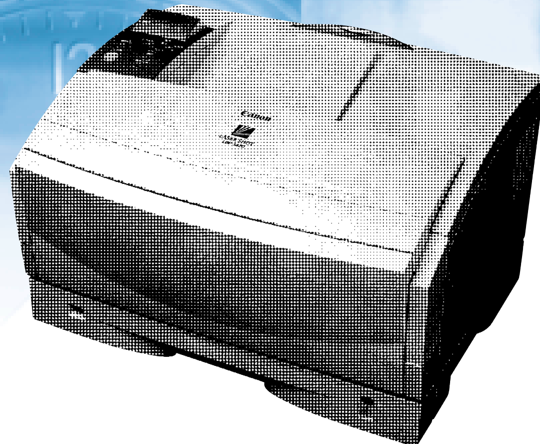
Canon



レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-1420

ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN



取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。



このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書CD-ROMに収められているPDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **パソコンと接続するには**
- **オプション品を取り付けるには**

設置ガイド  

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

かんたん操作ガイド 

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド（本書） 

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／スタート編 

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**
- **印刷するには**
- **添付ソフトウェアの使いかたを知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／本編 

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

LIPS 機能ガイド 

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成について

第1章 お使いになる前に 必ずお読みください

第2章 プリンタの使いかた 必ずお読みください

第3章 給紙・排紙のしかた 必ずお読みください

第4章 日常のメンテナンス

第5章 困ったときには

第6章 付録

おもな仕様、用語集、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを掲載しています。

巻末に、操作パネルで設定できる項目を階層で示した「メニュールートマップ」があります。設定項目や設定値を知りたいときにご活用ください。

- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

目次

第4章　日常のメンテナンス

第5章　困ったときには

第6章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP-1420 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：[キー名称]

  例：[ユーティリティ]
  　　[実行]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

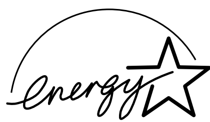
Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版：	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows® operating system：	Windows
LASER SHOT LBP-1420：	LBP-1420

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot、PageComposerは、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery、LASER SHOT、MaxiMem、TypeWing は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、EtherTalk、Mac OS、Macintosh、TrueTypeは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。

IBM、PowerPCは、米国International Business Machines Corporationの商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Novell、NetWare®は、米国Novell, Inc.の商標です。

UNIX は、The Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernetは、米国Xerox Corporationの商標です。
NetHawkは、キヤノンイメージングシステムテクノロジーズ株式会社の商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律	● 刑法 ● 著作権法 ● 通貨及証券模造取締法 ● 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	● 郵便法 ● 郵便切手類模造等取締法 ● 印紙犯罪処罰法 ● 印紙等模造取締法

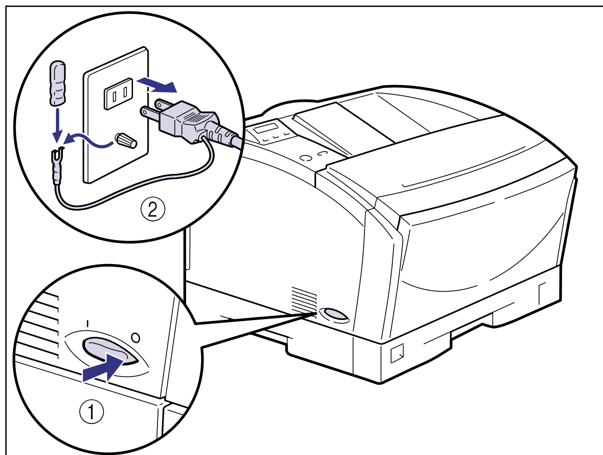
安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし①、電源プラグを抜いて②、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器



注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所

・雨や雪が降りかかるような場所
・水道の蛇口付近などの水気のある場所
・直射日光のあたる場所
・高温になる場所
・火気に近い場所

- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。（→プリンタを移動する：P.4-38）

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]
  ・電源コンセントのアース線端子
  ・接地工事（D種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]
  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。
  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

注意

- 表示された以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

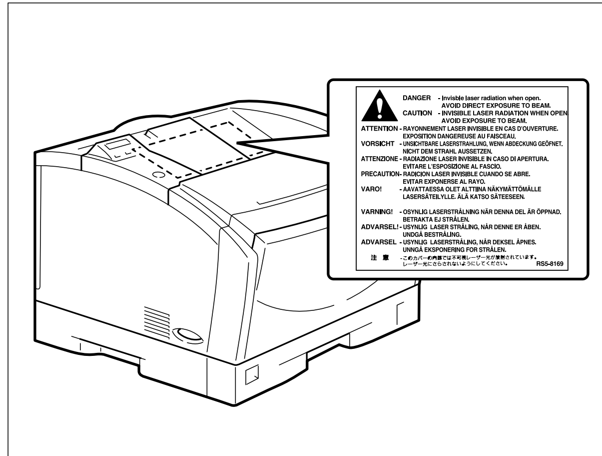
警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM の取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。
・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因となることがあります。



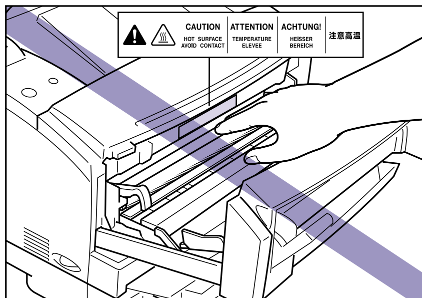
保守／点検について

警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺には触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気の近くに保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もし、カートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

1

CHAPTER

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長

本プリンタのおもな特長を説明しています。

■ コンパクトなオフィスレーザプリンタ

USBコネクタを標準装備し、付属のWindows & Macintosh版プリンタドライバで簡単にレーザプリントが可能です。また、印字速度20ppmのA3対応プリンタながら、設置スペースを取らない軽量コンパクトボディを実現。A3、B4サイズやA4見開きのプリントが身近になりました。

■ 高速プリント

20ppm（A4横送り時）の高速エンジンに高性能RISCプロセッサPowerPCとスーパー・レーザショット・チップで構成された新開発の高速コントローラを搭載して超高速処理を実現しました。メモリ効率化機能「MaxiMem」、TrueTypeフォントを高速出力する「TypeWing」機能の強化により、快適な高速プリントを可能にしました。

■ エコロジー

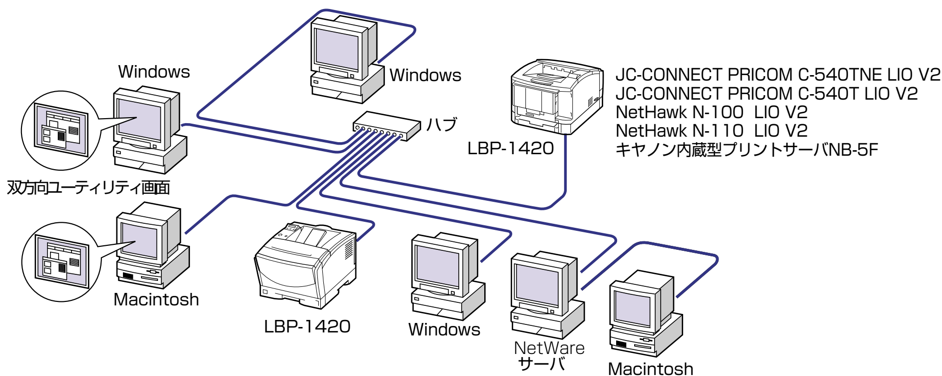
オフィス機器における省エネルギー化推進のための国際的なプログラムである「国際エネルギースタープログラム」の基準に適合しています。さらにスタンバイ時の消費電力を抑える「スリープモード」機能を搭載することで、低消費電力化を追求しています。また、トナーの使用量を約半分*に抑えて印刷するトナー節約モード機能を備える優れたエコロジープリンタです。

＊注　データによって異なります。

■ ネットワーク対応プリンタ

オプションの内蔵型プリントサーバを取り付ければ、Ethernetのネットワークプリンタとして使用できます。IPX/SPX、TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI、EtherTalkのマルチプロトコルに対応します。

また、ネットワークの初期設定を簡単に行えるユーティリティソフト「NetSpot Device Installer」がプリンタに標準添付されています。



■ 多彩なペーパーハンドリング

標準の給紙トレイとユニバーサルカセットに加え、オプションで250枚ペーパーフィーダを用意。最大1100枚、5種類の用紙サイズの連続自動給紙を可能にしました。また、給紙トレイは、用紙サイズもはがきから最大A3にまで対応しており、多様な用途に応じた使い方を可能にしています。

■ 多機能プリンタドライバ

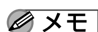
同梱のLIPS IVプリンタドライバでは、さまざまな設定がすぐに使える「お気に入り」メニューやオートパレット機能、オーバレイ印刷等の機能により操作性がさらに向上しました。また、複数のページを1枚の用紙にプリントする「複数ページ印刷」や、複数のプリントジョブを編集して製本プリントできる「Canon PageComposer」など、多彩なプリント機能を利用できます。

■ ユーザフレンドリー

同梱ソフトウェアとして、パソコン上でネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot Device Installer」、「NetSpot Console」と、プリンタの状態や印刷状態、自分の印刷が終わったかどうかをパソコン画面に知らせてくれる印刷終了通知等の機能を持った印刷ユーティリティソフトウェアの「NetSpot Job Monitor」を同梱しています。

■ TrueTypeフォント「FontGallery」同梱

キヤノンのTrueTypeフォントでお馴染みの「FontGallery」を同梱しました。
WindowsのみでなくMac OSにも対応可能となり、幅広いビジネスをサポートします。
和文20書体、かな31書体、欧文100書体を標準でCD-ROMに収録しています。
また、かなフォント組み替えユーティリティ「FontComposer」により、FontGalleryの各種TrueTypeフォントのかな部分（ひらがな、カタカナ、記号文字等）との組み替えが簡単に行え、より豊かな文章表現が可能です。



同梱のプリンタドライバや各種ユーティリティソフトウェアの対応OSについては、「LIPSソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

本体

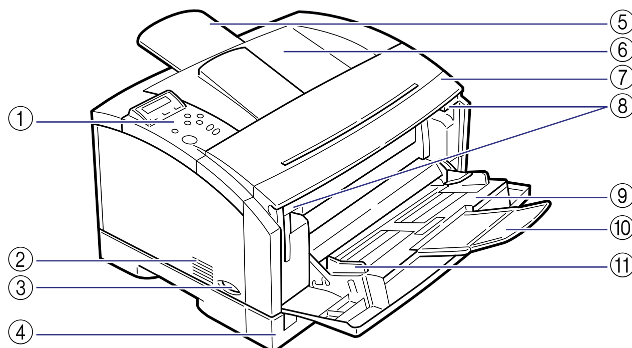
プリンタ本体と各部の名称と機能を説明しています。

注意　本プリンタには通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になる事があります。

前面

前面の各部の名称と機能を説明しています。

メモ　操作パネルに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。



① **操作パネル**
プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。（→P.1-8）

② **吸気口**
本体内部冷却用ファンの吸気口です。

③ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン/オフします。
（→P.2-4）

④ **給紙カセット**
最大250枚までのA3、B4、A4R、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、レジャーサイズの普通紙がセットできます。また、ラベル用紙（A4）もセットできます。（→P.3-17）

⑤補助トレイ
B4 や A3 などの大きな用紙を排紙するときは、補助トレイを引き出します。

⑥ 排紙トレイ
プリントされた用紙が下向き（フェースダウン）で排紙されます。（→P.3-16）

⑦ 前カバー
トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときにここを引き出して作業します。（→P.4-5 、5-7）

⑧ 開閉レバー
前カバーのロックを解除します。両側を下げると、前カバーを引き出すことができます。（→P.4-5 、5-7）

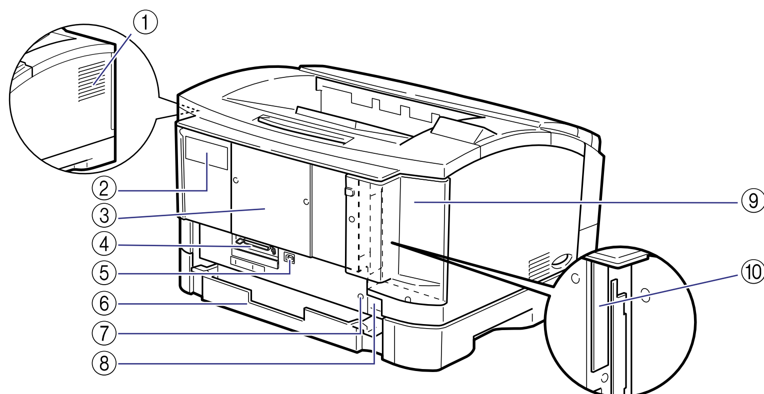
⑨ 給紙トレイ
用紙を給紙トレイから給紙するときに、用紙をセットします。（→P.3-30）

⑩ 補助トレイ
B4 やA3 サイズなどの大きな用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。（→P.3-31）

⑪ 用紙ガイド
給紙トレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限ガイドが付いており、このガイドの下まで用紙をセットできます。

背面

背面の各部の名称と機能を説明しています。



① **排気口**

プリンタ内部冷却用の排気口です。

② **定格銘板ラベル**

プリンタ識別のためのシリアルナンバー（Serial No.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値（6.6A）は、平均消費電流です。（→P.6-20）

③ **スロットカバー**

RAM を取り付けるときにこのカバーを開けて作業します。

④ **パラレルコネクタ**

IEEE1284 準拠の 8 ビットパラレルインタフェースケーブルの接続部です。パソコンのプリンタポートがパラレルインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。

⑤ **USB コネクタ**

USB インタフェースケーブルの接続部です。パソコンがUSB インタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。

⑥ **給紙カセット後部**

縦送りの用紙をセットした場合、給紙カセット後部が背面に延長されます（延長カセット）。付属のカセットカバーを取り付けます。（→P.3-29）

⑦ **アース線端子**

市販のアース線を接続するときは、この端子に接続します。

⑧ **電源コード差し込み口**

付属の電源コードをここに接続します。

⑨ **拡張ボードスロットカバー**

拡張ボードスロット部を保護するカバーです。必ず取り付けた状態でプリンタを使用してください。

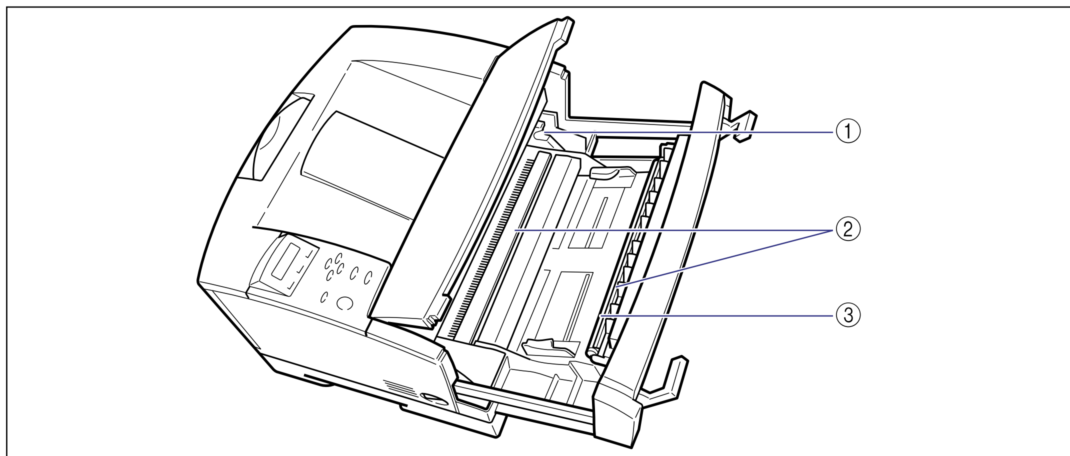
⑩ **拡張ボードスロット**

オプションのプリントサーバなどをここへ取り付けます。

前カバー内部

前カバー内部の各部の名称と機能を説明しています。


除電ユニット、転写ローラには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。



① **トナーカートリッジガイド**

トナーカートリッジをセットするとき、両端の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。

② **除電ユニット**

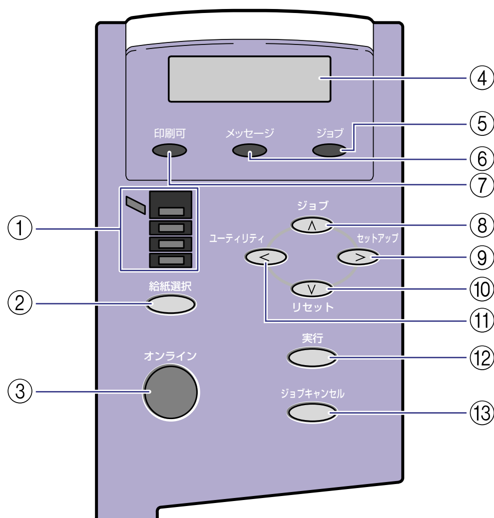
プリント時に用紙の帯電を取り除く重要な部品です。

③ **転写ローラ**

プリント時にトナーを用紙に転写させる重要な部品です。

操作パネル

本プリンタ上面には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。



① 給紙元表示ランプ（緑色）

点灯：
現在選択されている給紙元のランプが点灯します。

点滅：
現在選択されている給紙元の用紙がない、または給紙カセットが装着されていない状態。

消灯：
現在選択されていない状態。オプション品を含む給紙カセットが装着されていない状態。

② ［給紙選択］キー

オフライン時：
給紙選択メニューを表示します。

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

給紙選択メニュー時：
給紙元やトレイ用紙サイズの設定値が順に切り替わります。

③ ［オンライン］キー／オンラインランプ

パソコンとの接続をオン（オンライン）／オフ（オフライン）します。
他のキーを操作するときには、このキーを押して、オフラインにします。また、エラーが発生してプリンタが停止したときに、そのエラーを一時的に解除してプリントを続行させる機能も持っています。ただしエラーによっては、このキーを押しても解除できないことがあります。
キー内部にオンラインランプがあり、点滅により次の状態を表示します。

点灯：
オンライン状態（パソコンからプリントデータを受信できる状態）。

点滅：
オンラインからオフラインへ切り替え途中の状態。自己診断中。ウォーミングアップ中。

消灯：
オフライン状態（パソコンからのプリントデータを受信せず、操作パネルのキー操作を受け付ける状態）。ただし、プリンタがスリープモードに移行しているときは、オンライン状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみ点灯します。（→P.2-8）

④ ディスプレイ

プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。（→次項目）

⑤ ジョブランプ（緑色）

点灯：
プリントデータ受信中または、プリンタのメモリにプリントデータが残っている状態。

点滅：
プリントデータを処理している状態。

消灯：
プリンタのメモリにプリントデータが何もない状態。

⑥ メッセージランプ（オレンジ色）

点灯：
プリンタに何かトラブルが起こってプリントできない状態。（オフラインモードでスリープモードに入った場合は、メッセージランプ（オレンジ）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。）

消灯：
プリンタが正常な状態。

⑦ 印刷可ランプ（緑色）

点灯：
プリント可能な状態。（オンラインでスリープモードに入った場合は、印刷可ランプ（緑）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。）

点滅：
自己診断中または、ウォーミングアップ中。

消灯：
プリントできない状態。

⑧ ［ジョブ］（∧）キー

オフライン時：
動作モードメニューを表示します。

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：
ひとつ前のメニュー（上の階層）へ戻します。

⑨［セットアップ］（＞）キー

オフライン時：
セットアップメニューを表示します。

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：
メニューの右側の項目を表示します。設定値を増やします。

⑩［リセット］（∨）キー

オフライン時：
リセットメニューを表示します。

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：
次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。

⑪［ユーティリティ］（＜）キー

オフライン時：
ユーティリティメニューを表示します。

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：
メニューの左側の項目を表示します。設定値を減らします。

⑫［実行］キー

オフライン時：
オフライン状態では動作しません。

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：
次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。

⑬［ジョブキャンセル］キー

オフライン時：
ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。ジョブランプ消灯時は、動作しません。

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

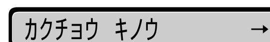
ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

印刷可能な状態

①②

操作パネルでメニュー操作中の状態



① **状態、動作欄**

プリンタの状態や動作モードを表示します。

② **給紙元、用紙サイズ欄**

現在選択されている給紙元の用紙サイズを略号で表示します。次の用紙は略号で表示されます。(A5縦：A5R、B5縦：B5R、A4縦：A4R、レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、エグゼクティブ：EX、エグゼクティブ縦：EXR、フリー：FR、ハガキ：HG、往復ハガキ：HG2、洋形4号封筒：Y4、洋形2号封筒：Y2、ユーザペーパー：80～99)

2

CHAPTER

プリンタの使いかた

この章では本プリンタの基本的な使用方法について説明しています。

ソフトウェアをインストールする

パソコンからプリントするには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。お使いのパソコンやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windowsの場合

Windows からプリントするときは、本プリンタに付属の CD-ROM から、プリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

メモ　プリンタドライバやユーティリティソフトの対応OS、インストールのしかた、詳細については、「LIPSソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

■ LIPS IVプリンタドライバ

Windowsアプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

■ NetSpot Device Installer

パソコンからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installerはパソコンへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定を行うことができます。

■ NetSpot Console

パソコンからネットワークで接続したプリンタの管理を行うユーティリティソフトです。デバイスの一覧表示やマップ表示、プロトコルの詳細な設定、デバイスの状態の表示や通知、ジョブ操作など、さまざまな情報の設定や表示を行うことができます。NetSpot Consoleは1台のパソコンにインストールすることで、ネットワークに接続されているパソコンからWebブラウザを使用して利用できるようになります。

■ NetSpot Job Monitor

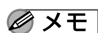
プリンタの状態をパソコンの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

メモ　「NetSpot Job Monitor」は、双方向パラレルインタフェースに対応しています。
「NetSpot Job Monitor」で双方向通信を行う場合は、双方向対応のインタフェースケーブルが必要です。

Macintoshの場合

Macintoshからプリントするときは、付属のCD-ROMからプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。

本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。



プリンタドライバやユーティリティソフトの対応OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPSソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

■ LIPS IVプリンタドライバ

Macintoshアプリケーションソフトからプリントするときに必要なソフトウェアです。EtherTalk接続用プリンタドライバとUSB接続用プリンタドライバの2種類があります。接続方法に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

■ プリントモニタ

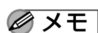
プリンタの状態をパソコンの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。プリンタドライバと一緒にインストールされます。

■ NetSpot Device Installer

パソコンからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installerはパソコンへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定を行うことができます。

ネットワークに接続している場合

ネットワークに接続している場合は、本プリンタに付属のCD-ROMから、ネットワーク管理ソフトとプリンタドライバを、各クライアントパソコンにインストールします。インストールのしかたや詳細については、「LIPSソフトウェアガイド／本編」やプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。



- 本プリンタをネットワークに接続した場合、Config　Printを行ってプリントサーバのMACアドレスなどを確認し、ネットワークOS（NetWare、UNIXなど）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。これらの設定についてはネットワークOSやプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。
- ネットワークに接続して使う場合のオプションのプリントサーバについては、設置ガイド「第2章 プリンタの設置」を参照してください。
- DNSホスト名やDNSドメイン名、IPPプリンタのURLなどの名称には、なるべく半角英数字を使用してください。全角文字（2バイト文字）を使用すると、それらの名称がConfig Printに“□”でプリントされる場合がありますが、動作には問題はありません。

電源のオン、オフ

本プリンタの電源は、本体左側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

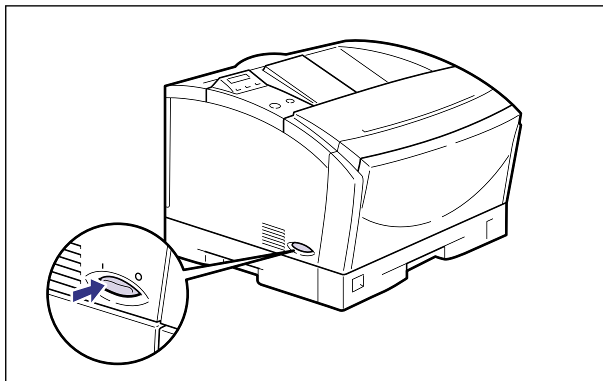
電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチの"I"側を押し、オンにします。本体やオプション品の状態チェックを実行した後、プリント可能な状態になります。

重要

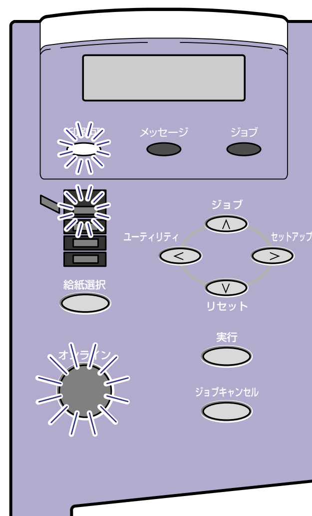
- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにしたあとに再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから3秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」(→P.5-15)、「サービスコール表示」(→P.5-28)を参照してください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が1枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

1 **本体の電源スイッチの"I"側を押します。**



操作パネルのランプやディスプレイが点灯し、本体やオプション品の状態を自己診断します。

自己診断の結果異常がなければ、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00　LIPS」と表示されてプリント可能な状態になります。



ディスプレイには、次の情報が表示されます。

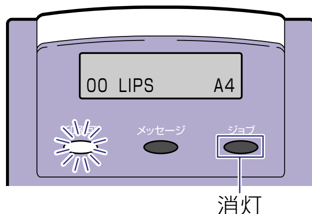
プリント可能で処理中のプリントデータがない状態	00 LIPS　A4	現在選択されている給紙元の用紙サイズ

電源をオフにする

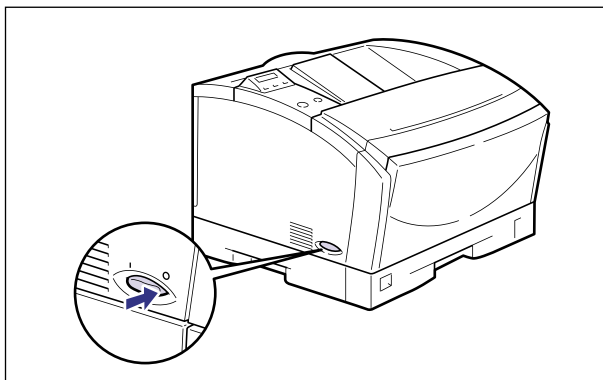
本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

重要
- ネットワークに接続している場合は、他のパソコンからプリントしていないか確認してから、電源をオフにしてください。
- ジョブランプが点灯している状態で電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っているプリントデータは消去されます。必要なプリントデータは、出力し終わるまで待つかオフラインの状態で［リセット］を押して「ハイシュツ」を選択し、出力してから電源をオフにしてください。（→P.2-14）
- プリンタが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
  ・プリント中
  ・プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中
  ・ディスプレイに NVRAM 初期化中や NVRAM 書き込み中のメッセージが表示されているとき

1 ジョブランプが消灯していることを確認します。



2 本体の電源スイッチの"○"側を押します。



消費電力の節約（スリープモード）について

本プリンタは、何も操作せず、パソコンからもデータが送られてこない状態が一定の時間続くと、消費電力を節約するスリープモードに移行します。
操作パネルのキーを操作したり、エラーが起きると自動的にスリープモードは解除されます。また、オンライン状態ではデータを受信した場合にもスリープモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもスリープモードが解除されます。

重要

- スリープモードに移行する時間は、工場出荷時の状態で「15フン」に設定されています。この設定は、メニュー機能で「15フン」、「30プン」、「60プン」に設定できます。また、スリープモードに移行しないように設定することもできます。詳細については、LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- 本体左側面にある電源スイッチの“○”側を押した状態では、消費電力は0Wになります。

メモ

本プリンタはオフライン状態でもスリープモードに移行しますが、次のようなオフライン状態のときは、設定時間が経過してもスリープモードには移行しません。
·「nn-nn　サービス　コール」（nnは2桁の英数字）が表示されている
· ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中
·「スリープ動作」の項目を「オンライン　ノミ」または「シナイ」に設定している

オンラインとオフライン

プリンタがパソコンからデータを受け取り、プリントできる状態を「オンライン」、パソコンとの接続が切り離され、データが受け取れない状態を「オフライン」といいます。操作パネルでメニューを操作するときは、プリンタをオフラインにしてから行います。

オンラインにする

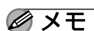
パソコンからプリントするときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。プリントするときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。

1 **［オンライン］を押します。**

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。



- プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。
- プリント中は、絶対に本体のカバーやカセットを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。



プリンタがスリープモードに移行しているときには、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみが点灯します。

オフラインにする

プリンタの操作パネルからメニューの操作や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などをするときは、プリンタはオフラインの状態になっていることが必要です。操作パネルのキーを使うときは、次の手順でオフラインにします。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

重要

- プリンタをオフラインにしたままパソコンからプリントすると、「プリンタの準備ができていません」、「プリンタが接続されていません」などのメッセージが表示され、プリントできません。
- 本プリンタは、オフラインにしたまま５分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のとき、またはメニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、自動的にはオンラインになりません。

プリンタの機能と設定方法について

本プリンタは、拡大／縮小プリントや複数ページ印刷、とじ幅の設定など、いろいろな機能を持っています。これらの機能を設定するには、プリンタドライバ、プリンタの操作パネルの２つの方法があり、それぞれの方法によって設定できる項目が多少異なります。

代表的な機能

本プリンタの代表的な機能を以下の表に示しています。○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。

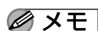
機能	機能の概要	プリンタドライバ	操作パネル
給紙選択	どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。	○	○
トレイ用紙サイズ	給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。	×	○
データ処理解像度*1	ファインモード（600dpi）、クイックモード（300dpi）のモードを設定します。	○	○
拡大／縮小*1	データを拡大または縮小してプリントします。	○	×
複数ページ印刷*1	拡大／縮小プリントの機能で縮小したデータを複数ページ並べて１枚の用紙にプリントします。	○	×
オーバレイプリント*1	LIPSのコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねてプリントします。	○	○*2
とじ方向	とじ代を作る辺（長辺または短辺）を設定します。	○	○
とじ幅	とじ方向で設定された辺のとじ代の幅を設定します。	○	○
トナー濃度	印字濃度を調節します。	×	○
トナー節約	トナーの消費量を節約するモードを設定します。	○	○

機能	機能の概要	プリンタドライバ	操作パネル
ブザー警告	エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。	×	○
スリープモード	プリンタの消費電力を節約するモードの設定をします。	×	○

*1 これらの機能は、プリンタドライバと操作パネルとで設定内容やプリント結果に違いがありますので気を付けてください。詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」や「LIPS機能ガイド」を参照してください。
*2 フォーム作成登録はLIPS コマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。

設定のしかた

プリンタの機能は、プリンタドライバやプリンタの操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。



- プリンタドライバのインストール方法や操作のしかたについては、「LIPSソフトウェアガイド／本編」およびプリンタドライバのヘルプを参照してください。
- プリンタの操作パネルからの操作方法については、「LIPS機能ガイド」を参照してください。

■ LIPS IVプリンタドライバ

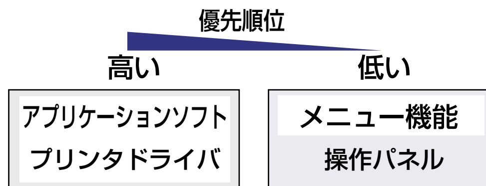
本プリンタに付属のLIPS IV プリンタドライバをパソコンにインストールし、プリンタ設定画面を表示して設定します。

■ プリンタの操作パネル

プリンタをオフラインにし、操作パネルのキーでメニューを選択して設定します。

設定の優先順位

設定した項目は、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタのメニュー項目に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。



プリント画質について

本プリンタは解像度を設定することによりプリント画質を変更することができます。解像度には、ファインモード、クイックモードがあり、印字のきめ細かさや濃淡の滑らかさなどを目的に応じて使い分けることができます。また、ファインモードのみ、高階調モードと標準モードの2つの階調モードを設定することができます。

解像度モードの種類

各解像度モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ ファインモード

ファインモードは、600dpiの高解像度モードです。キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジーにより、文字や線画などの線や階調を滑らかに再現できます。一般的な文書や表を高速に印刷する場合に適したモードです。

■ クイックモード

クイックモードは、300dpiの解像度でプリントするモードです。Windowsの出力で高解像度モードに対応していないアプリケーションソフトなどの出力に適したモードです。データ処理が300dpiで行われ、プリント処理がさらに速くなる場合があります。

階調モードの種類

階調モードには、標準モードと高階調モードの2つのモードがあり、通常は標準モードで処理されますが、解像度でファインモードが設定されていて、普通紙、OHPフィルムにプリントするときのみ高階調モードを設定することができます。各モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ 標準モード

一般的な文書や表を高速にプリントする場合に適したモードです。

■ 高階調モード

写真などを一般的な品質でプリントする場合に適したモードです。

解像度モードを設定する

■ Windowsからプリントする場合

解像度モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「ファイン」が選択されています。解像度モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［解像度］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintoshからプリントする場合

解像度モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

階調モードを設定する

■ Windowsからプリントする場合

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「パネル優先」が選択されています。階調モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［印字詳細］を押し、［階調］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintoshからプリントする場合

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

プリントを中止したいときは

パソコン側の操作でプリントを中止しても、すでにプリンタに一部データが送られている場合、プリントジョブが終わらないことがあります。そのような場合に、データを排出してプリンタ側の印刷処理を終わらせたり、プリンタ側で現在実行中の処理やすべての作業を中止することができます。

データを排出する（強制排出）

パソコン側でプリントを中止した場合や受信したデータが 1 ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。このようなときは、次の手順で強制的にプリントデータを排出してください。

重要 データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。

メモ
- プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、1ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15ビョウ」に設定されています。
- データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→P.2-17）

オンライン

1 **［オンライン］を押します。**

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

リセット

2 **［リセット］を押します。**

リセット

ソフトリセット →

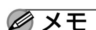
リセットメニューが表示されます。



3 [<]、[>] で「ハイシュツ」を選択し、[実行] を押します。



ディスプレイに「05　ハイシチュウ」と表示され、メモリに残っているデータがプリントされます。



排紙中に［オンライン］を押すと、強制排出を中止します。ただし、中止されたページのデータは消去されます。



4 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

プリントをキャンセルする（ジョブキャンセル）

現在実行中のプリントをキャンセルしたいときは、次の操作で「ジョブキャンセル」を実行します。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次のプリントデータやまだデータ処理が始まっていないジョブには影響しません。



- ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）にオフライン状態で行ってください。ジョブランプが消灯しているときに［ジョブキャンセル］をしてもジョブキャンセルは行われません。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがあります。
- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたプリントデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。



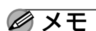
ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされないことがあります。

ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき（キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態）に行ってください。



1 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



ディスプレイ表示は、使用状況により表示が異なります。ジョブ処理中は、ディスプレイに動作モードやユーザ名、プリンタの状態などの情報が交互に表示されます。



2 ［ジョブキャンセル］を押します。



「03 ジョブ キャンセル」が表示され、処理中のプリントデータがキャンセルされます。データの受信中など処理に時間がかかるときは、「00 ジョブ スキップ」の表示に変わります。

「00 LIPS」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

重要

- 「00 ジョブ スキップ」が表示されているときは、［リセット］を押してソフトリセットまたはハードリセットを行うことができます。その場合は受信中のプリントデータや他のインタフェースのプリントデータも消去されますので、再度プリントを行ってください。
- 「03 ジョブ キャンセル」が表示されているときは、ソフトリセットまたはハードリセットを行うことができません。ジョブキャンセルが完了するか、「00 ジョブ スキップ」が表示されるまでお待ちください。

現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）

現在実行中の処理を中止したいときは、次の操作で「ソフトリセット」を実行します。ソフトリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

重要

- 必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからプリンタ側でプリント中止（ソフトリセット）の操作を行ってください。
- ソフトリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。
- ジョブの保存中や排紙待ちなど、実行中のデータがないときは、ソフトリセットができない場合があります。そのようなときは、ハードリセットを行ってください。

オンライン


1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

リセット

2 ［リセット］を押します。

リセット

ソフトリセット →

リセットメニューが表示されます。

ユーティリティ　セットアップ　実行

3 ［<］、［>］で「ソフト　リセット」を選択し、［実行］を押します。

［実行］をそのまま３秒以上押し続けると、「ハード　リセット」の操作になります。

ソフトリセット →

03 ソフト リセット

「03　ソフト　リセット」の表示が消えたらソフトリセット完了です。

オンライン


4 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

すべての作業を中止する（ハードリセット）

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときは、次の操作で「ハードリセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

重要

- データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［リセット］を押します。

リセット



ソフトリセット 

リセットメニューが表示されます。





3 ［<］、［>］で「ソフト　リセット」を選択します。

ソフトリセット 



4 ［実行］を押し続け、「ハード　リセット」と表示されたら離します。

「ハード　リセット」が表示されるまで（約３秒）押し続けます。３秒未満の場合は「ソフト　リセット」の操作になります。

03 ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ



03 ﾊｰﾄﾞ ﾘｾｯﾄ

「03　ハード　リセット」の表示が消えたらハードリセット完了です。



5 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

給紙・排紙のしかた

3
CHAPTER

この章では、本プリンタで使用できる用紙や給紙、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の○はプリント可能、×は不可です。

重要　プリント速度は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、プリント枚数の設定により遅くなることがあります。
ハガキ、往復ハガキ：約5ppm

用紙サイズ

用紙の種類	給紙元				
	給紙トレイ	カセット1	カセット2（オプション）	カセット3（オプション）	カセット4（オプション）
普通紙（64～90g/m²） B6*1	○	×	×	×	×
A5	○	○	○	○	○
A5R	○	×	×	×	×
B5	○	○	○	○	○
B5R	○	×	×	×	×
A4	○	○	○	○	○
A4R	○	○	○	○	○
B4*1	○	○	○	○	○
A3*1	○	○	○	○	○
レター	○	○	○	○	○
レターR	○	×	×	×	×
エグゼクティブ	○	○	○	○	○
エグゼクティブR	○	×	×	×	×
リーガル*1	○	○	○	○	○
レジャー*1	○	○	○	○	○
ユーザペーパー*1 幅：76.2～312mm 長さ：127～469.9mm	○	×	×	×	×
厚紙*4（91～157g/m²） B6～レジャー	○	×	×	×	×
ユーザペーパー 幅：100～297mm 長さ：148～432mm	○	×	×	×	×
OHPフィルム　A4*2	○	×	×	×	×
ラベル用紙　A4*2	×	○	○	○	○
ハガキ*1　100mm×148mm	○	×	×	×	×
往復ハガキ*1　148mm×200mm	○	×	×	×	×
封筒 洋形2号*3　105mm×235mm	○	×	×	×	×
洋形4号*3　114mm×162mm	○	×	×	×	×

*1　縦送りのみセット可能です。
*2　横送りのみセット可能です。
*3　封筒のふたを開いた状態で、横送りのみセット可能です。また、封筒は糊なしのもののみセット可能です。
*4　B6、B4、A3、リーガル、レジャー、ユーザペーパーは縦送りのみセット可能です。

■ 用紙サイズの略号について

本プリンタ用給紙カセットのサイズ表示は、次の用紙について以下のような略号で表示されます。

用紙サイズ	給紙カセットの 用紙サイズ登録ダイヤル
レジャー	11×17
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC

給紙元の積載枚数

用紙の種類	給紙元		
	給紙トレイ	給紙カセット	250枚ペーパーフィーダ（オプション）
普通紙（64g/m^{2}の場合）	約100枚*1	約250枚	約250枚
厚紙（128g/m^{2}の場合）	約50枚	×	×
OHPフィルム	約50枚	×	×
ラベル用紙	×	*2	*2
ハガキ	約40枚	×	×
往復ハガキ	約40枚	×	×
封筒	約10枚	×	×

*1　A3、A4R、B4、レジャー、リーガル、エグゼクティブRの場合は、約50枚までセット可能です。
*2　温度/湿度などの条件によって積載枚数が異なります。ラベル用紙は積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。

排紙先の積載枚数

用紙の種類	排紙先*
	フェースダウン排紙トレイ
普通紙（64g/m^{2}の場合）	約250枚
厚紙（128g/m^{2}の場合）	約150枚
OHPフィルム	約100枚
ラベル用紙	1枚
ハガキ	約50枚
往復ハガキ	約50枚
封筒	約10枚

*設置環境によっては、実際の排紙枚数は異なります。

■ 普通紙

本プリンタでは A3、B4、A4、B5、A5、B6、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅76.2～297.0mm、長さ98.0～431.8mm、重さ64～90g/m^{2}の普通紙を使用できます。定形用紙は給紙カセットや給紙トレイから給紙できます。定形以外のサイズは、給紙トレイから給紙します。

■ 厚紙

本プリンタでは、A3、B4、A4、B5、A5、B6、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅100.0～297.0mm、長さ98.0～431.8mm、重さ91～157g/m^{2}の厚紙を使用できます。厚紙は給紙トレイから給紙します。

■ OHPフィルム

本プリンタでは、A4サイズのOHPフィルムを使用できます。OHPフィルムは給紙トレイにセットします。



- OHPフィルムをセットする場合は、必ず横送りにセットしてください。
- OHP フィルムどうしが離れにくい場合があるので、一枚ずつよくさばいてから使用してください。

3
給紙・排紙のしかた

■ ラベル用紙

本プリンタでは、A4 サイズのラベル用紙を使用できます。ラベル用紙は表裏を確認し、表を上にして給紙カセットへセットしてください。

重要
- ラベル用紙は必ず給紙カセットにセットしてください。給紙トレイにセットすると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれかけていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙
- ラベル用紙をセットするときは、必ず給紙カセットに横送りにセットしてください。
- ラベル用紙は、排紙されるたびに 1 枚ずつ取り除いてください。

■ ハガキ／往復ハガキ

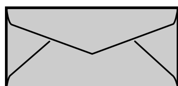
本プリンタでは、官製ハガキ、官製往復ハガキのみ使用できます。ハガキ、往復ハガキはプリント面を下にして給紙トレイにセットします。

重要
- 官製ハガキ、官製往復ハガキ以外のハガキへのプリントは、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- プリント可能な往復ハガキは、折り目なしのもののみです。
- ハガキがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の官製ハガキ、官製往復ハガキを使用することはできません。
- ハガキ、往復ハガキをセットするときは、必ず給紙トレイに縦送りにセットしてください。

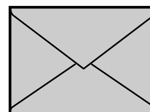
■ 封筒

本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号、洋形２号で次のような構造のものに限ります。封筒はプリント面を下にして給紙トレイにセットします。

洋形4 号（105mm×235mm ）
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）



洋形2号（114mm×162mm）
（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）



※短辺にふたが付いているものは使用できません。

重要

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）にはプリントしないでください。
- 封筒は必ず横送りにセットしてください。

メモ

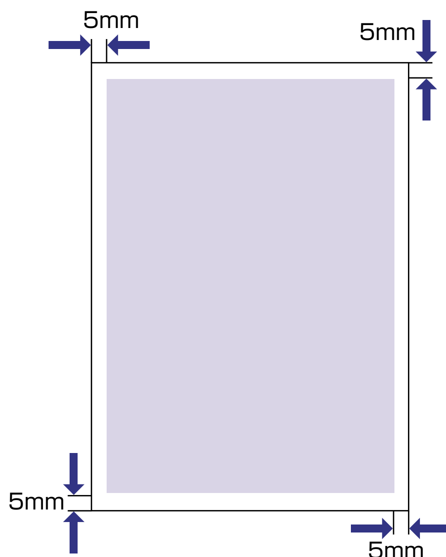
封筒にプリントした場合、 しわがよる場合があります。

プリントできる範囲

本プリンタでプリントできる領域は、次の範囲です。

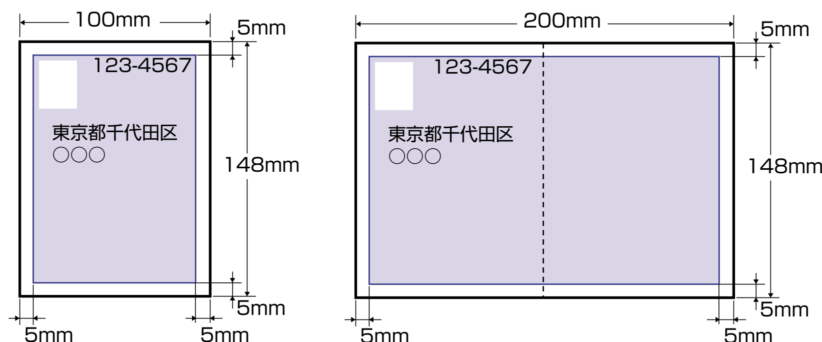
■ **普通紙/厚紙/OHPフィルム/ラベル用紙**

用紙の周囲5mmより内側の範囲にプリントできます。



■ **ハガキ/往復ハガキ**

ハガキの周囲5mmより内側の範囲にプリントできます。

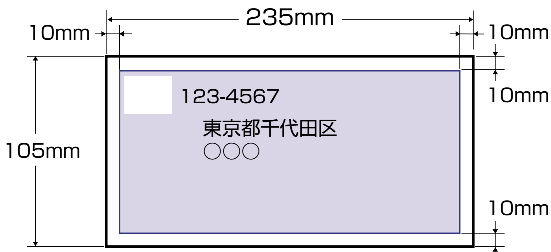


3
給紙・排紙のしかた

■ 封筒

封筒の周囲10mmより内側の範囲にプリントできます。
お使いのアプリケーションによっては、プリント時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）



使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - 不規則な形の用紙
  - 湿っている用紙、濡れている用紙
  - 破れている用紙
  - 表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - カールした用紙や折り目のある用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - 本プリンタや複写機、他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
  - バリのある用紙
  - しわのある用紙
  - 角折れ用紙
- 高温によって変質する用紙
  - 定着器の熱（約 150 ℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - 感熱用紙
  - 表面加工したカラー用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - 糊などがついた用紙

- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ・カーボン紙
  - ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ・本プリンタや複写機、他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格に合った用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

重要
- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

プリントの保管について

本プリンタでプリントしたプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

重要
- クリアホルダなどPVC素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙とPVC素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

給紙元を選択する

本プリンタは、標準状態で給紙カセット（カセット1）と給紙トレイの合計2つの給紙元があります。また、オプションの250枚ペーパーフィーダ（カセット2、カセット3、カセット4）を装着することにより、最大5つの給紙元を使用することが可能です。

給紙元の種類

本プリンタには次の給紙元があります。

■ **標準状態**

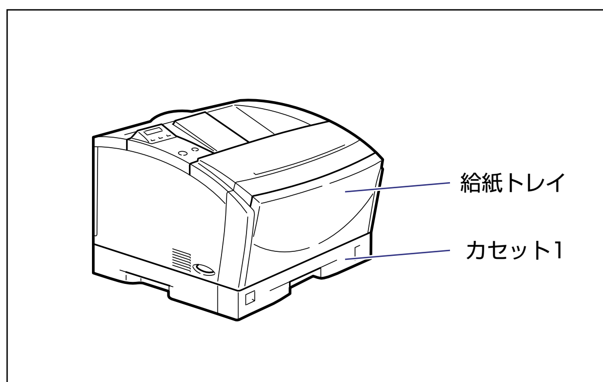
給紙元：

給紙トレイ

カセット1

給紙枚数：

最大350枚（64g/m^2）



■ 250枚ペーパーフィーダ×１段装着状態

給紙元：

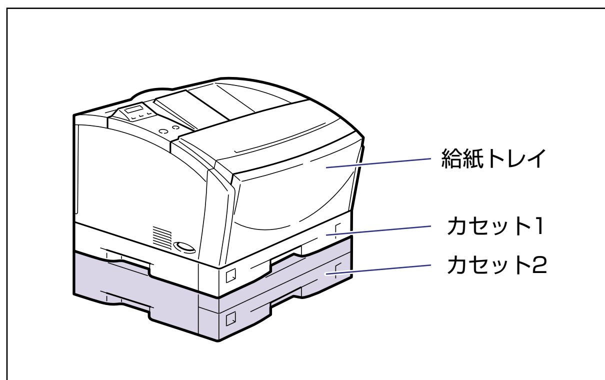
給紙トレイ

カセット１

カセット2

給紙枚数：

最大600枚（64g/m2）



■ 250枚ペーパーフィーダ×２段装着状態

給紙元：

給紙トレイ

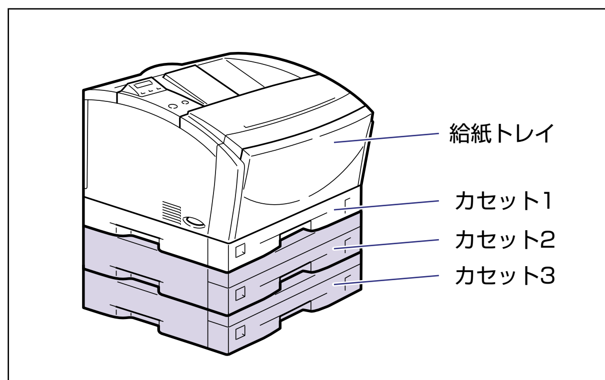
カセット１

カセット2

カセット3

給紙枚数：

最大850枚（64g/m2）



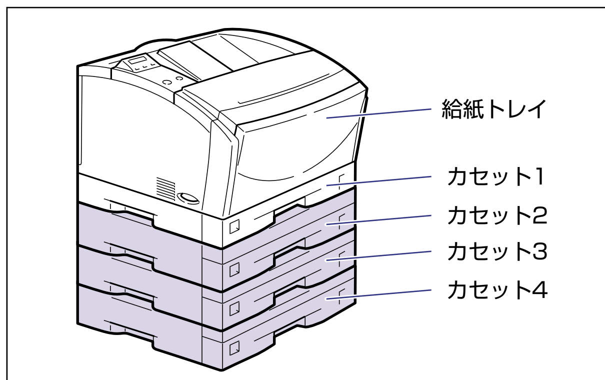
■ 250枚ペーパーフィーダ×３段装着状態

給紙元：

給紙トレイ
カセット1
カセット2
カセット3
カセット4

給紙枚数：

最大1100枚（64g/m²）





ペーパーフィーダは３台まで取り付けることができます。

給紙元の選択

給紙元の選択は、次の手順で行います。

■ WindowsやMacintoshからプリントする場合

給紙元の選択は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの初期値は［自動］に設定されており、アプリケーションソフトで用紙サイズを設定すれば、自動的に給紙元を探して給紙されます。プリント中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替えて給紙されます。
給紙元を指定したい場合は、プリンタドライバで給紙元を設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ 操作パネルで選択する場合

プリンタの操作パネルで給紙元を選択するときは、次の手順で行います。

オンライン

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

給紙選択

2 ［給紙選択］を押します。

キュウシ モード

ディスプレイに「キュウシ モード」と表示されます。

給紙選択

3 ［給紙選択］を押して、給紙元を選択します。

［給紙選択］を押すたびに、使用可能な給紙元の表示がジドウ→カセット１→カセット２（オプション取付時）→カセット３（オプション取付時）→カセット４（オプション取付時）→トレイの順で変わります。

カセット1 →

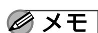


- 「カセット2」、「カセット3」、「カセット4」はペーパーフィーダ装着時のみ表示されます。
- 自動給紙選択時の給紙元表示ランプは、「トレイ優先」の設定が「シナイ」のときはカセット１が点灯し、「スル」のときは給紙トレイが点灯します。プリント中は自動給紙で選択された給紙元が点灯します。
- 自動給紙選択時に、２つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。

4 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯します。給紙元が変更され、プリントできる状態になります。

ディスプレイの右側に現在選択されている給紙元の用紙サイズが表示されます。



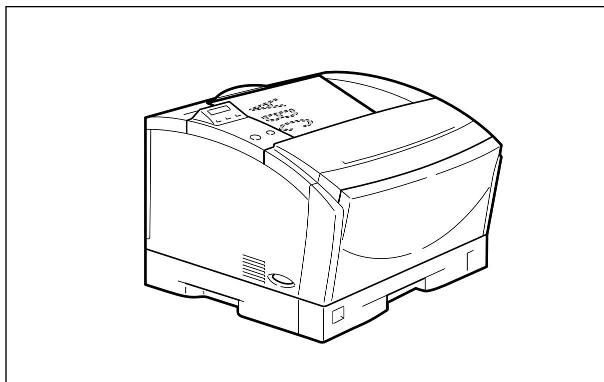
- 給紙元の選択は、［<］、［>］でも可能です。
- 給紙元の変更は、［∨］、［実行］でも可能です。
- 給紙元は、［<］、［>］、［給紙選択］以外のキーを押すと、選択中の給紙元に変更されます。

排紙先について

本プリンタには、次の排紙先があります。

排紙トレイ

本体上面の排紙トレイにプリントした面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。

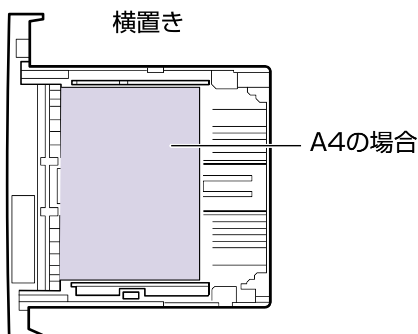




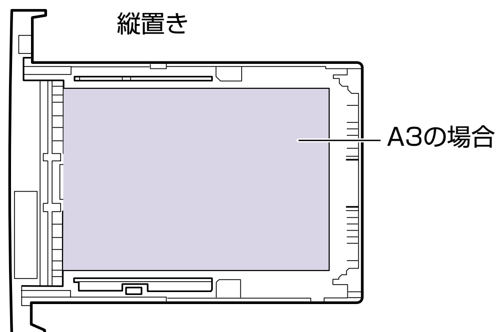
ラベル用紙は、排紙されるたびに1枚ずつ取り除いてください。

給紙カセットからプリントする

給紙カセットには定形サイズの普通紙を約250枚（64g/m²）までセットすることができます。用紙がなくなると、「11　×××ヨウシガアリマセン」や「17　カセット１ヨウシ　ナシ」などのメッセージが表示され、給紙元の用紙がなくなったことを表示します。このメッセージが表示されたら、用紙をセットしてください。本プリンタには給紙カセット（カセット１）が標準装備されています。またオプションのペーパーフィーダを装着するとカセット2、カセット3、カセット4が追加されます。



・横置きできる用紙
A4、B5、A5、ラベル用紙、
エグゼクティブ、レター



・縦置きできる用紙
A3、B4、A4R、リーガル、レジャー

3

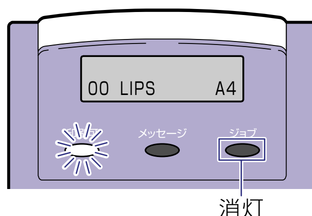
給紙・排紙のしかた

用紙をセットするときの注意

用紙をセットするときは、次のいずれかの状態のときに行ってください。ジョブランプが点滅しているときはプリント処理中なので、給紙カセットを引き出さないでください。

重要　プリント中は、絶対にカバーを開けたり、給紙カセットを引き出さないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

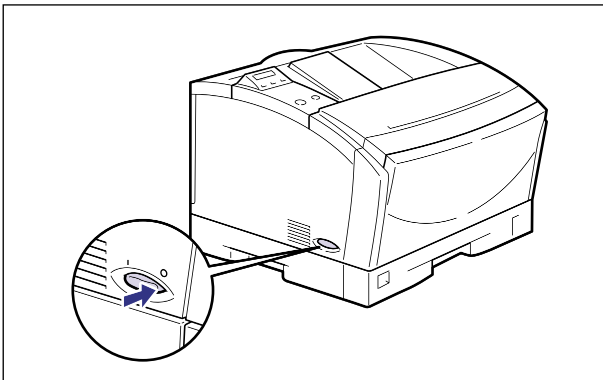
■ ジョブランプが消灯しているとき



■ 用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示されているとき

11　A4ﾖｳｼｶﾞｱﾘﾏｾﾝ

■ 本プリンタの電源がオフのとき



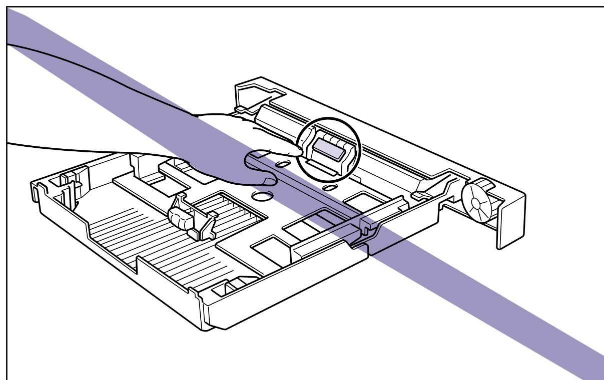
給紙カセットに用紙をセットする

標準で装着されているカセット1、オプションのペーパーフィーダ装着時のカセット2、カセット3、カセット4には、それぞれ別のサイズをセットすることができ、給紙元を自動的に切り替えて使用することができます。

次の手順で正しく用紙をセットしてください。

重要

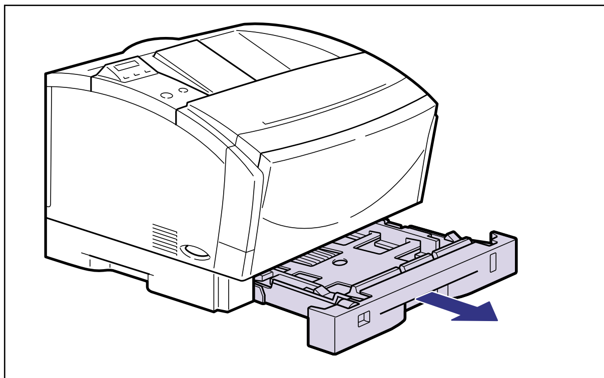
- 紙づまりの原因となることがありますので、次の内容を守ってください。
  - ・普通紙（64～90g/m^2)、ラベル用紙以外の用紙をセットしないでください。セットできる用紙については、「用紙について」（→P.3-2）を参照してください。
  - ・バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。
  - ・用紙はセットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
  - ・給紙カセットにセットできる用紙の枚数は普通紙で約 250 枚（64g/m^2）までセットすることができます。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。
- ラベル用紙は必ず給紙カセットにセットしてください。給紙トレイにセットすると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
- ラベル用紙にプリントするときは、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］を「普通紙」に設定してください。
- A4 サイズの用紙が横置きと縦置きに別々の給紙元にセットされている場合、給紙元の選択が「自動」に設定されていると、横置きにセットされている給紙元が優先されます。縦置きにセットした給紙元から給紙したいときは、プリントする際にプリンタドライバで縦置きにセットした給紙元を選択してプリントしてください。
- 給紙カセット前側の分離パッドには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

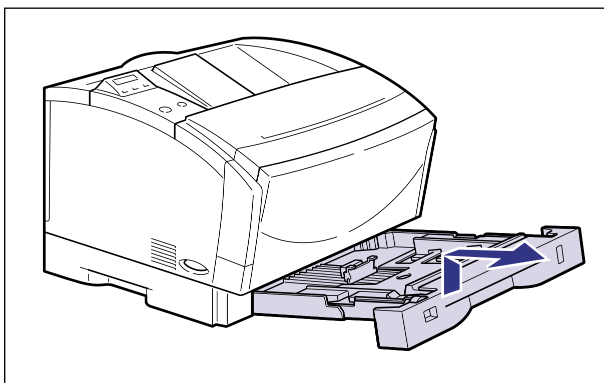


3

給紙・排紙のしかた

1 給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げて取り外します。

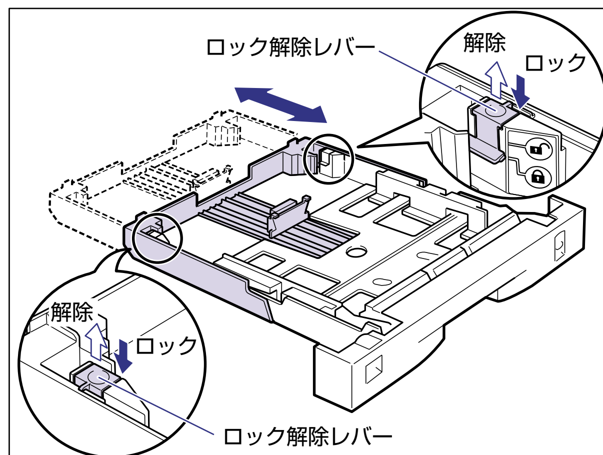




重要 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

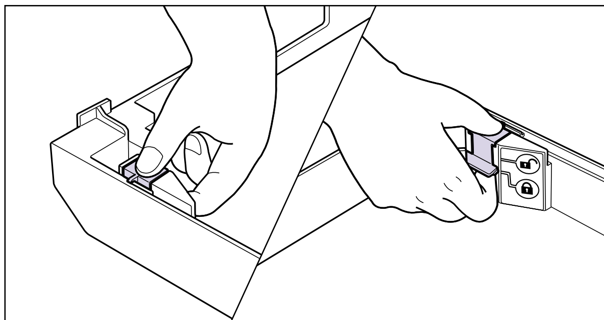
2 セットする用紙に合わせて、延長カセットを調節します。

ロック解除レバーは、無理な力をかけずにゆっくりと持ち上げます。
ロック解除レバーは持ち上げると解除、押し下げるとロックします。
横送りの場合は延長カセットを押し込みます。
縦送りの場合は延長カセットを引き出します。

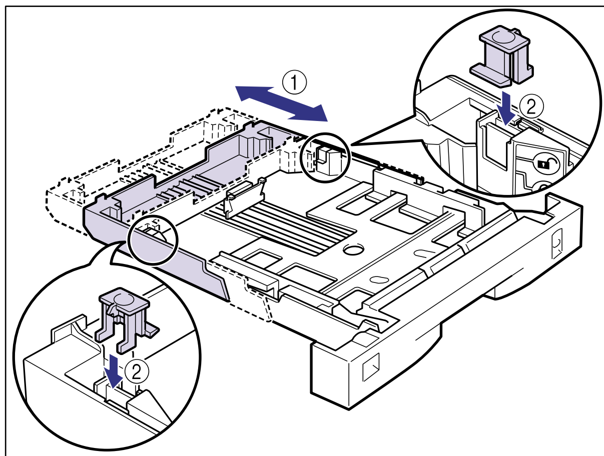


重要

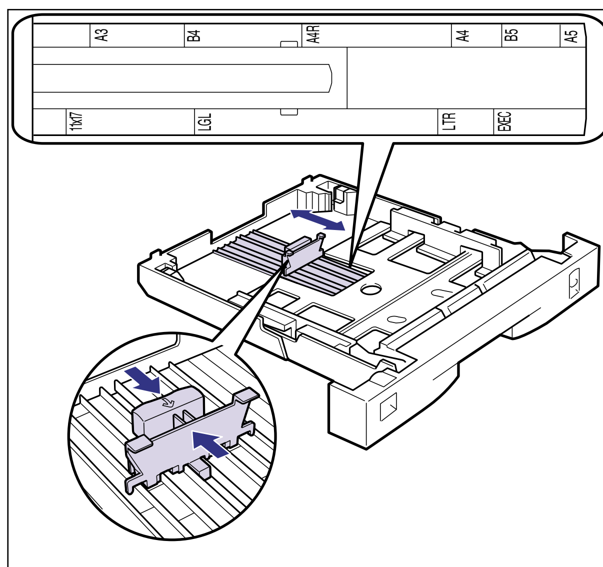
- ロック解除レバーは、図のように持ちます。



- ロック解除レバーに無理に力を加えると、ロック解除レバーが外れることがあります。外れてしまった場合は、延長カセットをロックする位置からずらして①、ロック解除レバーを取り付けてください②。延長カセットをロックする位置ではロック解除レバーを取り付ける事はできません。



3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

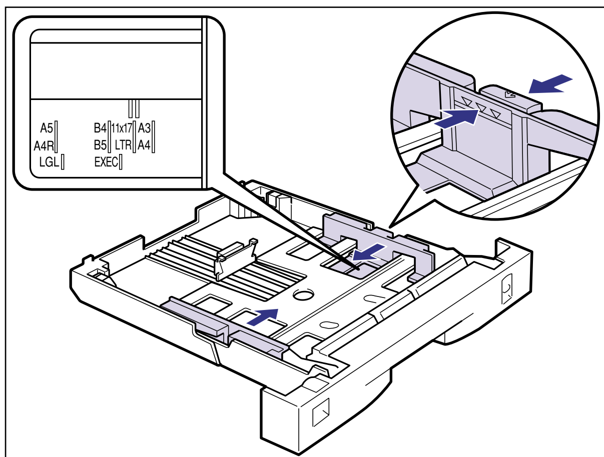




必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

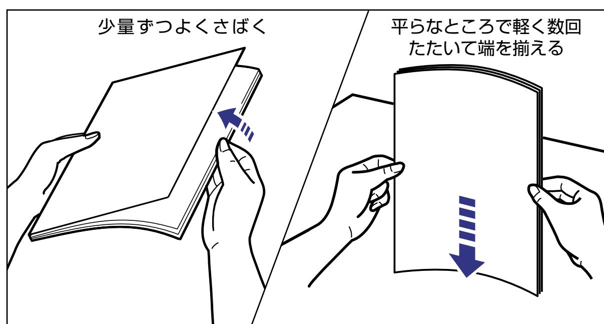
4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

5 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

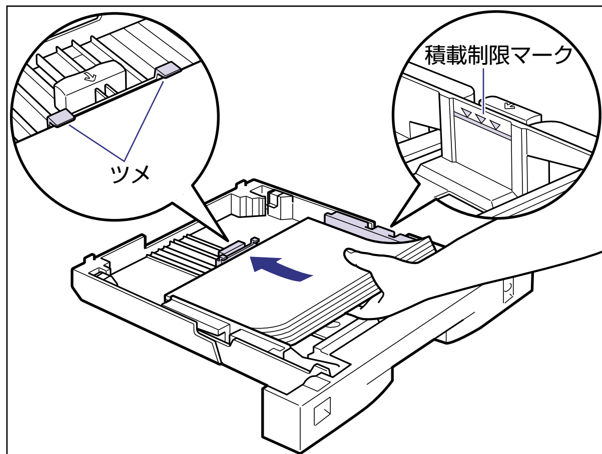


 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

 ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

6 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。

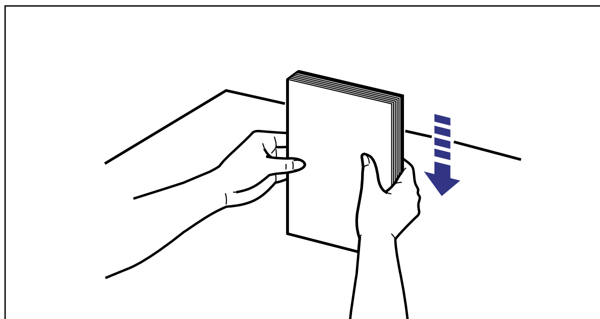
ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は、用紙を少し減らします。

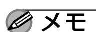


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

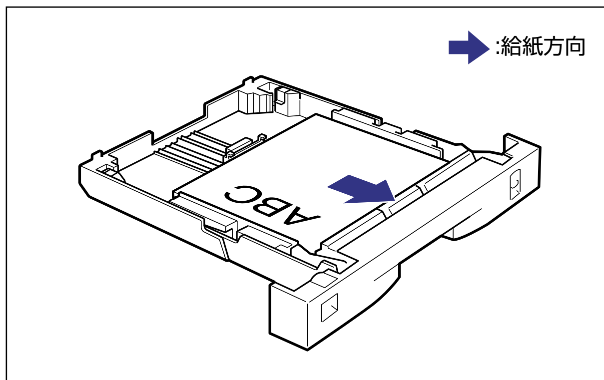
- ラベル用紙と普通紙をいっしょにセットしないでください。普通紙がセットされている場合、ラベル用紙をセットするときは、普通紙をすべて取り除いてからラベル用紙をセットしてください。
- ラベル用紙は表裏を確認し、表を上にして給紙カセットへセットしてください。
- ラベル用紙をセットする場合は、必ず横送りにセットしてください。
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約250枚（64g/m^2）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



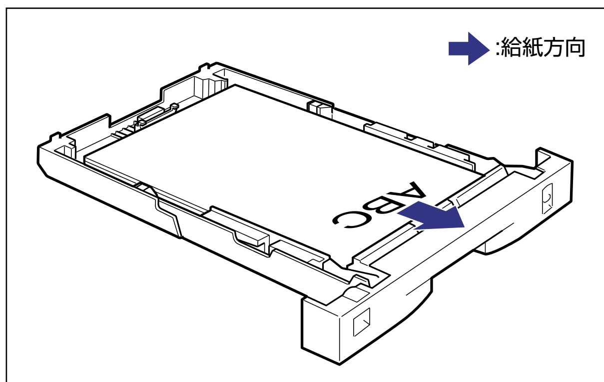


レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

- A4、レターサイズのように用紙を横送りでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て左になるようにセットします。

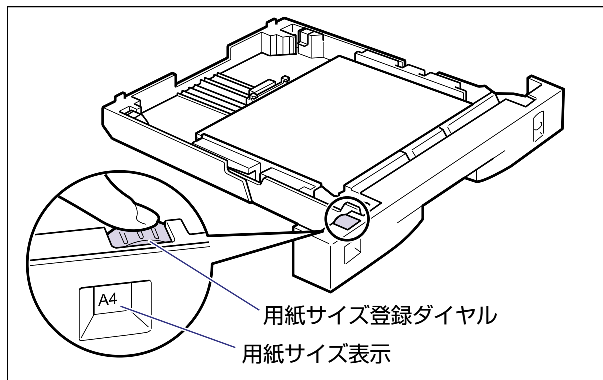


- A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦送りでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、用紙の上端が手前になるようにセットします。



7 用紙サイズ登録ダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。

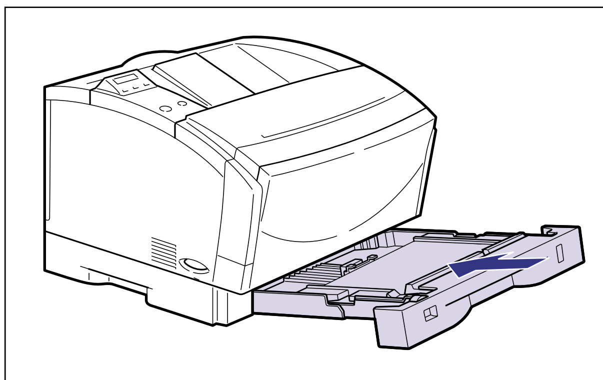
工場出荷時はA4にセットされています。

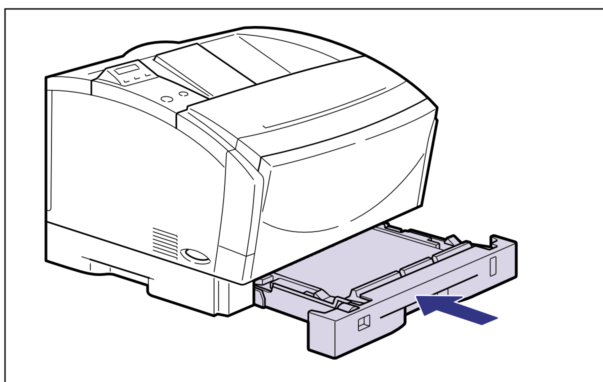




セットした用紙のサイズと用紙サイズ表示が合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体に差し込んでください。表示が合っていないと、誤動作の原因になります。

8 給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体にセットします。

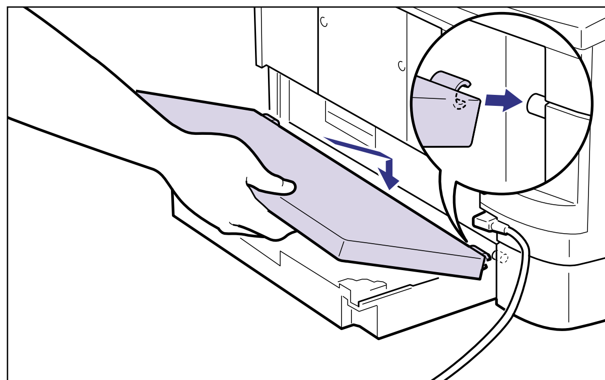




重要　給紙カセットを取り付けるときは、床面などに接触しないようにしてください。床面などに接触すると用紙サイズ登録ダイヤルがずれることがあります。

9 延長カセットを引き出した場合は、本体背面にカセット保護カバーを取り付けます。

カセット保護カバーは、パチンと音がするまでしっかり取り付けます。

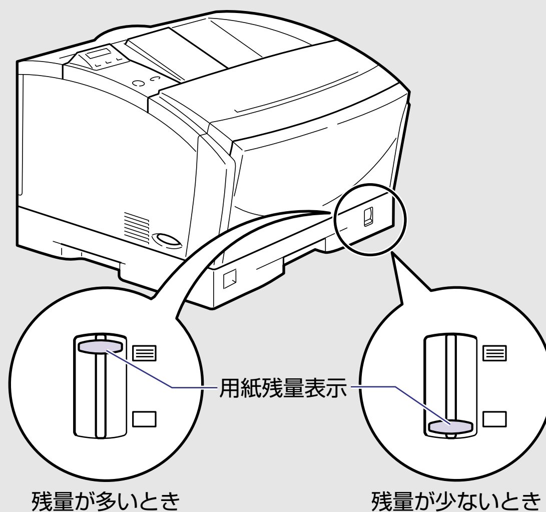




カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損することがあります。

● 用紙残量表示について

給紙カセットには、セットされている用紙の量を示す用紙残量表示があります。用紙がいっぱいまで入っていると、用紙残量表示が上がります。用紙が減るにしたがって表示が下がってきますので、用紙の残量を知る目安になります。



給紙トレイからプリントする

給紙トレイには、横幅が76.2～297mm、長さが98～431.8mmの範囲の用紙をセットできます。セットできる枚数は用紙のサイズ、種類によって異なります。詳しくは「用紙について」（→P.3-2）を参照してください。厚紙、OHPフィルム、ハガキ、往復ハガキ、封筒、定形外の用紙など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。
給紙トレイからプリントするときは、次の項目を設定する必要があります。

重要 用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　×××ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定に変更されプリントを続行することができます。

■ 給紙トレイに用紙をセットする（→P.3-31）

■ 用紙のサイズを設定する（→P.3-46）
セットアップメニューの「キュウシ」グループ
- 「トレイ　ヨウシ　サイズ」＝セットした用紙のサイズ

■ プリンタドライバを設定する（→LIPSソフトウェアガイド／本編）
プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。ここでは、Windows版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh版プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

［ページ設定］ページ
　［出力用紙サイズ］＝セットした用紙のサイズ
［給紙］ページ
　［給紙部］＝［手差し（トレイ）］
　［用紙タイプ］＝［普通紙］：普通紙、再生紙
　　　　　　　　［厚紙］：厚紙
　　　　　　　　［OHP］：OHPフィルム
　　　　　　　　［普通紙L］：普通紙、再生紙

給紙トレイに用紙をセットする

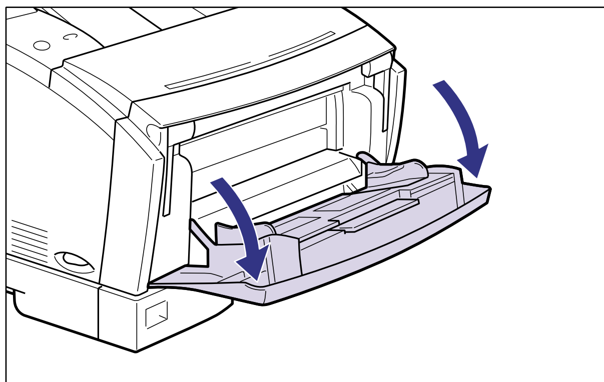
用紙（ハガキ、封筒以外）をセットする

給紙トレイに普通紙や厚紙、OHPフィルムをセットするときは、次の手順でセットします。

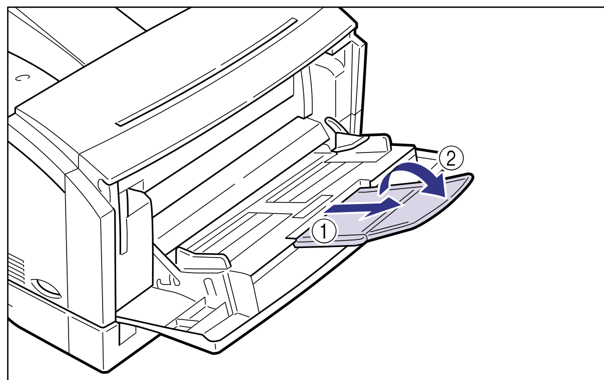
重要　周囲5mmの範囲にはプリントできません。

1 給紙トレイを開けます。

給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開けます。



B4やA3などの長いサイズの用紙をセットするときは、補助トレイを引き出し①、延長トレイを開けます②。

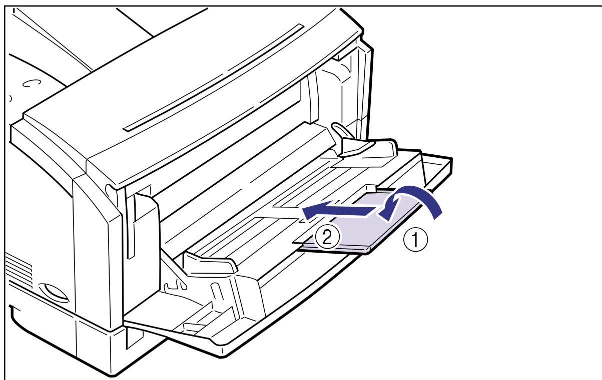


重要　給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

● 給紙トレイを閉めるときは

❑ 給紙トレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除き、開けるときと逆の手順で閉めます。

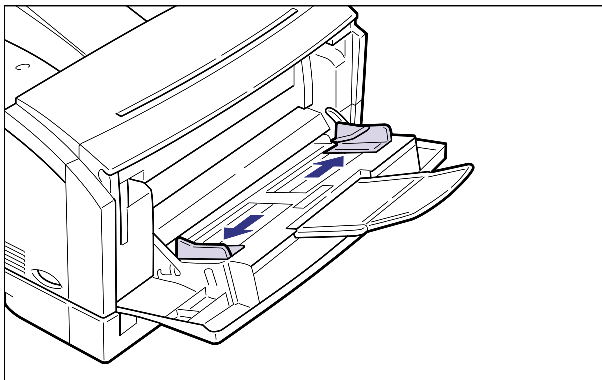
給紙トレイを使わないときは、閉めておいてください。



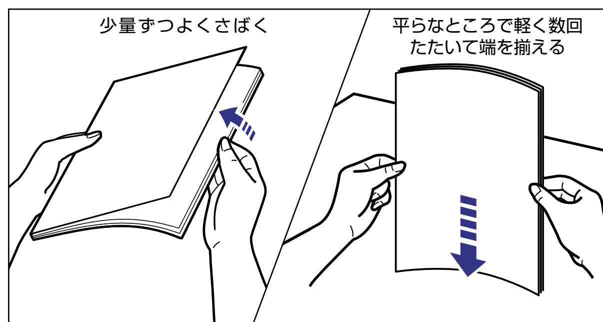


補助トレイは奥まで確実に収納してください。引き出したまま給紙トレイを閉めると、トレイ破損の原因になります。

2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



3 OHPフィルムをセットする場合は、OHPフィルムを少量ずつさばき、端を揃えます。

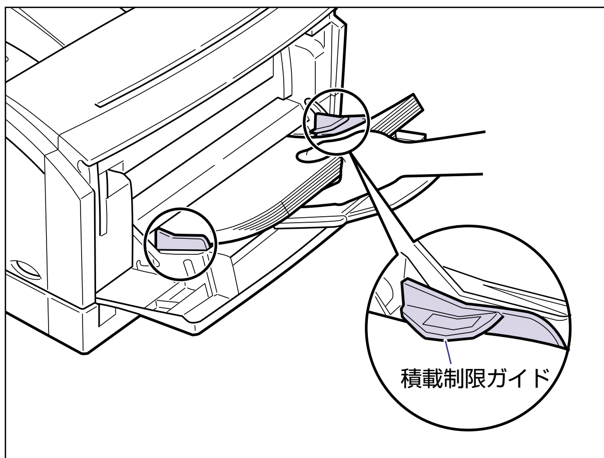


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- OHPフィルムは、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、フィルムが重送されて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、プリント面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因となります。

4 用紙のプリント面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

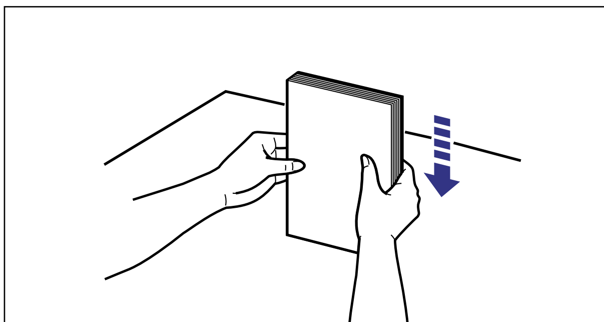
用紙束は積載制限ガイドの下を通してください。

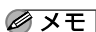


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

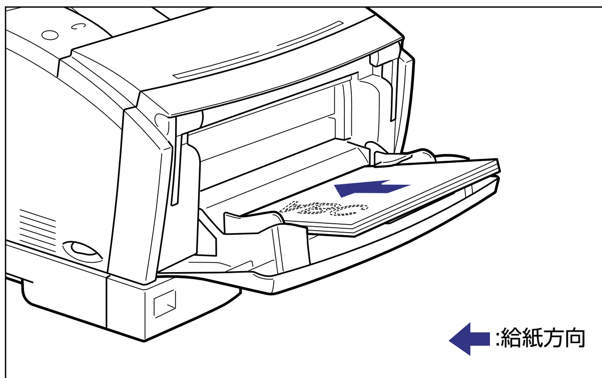
- 給紙トレイから給紙できる枚数は、用紙のサイズや種類によって異なります。詳しくは「用紙について」(→P.3-2) を参照してください。用紙の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- OHPフィルムをセットする場合は、必ず横送りにセットしてください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



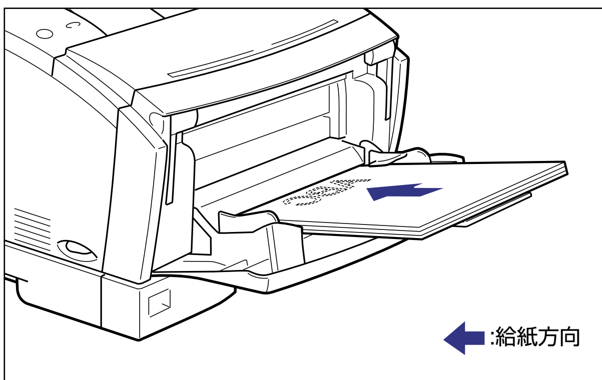


レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

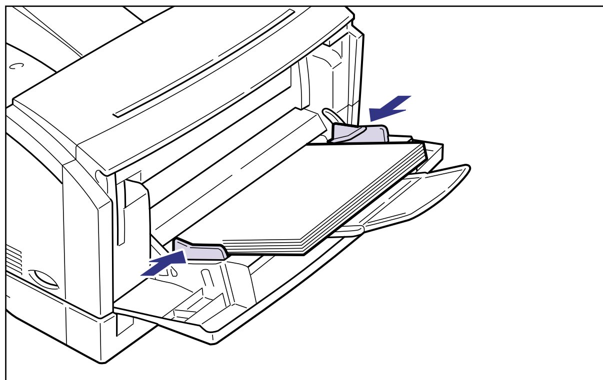
- A4 やレターサイズのように用紙を横送りでセットした場合は、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て左になるようにセットします。



- B4やA3サイズのように用紙を縦送りでセットした場合は、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、用紙の上端が奥になるようにセットします。

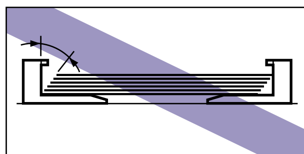


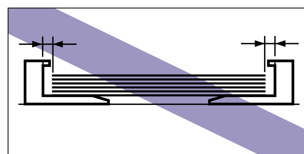
5 用紙ガイドをスライドさせて、用紙の左右にぴったりと合わせます。

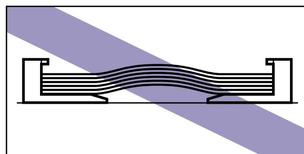


重要

- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。







- プリント中は、給紙トレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください。(→給紙トレイの用紙サイズを設定する：P.3-46)

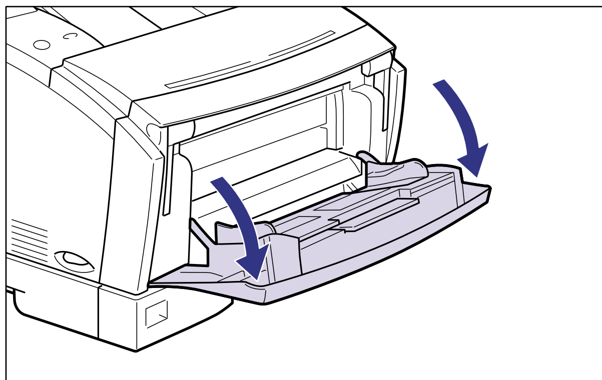
ハガキをセットする

給紙トレイには官製ハガキ、官製往復ハガキをセットできます。
ハガキを給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要
- ハガキをプリントする場合は、周囲5mmの範囲にはプリントできません。
- 往復ハガキは、必ず折り目の付いていないものをご使用ください。

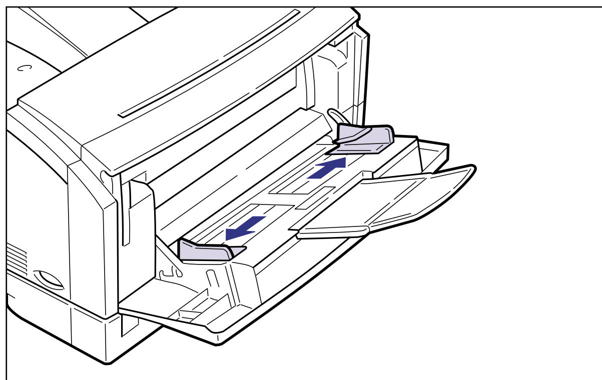
1 給紙トレイを開けます。

給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開けます。
往復ハガキの場合は、補助トレイも開けます。



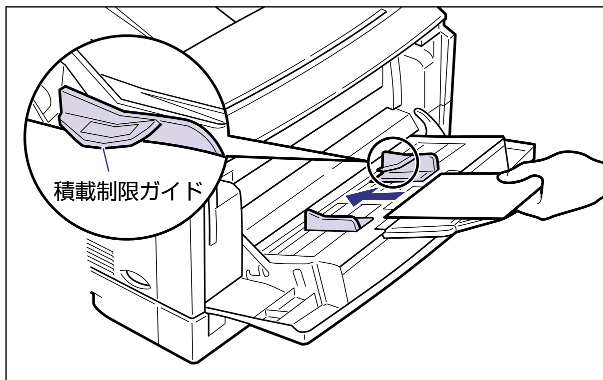
重要
給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

2 用紙ガイドの幅をハガキの幅より少し広めにセットします。



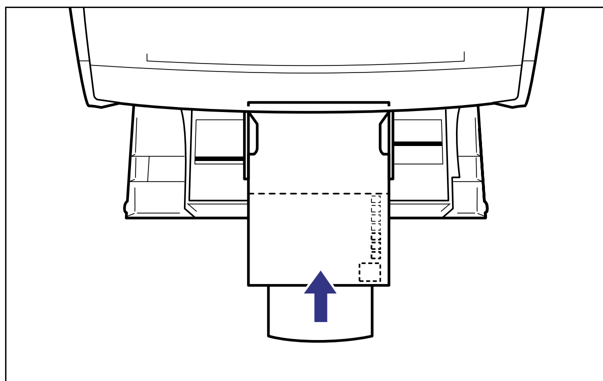
3 ハガキを給紙トレイにセットします。

ハガキをセットするときは、プリントする面を下向きにし、上端を奥側にして奥にあたるまでゆっくりと差し込みます。

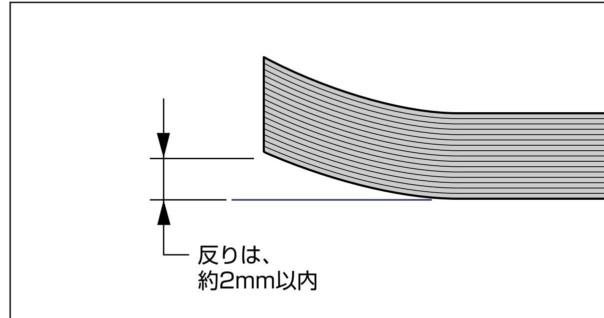


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

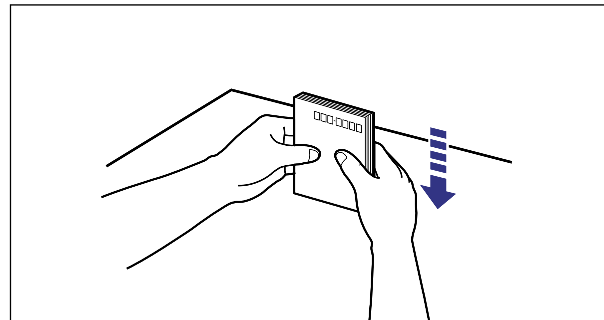
重要
- 給紙トレイには、ハガキを約40枚までセットできます。ハガキの束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 給紙トレイにハガキ、往復ハガキをセットするときは、必ず縦送り方向にセットしてください。
- 往復ハガキにプリントするときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。(例：Windows NT 4.0/2000/XPの場合は、「往復ハガキ横」を選択してください。)



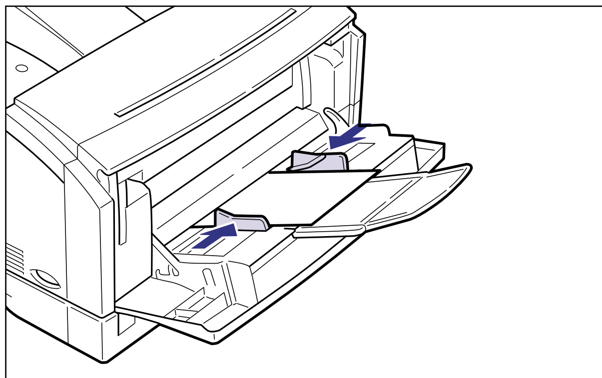
- 反りがあるときは、上向きに約2mm以内になるように反りを修正して、よくさばいてからセットしてください。



- 裁断状態の悪いハガキを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、ハガキを平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



4 用紙ガイドをスライドさせて、ハガキの左右にぴったりと合わせます。



重要

- 必ず用紙ガイドをハガキの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- プリント中は給紙トレイのハガキに触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

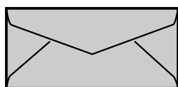
次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください。（→給紙トレイの用紙サイズを設定する：P.3-46）

封筒をセットする

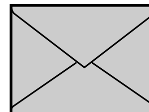
給紙トレイには、洋形4号、洋形2号の封筒をセットできます。封筒を給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要 ●セットできる封筒は、次のような構造のものに限ります。

洋形4 号（105mm×235mm ）
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）



洋形2号（114mm×162mm）
（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）



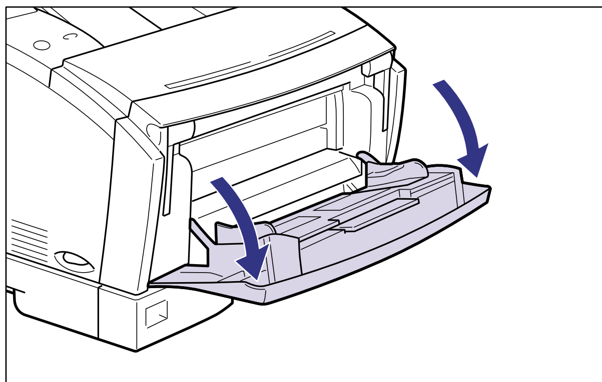
※短辺にふたが付いているものは使用できません。

- 糊付きの封筒は使用しないでください。印字不良や故障の原因になることがあります。
- 封筒にプリントする場合は、周囲10mmにはプリントできません。

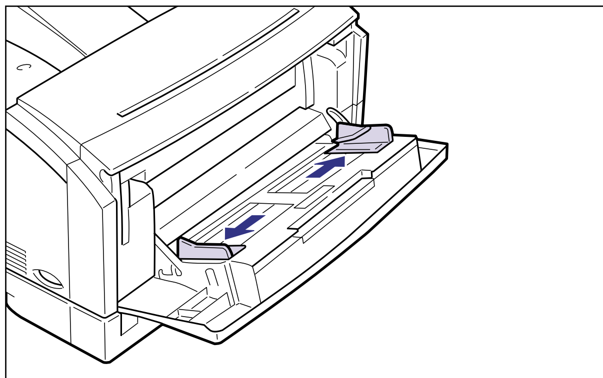
メモ 封筒にプリントした場合、しわがよる場合があります。

1 給紙トレイを開けます。

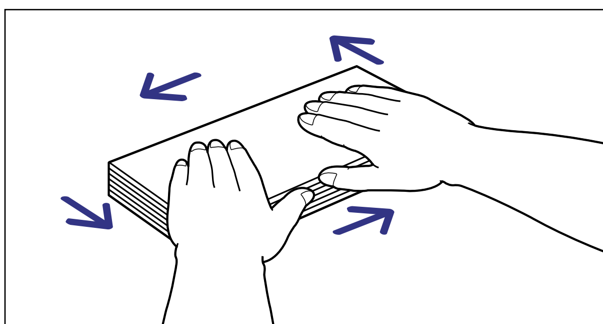
給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開けます。



2 用紙ガイドの幅を封筒の幅より少し広めにセットします。

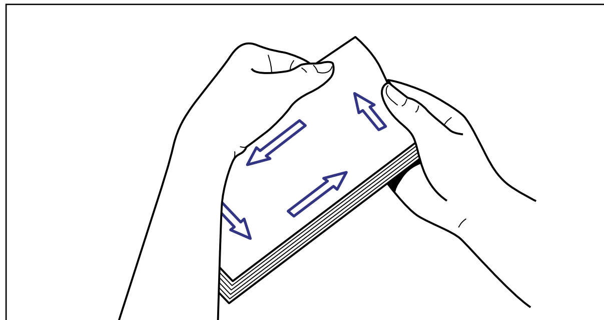


3 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

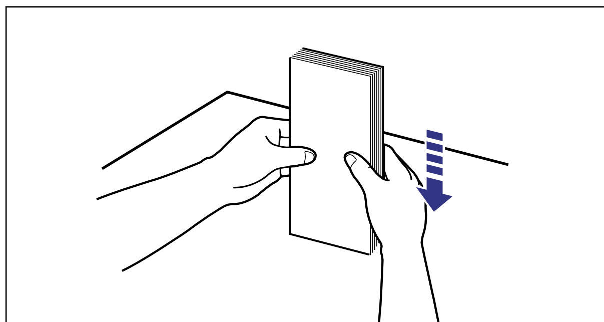


⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

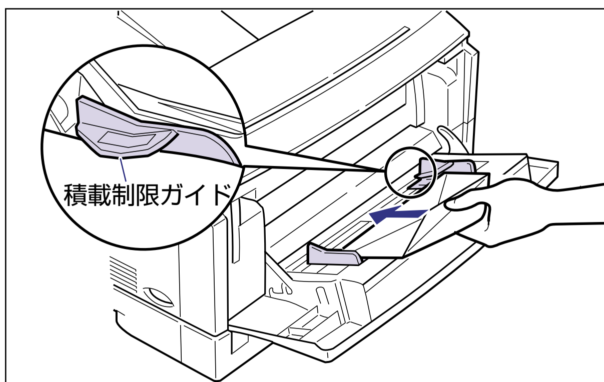
4 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。



5 封筒を平らな場所で揃えます。

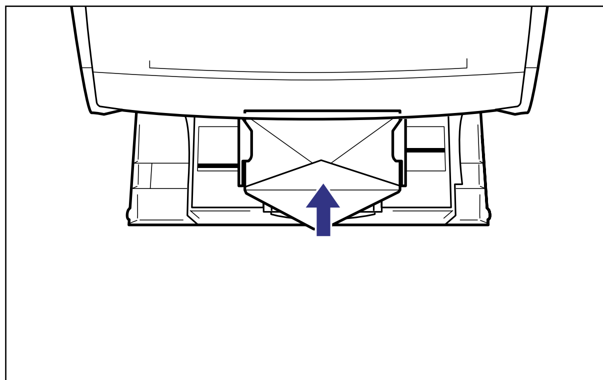


6 封筒の宛名を書く面を下向きにして封筒のふたを開き、図のように奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

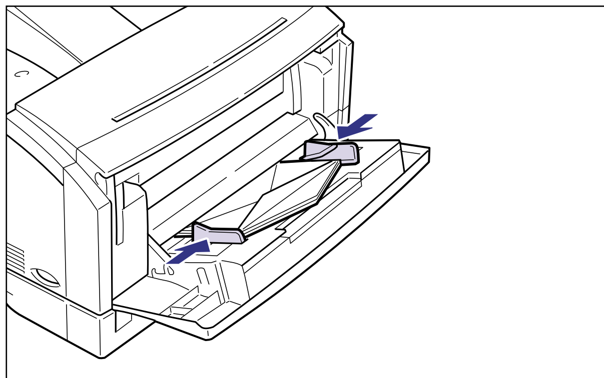


重要

- 給紙トレイには、封筒を約10枚までセットできます。封筒の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）にはプリントできません。
- 封筒は図のようにふたを開いてふたが手前側になる向きにセットしてください。



7 用紙ガイドをスライドさせて、封筒の左右にぴったりと合わせます。





- 必ず用紙ガイドを封筒の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- プリント中は給紙トレイの封筒に触れたりしないでください。動作異常の原因になります。

次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください。（→次項目）

給紙トレイの用紙サイズを設定する

給紙トレイに用紙をセットしたときは、操作パネルから給紙トレイの用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙や封筒、ハガキ、往復ハガキは、そのサイズを設定します。定形外の用紙は、「ユーザペーパー」に設定します。給紙トレイの用紙サイズは、工場出荷状態では「A4」に設定されています。

給紙トレイの用紙サイズは、次の手順で設定します。

重要

- 用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC XXX ヨウシ ニ コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ ヨウシ サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 定形外の用紙をセットしたときは、トレイ用紙サイズを「ユーザペーパー」に設定してプリントしてください。
- 給紙トレイにセットする用紙を頻繁に変更する場合は、「トレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると便利です。「トレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、異なるサイズの用紙をセットするたびに「トレイ用紙サイズ」の設定を変更する必要がありません。ただし、この場合、給紙トレイにセットした用紙と、プリンタドライバの用紙サイズの設定が必ず合っていることを確認してからプリントしてください。

メモ

次の用紙は、略号で表示されます。
A5縦：A5R、B5縦：B5R、A4縦：A4R、レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、エグゼクティブ：EX、エグゼクティブ縦：EXR、フリー：FR、ハガキ：HG、往復ハガキ：HG2、洋形4号封筒：Y4、洋形2号封筒：Y2、ユーザペーパー：80～99

オンライン

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

セットアップ ＞

2 ［セットアップ］を押します。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

ユーティリティ ＜
セットアップ ＞
実行

3 ［＜］、［＞］で「キュウシ」を選択し、［実行］を押します。

キュウシ →
トレイ ヨウシ サイズ゛ →

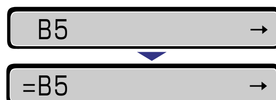


4 [<]、[>] で「トレイ　ヨウシ　サイズ」を選択し、[実行] を押します。





5 [<]、[>] で用紙サイズを選択し、[実行] を押します。



用紙サイズの左に「=」が表示され、トレイ用紙サイズが設定されます。



6 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

次にプリンタ ドライバで用紙タイプの設定をしてください。(→ LIPS ソフトウェアガイド／本編)

日常のメンテナンス

4
CHAPTER

この章では、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

「トナー　チェック/コウカン」が表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
16 トナー チェック	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリントは継続できます ・新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量のプリントをするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
16 トナー コウカン	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すとプリントは継続できます ・新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量のプリントをするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします

＊ トナーが少なくなったときに「16　トナー　チェック」と「16　トナー　コウカン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　トナー　チェック」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」を参照してください。



印字がかすれたり、印字むらが出るときは、「16　トナー　チェック」や「16　トナー　コウカン」メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、そのまま使い続けずに新品のトナーカートリッジと交換してください。交換の際は、必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP-1420	EP-65 トナーカートリッジ



本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品EP-65 トナーカートリッジ）の寿命は、A4 サイズ横置き、5% の印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合で約10,000枚です。トナーの消費量は、プリントする書類の内容によって異なります。グラフィックデータなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多くプリントする場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

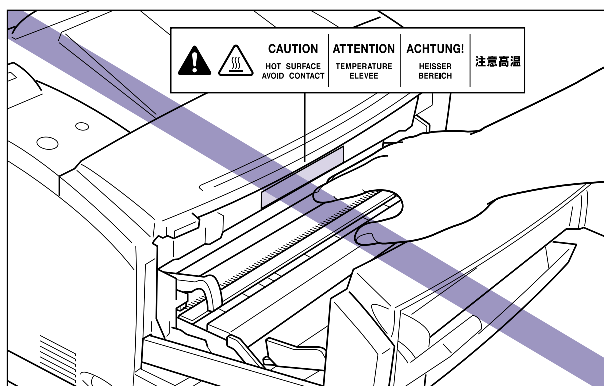
トナーを使い切るには

ディスプレイに「16　トナー　チェック」や「16　トナー　コウカン」のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジを交換する前に次のような操作をしてみてください。メッセージが消え、トナーが完全になくなるまで、しばらくの間プリントできることがあります。

警告 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意

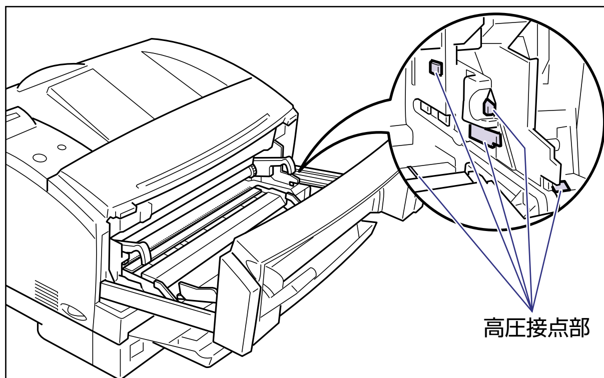
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着ユニット周辺には触れないように注意してください。 やけどの原因になることがあります。

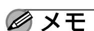


4
日常のメンテナンス



前カバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

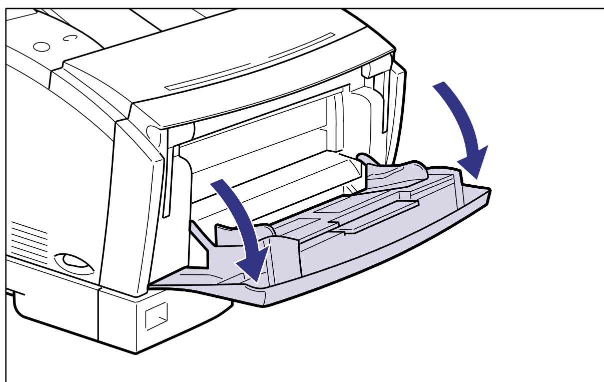




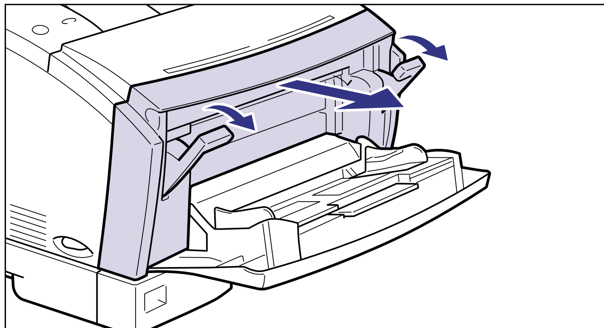
- 「16　トナー　チェック」は、トナーカートリッジ内のトナーが少なくなっていることを警告するメッセージです。プリンタは停止しません。
- 「16　トナー　コウカン」は、トナーカートリッジ内のトナーが少なくなり、トナーカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージが表示されると、プリンタが停止します。

1 給紙トレイを開けます。

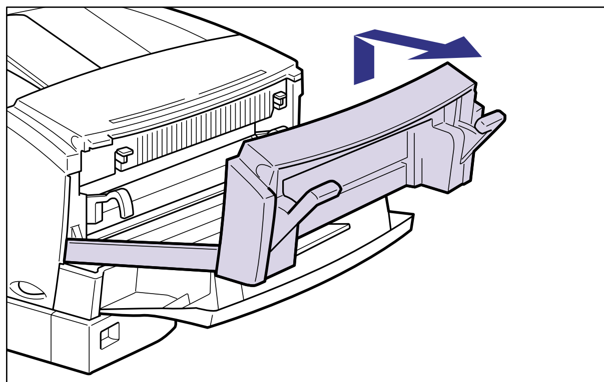
給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開けます。



2 左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

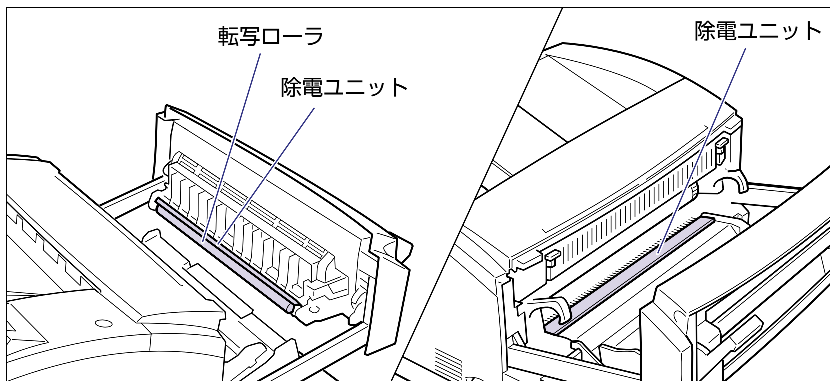


作業がしにくいときは、前カバーを少し持ち上げながら引くと、取り外すことができます。

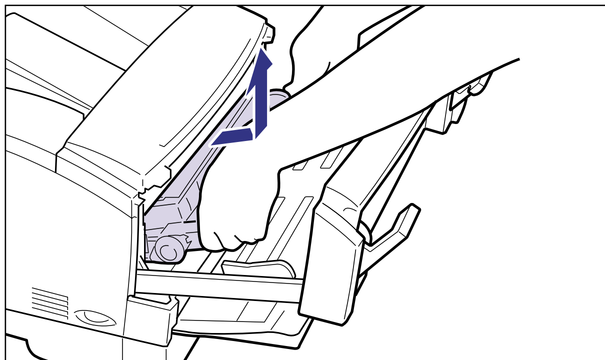


重要

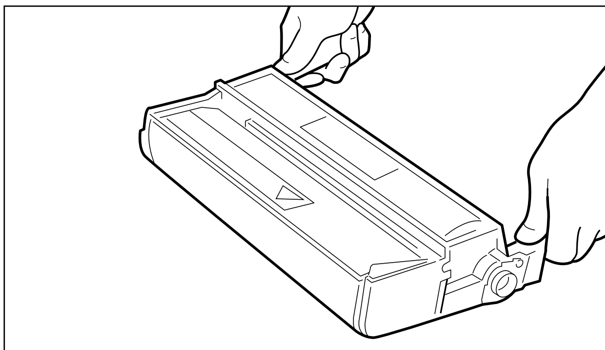
- 取り外した前カバーは安全な場所に置いてください。
- 前カバー内の転写ローラおよび除電ユニットには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。



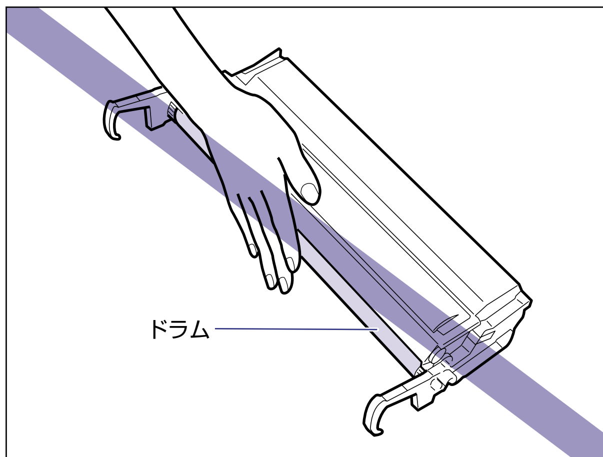
3 トナーカートリッジ左右の取っ手を持ち、水平に引き抜いてトナーカートリッジを取り出します。



重要 • トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

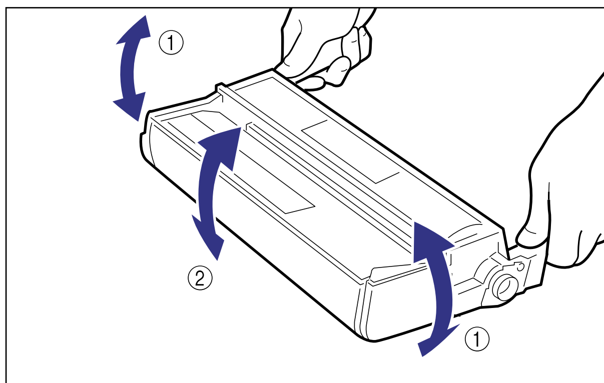


- トナーカートリッジのドラムに手を触れたり、傷をつけたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたりしないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



4 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと左右に5～6回振り①、次に上下に5～6回振って内部のトナーを均一にならします②。

トナーがこぼれないように振ってください。

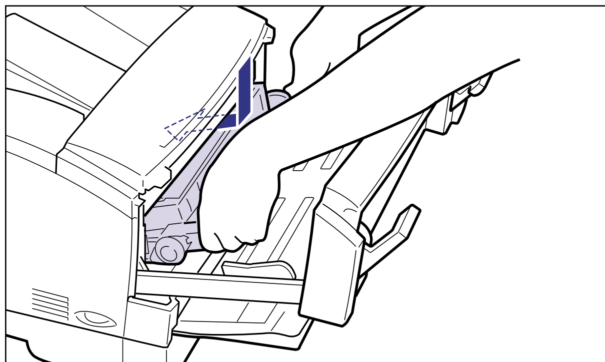


重要

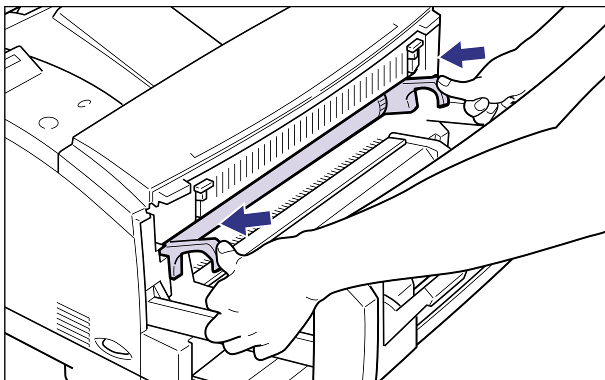
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないと、トナーがこぼれることがあります。

5 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

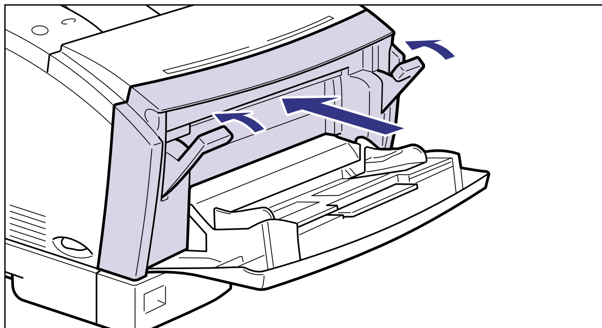
トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて、図に示す位置までゆっくりと水平に押し込みます。



6 図のようにトナーカートリッジの取っ手を親指で押して、奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

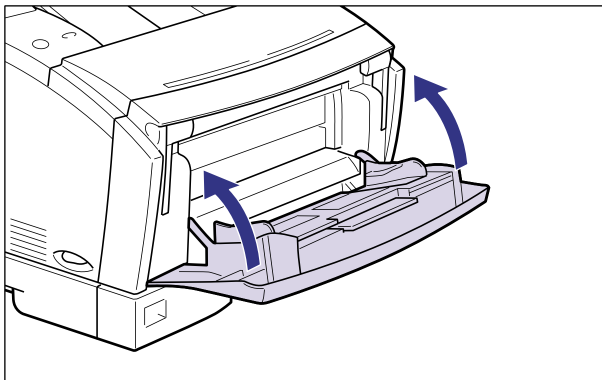


7 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーを上げてロックします。



重要
- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けた後、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

8 給紙トレイを閉めます。



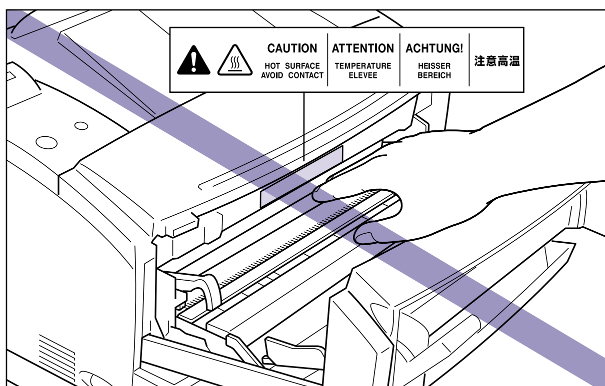
上記のような操作をしてもメッセージが消えなかったり、プリントがかすれるときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジの交換

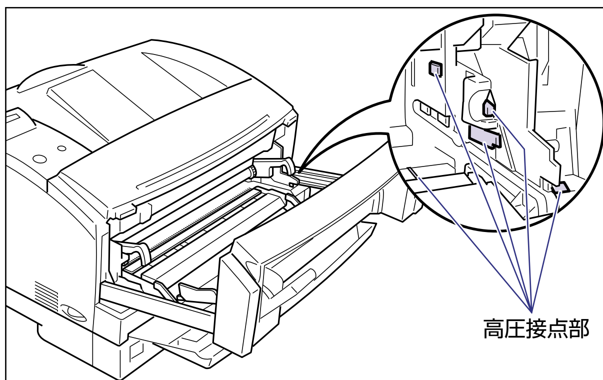
「16　トナー　コウカン」のメッセージが表示されたら、次の手順で新しいトナーカートリッジと交換してください。

警告　使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着ユニット周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



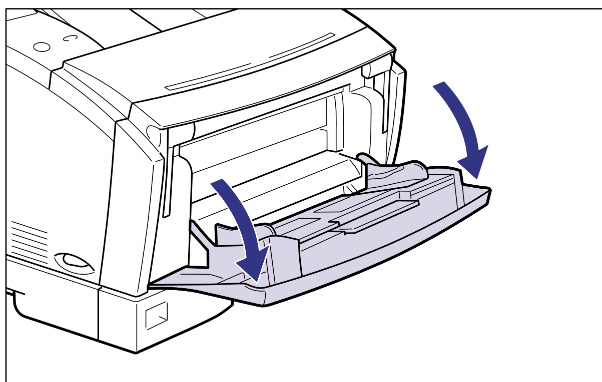
重要
- 前カバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。



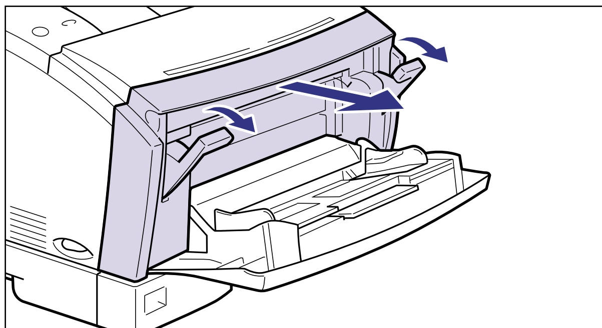
- 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

1 給紙トレイを開けます。

給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開けます。



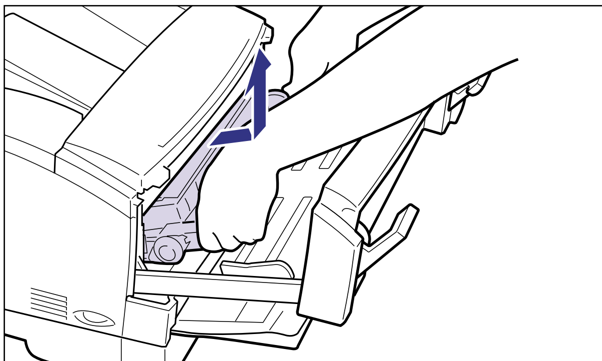
2 左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。





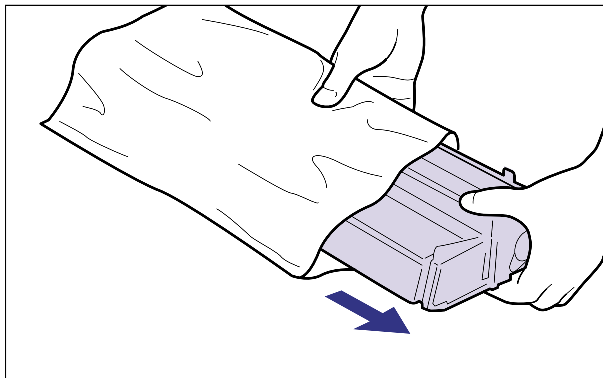
前カバー内側の転写ローラおよび除電ユニットには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

3 トナーカートリッジ左右の取っ手を持ち、水平に引き抜いてトナーカートリッジを取り出します。



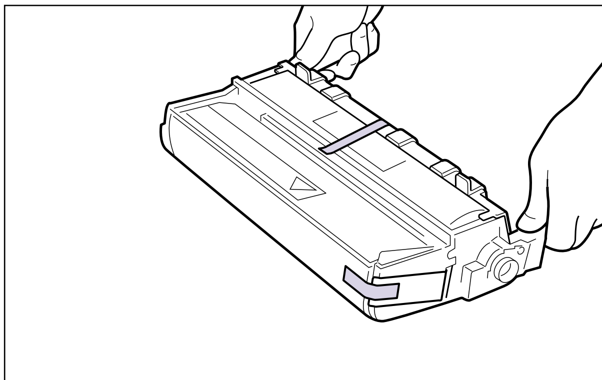
4 新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

保護袋はトナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。



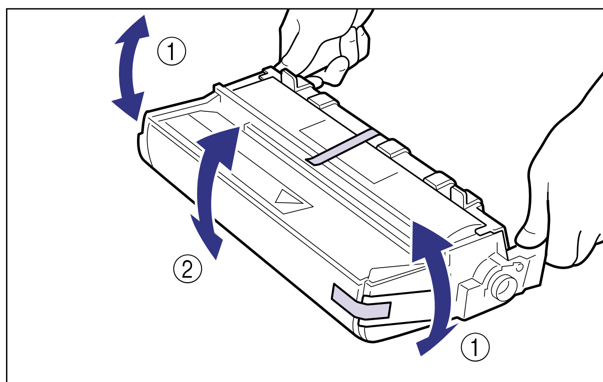
重要

- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



- トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに、必要になります。

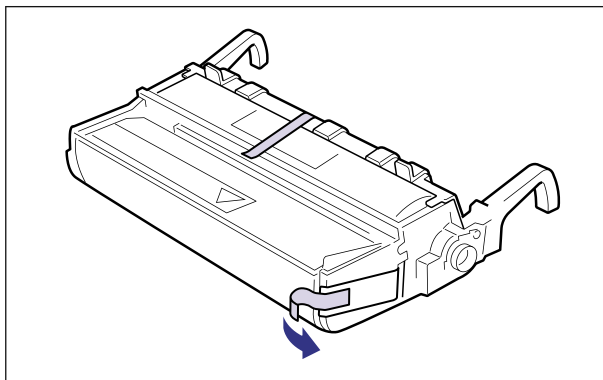
5 **トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと左右に５～６回振り①、次に上下に５～６回振って内部のトナーを均一にならします②。**



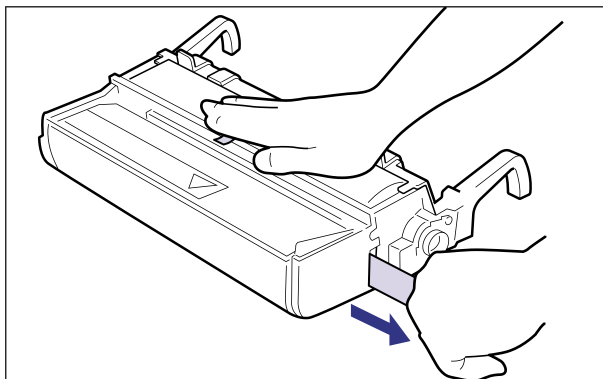
重要

- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないと、トナーがこぼれることがあります。

6 トナーカートリッジを平らな場所に置き、シーリングテープを止めているテープを取り外します。



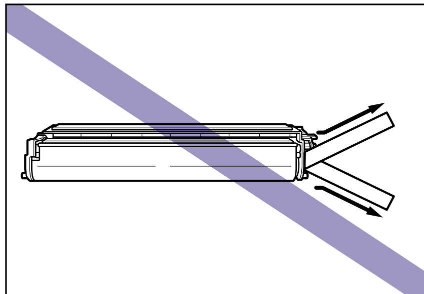
7 トナーカートリッジを押さえながら、シーリングテープ（長さ約60cm）をゆっくりとまっすぐ横（矢印の方向）に引き抜きます。



⚠注意 シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

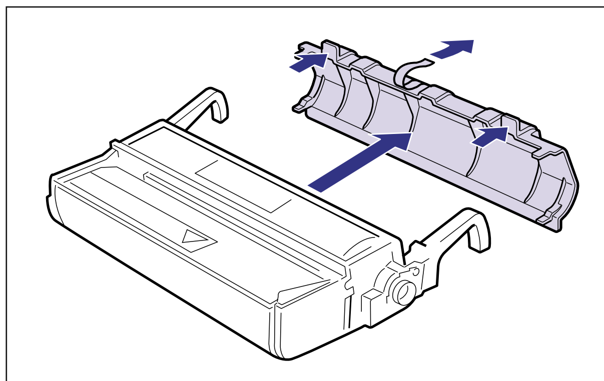
重要

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れて、完全に引き抜けなくなることがあります。



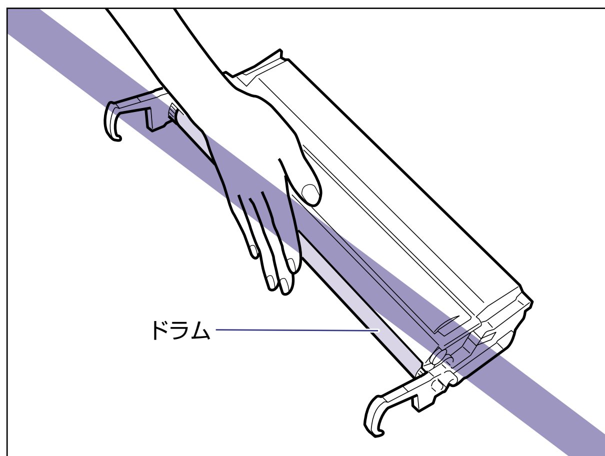
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

8 **保護カバーを止めているテープを取り外し、2 箇所のレバー部分を押して、トナーカートリッジの保護カバーを取り外します。**



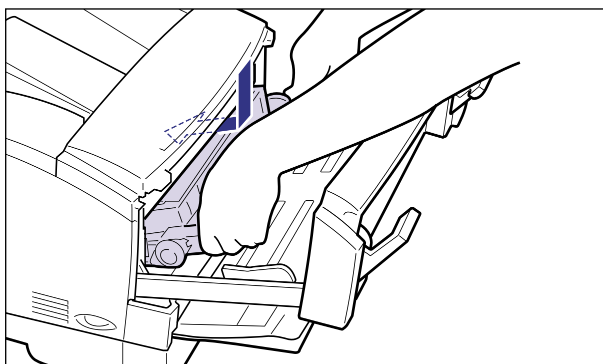
重要

- 新品のトナーカートリッジに装着されている保護カバーは、取り外した後に再装着しないでください。ドラムを傷つけることがあります。
- トナーカートリッジのドラムに手を触れたり、傷をつけたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたりしないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

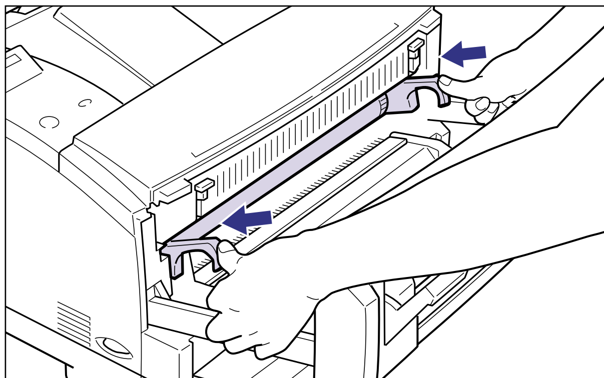


9 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

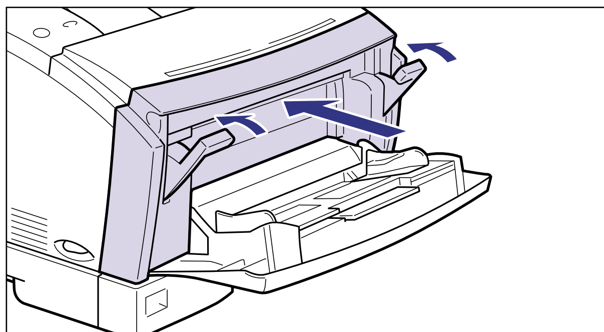
トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて、図に示す位置までゆっくりと水平に押し込みます。



10 図のようにトナーカートリッジの取っ手を親指で押して、奥に突き当たるまでしっかりと押し込みます。

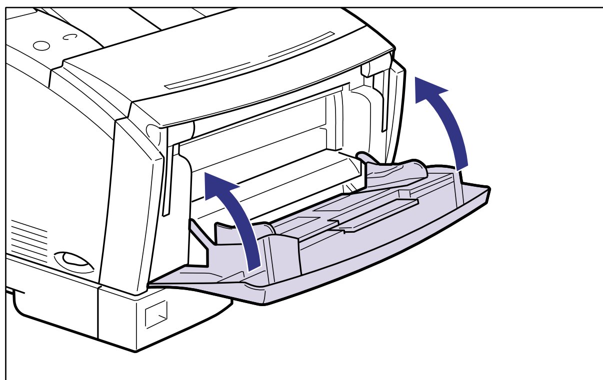


11 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーを上げてロックします。



重要
- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けた後、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

12 **給紙トレイを閉めます。**



次に定着ローラの清掃を行ってください。（→定着ローラを清掃する：P.4-22）

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

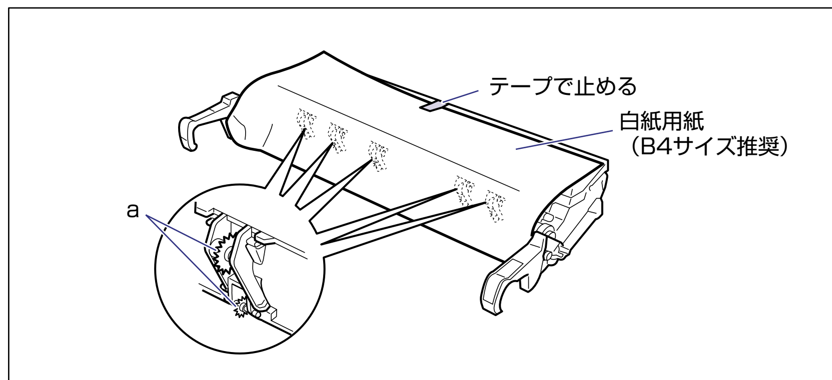
トナーカートリッジ取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因となることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外し時には、次のような点に気を付けて取り扱ってください。

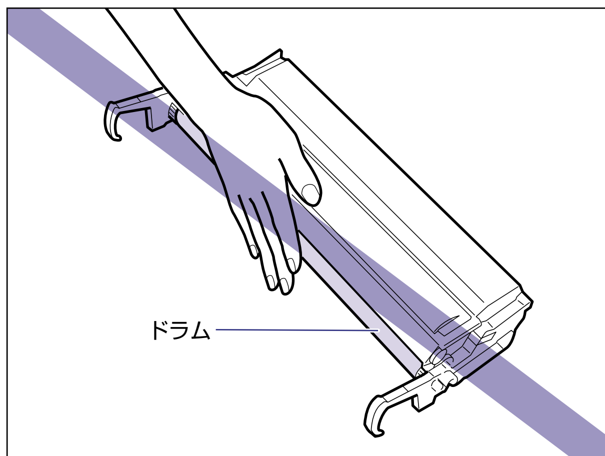
警告 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

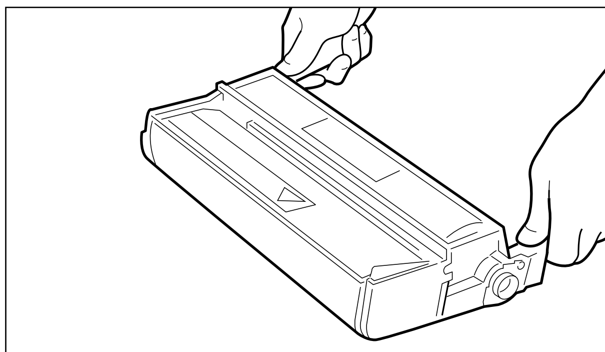
重要
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- トナーカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近づけないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近づけないでください。データ破損などの原因を与えることがあります。
- 本体にセットするまでは保護袋から出さないでください。本体から取り外したときは、すみやかにトナーカートリッジが入っていた保護袋に入れるか、ドラムにほこりなどが付着するのを避けるため、図に示すようにトナーカートリッジに白紙用紙（B4 サイズ推奨）を巻いてから、厚い布で包んでください。また、トナーカートリッジに白紙用紙を巻く際は、ドラムの上側に取り付けられている拍車状の部品（a）を破損しないように気を付けてください。



- トナーカートリッジのドラムに手を触れたり、傷をつけたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたりしないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



- 新品のトナーカートリッジに装着されている保護カバーは、ドラムを傷つけることがありますので取り外し後に再装着しないでください。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに2時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

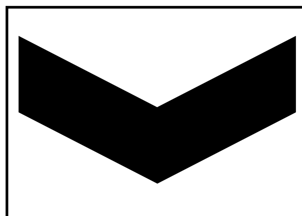
重要
- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、遮光およびドラム保護のためにパッケージに使われていた保護袋に入れるか、あるいはドラムにほこりなどが付着しないようにトナーカートリッジに白紙用紙を巻いてから厚手の布で包んで保管してください。
- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0～35℃
  保管湿度範囲：35～85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

定着ローラを清掃する

トナーカートリッジの交換が終わったら、次の手順で定着ローラを清掃してください。また、プリントした用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合も、定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。定着ローラの清掃は、まずクリーニング用紙をプリントし、そのクリーニング用紙を使って給紙トレイから給紙し、清掃します。





- 定着ローラの清掃は、トナーカートリッジの交換毎に行ってください。
- A4またはレターサイズの用紙以外に、クリーニング用紙をプリントすることはできません。A4またはレターサイズの用紙をご用意ください。
- A4またはレターサイズの用紙が給紙カセットにセットされていないときは、給紙トレイにA4またはレターサイズの用紙を横送りでセットしてください。



1 **［オンライン］を押します。**

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 **［ユーティリティ］を押します。**

ユーティリティ

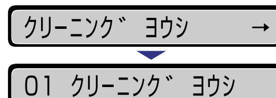


ステータス プリント





3 [＜]、[＞] で「クリーニング　ヨウシ」を選択し、[実行] を押します。



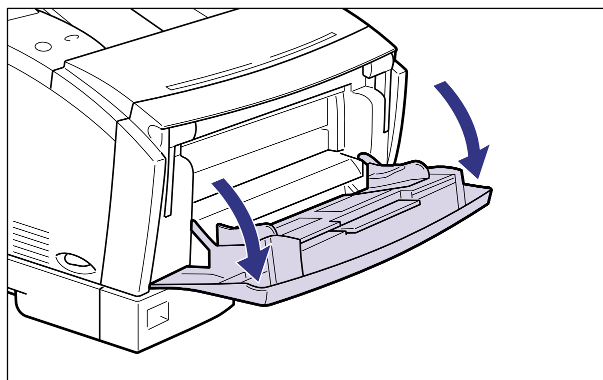
ディスプレイに「01　クリーニング　ヨウシ」と表示され、クリーニング用紙がプリントされます。



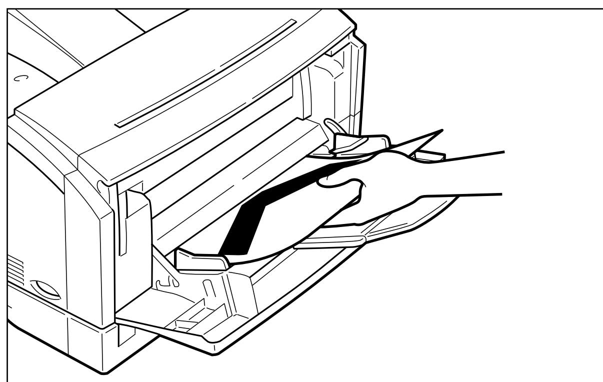
A4またはレターサイズの用紙がいずれの給紙元にもセットされていないときは、メッセージが表示されます。給紙トレイに用紙をセットしてください。

4 給紙トレイを開けます。

給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開けます。

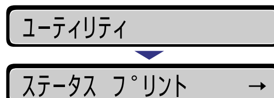


5 クリーニング用紙の印字面を上向きにして、矢印が奥側に向くようにセットします。





6 ［ユーティリティ］を押します。

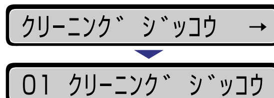








7 ［<］、［>］で「クリーニング　ジッコウ」を選択し、［実行］を押します。



用紙がゆっくりと送られて、定着ローラの清掃を開始します。



- クリーニングには、約5分かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまではお待ちください。



8 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

印字濃度を調整する

プリント結果の印字濃度が濃すぎたり、薄すぎたりするようなときは、次の操作でトナー濃度を調整します。トナー濃度は、工場出荷時に標準的な濃度（4）に設定されています。トナー濃度は、１～８まで操作パネルから設定できます。

オンライン

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

セットアップ

2 ［セットアップ］を押します。

セットアップ゜

カクチョウ　キノウ　→

ユーティリティ
セットアップ
実行

3 ［<］、［>］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［実行］を押します。

インシ゛　チョウセイ　→

スーハ゜ースムース゛　→

印字調整の設定項目が表示されます。

ユーティリティ
セットアップ
実行

4 ［<］、［>］で「トナー　ノウド」を選択し、［実行］を押します。

トナー　ノウト゛　→

=4　→

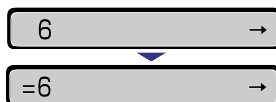
トナー濃度の設定値が表示されます。



5 ［＜］、［＞］で目的の数値を選択し、［実行］を押します。

［＜］を押すと数値が減り、印字濃度は薄くなります。

［＞］を押すと数値が増え、印字濃度は濃くなります。



設定値の左に「＝」が表示され、トナー濃度が設定されます。



6 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

給紙ローラと分離パッドを清掃する

■ **給紙トレイの給紙ローラを清掃する場合**

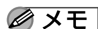
給紙ローラが汚れると、用紙がうまく給紙されなくなります。用紙が給紙されない、または給紙トレイで紙づまりが頻繁に発生するようなときは、給紙ローラの清掃が必要です。詳しくは、お買い求めの販売店、または「お客様相談センター」にお問い合わせください。

■ **給紙カセット、ペーパーフィーダ（オプション）の給紙ローラと分離パッドを清掃する場合**

給紙ローラや分離パッドが汚れると、用紙がうまく給紙されなくなります。用紙が給紙されない、または給紙カセットやペーパーフィーダ（オプション）で紙づまりが頻繁に発生するようなときは、給紙ローラと分離パッドの清掃が必要です。給紙ローラと分離パッドは次の手順で清掃します。



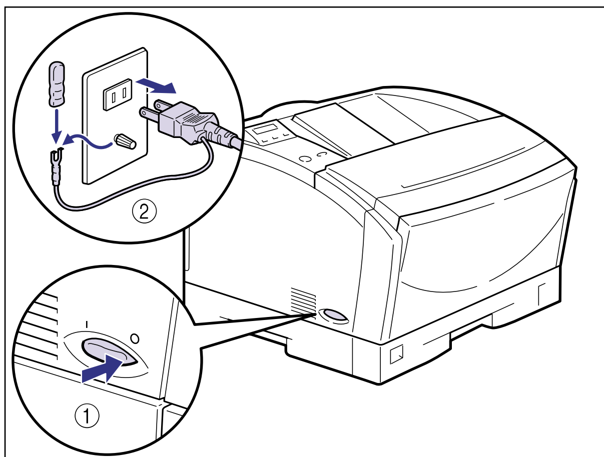
給紙ローラと分離パッドの清掃を行っても用紙がうまく給紙されないときは、給紙ローラと分離パッドの交換が必要です。詳しくは、お買い求めの販売店、または「お客様相談センター」にお問い合わせください。



ペーパーフィーダ（オプション）の給紙ローラと分離パッドの清掃は、プリンタ本体の給紙ローラや分離パッドと同様の手順で行います。

1 **電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにし①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線をアース線端子から取り外します②。**

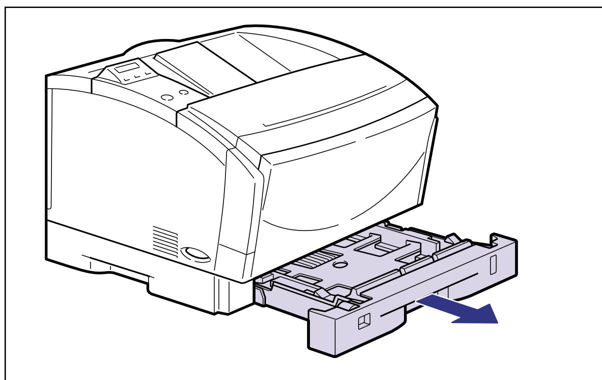
電源をオフにするときは、ジョブランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。

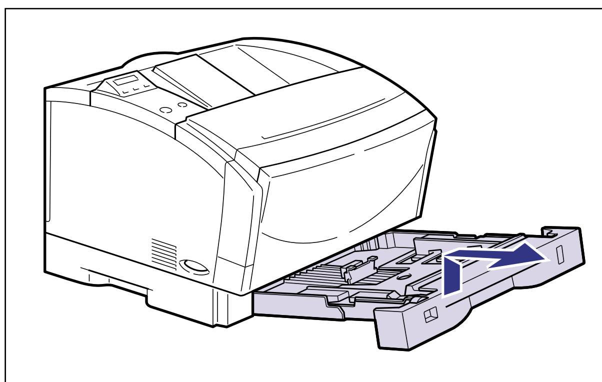


重要 電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。**

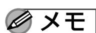
3 給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します。





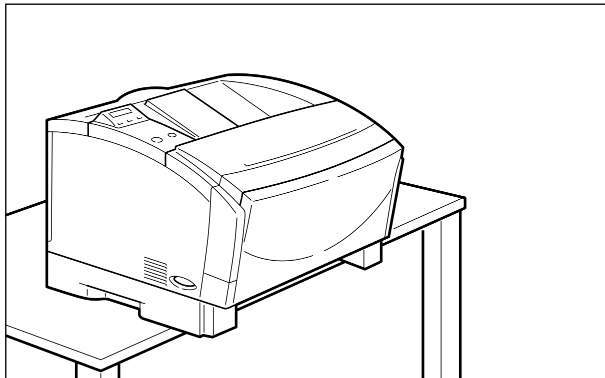


給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

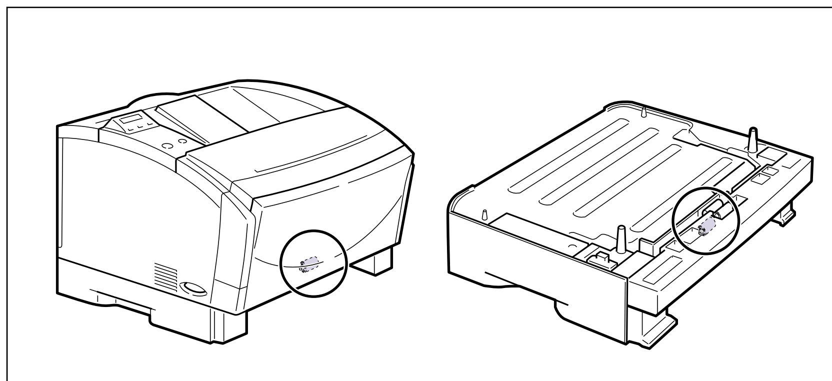


ペーパーフィーダ（オプション）の給紙ローラと分離パッドを清掃するときは、すべてのペーパーフィーダの給紙カセットを取り外します。

4 プリンタ本体やペーパーフィーダを作業しやすい場所へ移動します。

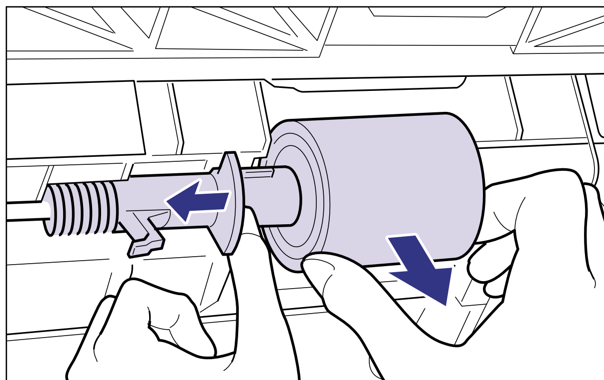


給紙ローラは、プリンタ本体または、ペーパーフィーダの前側下部に取り付けられています。

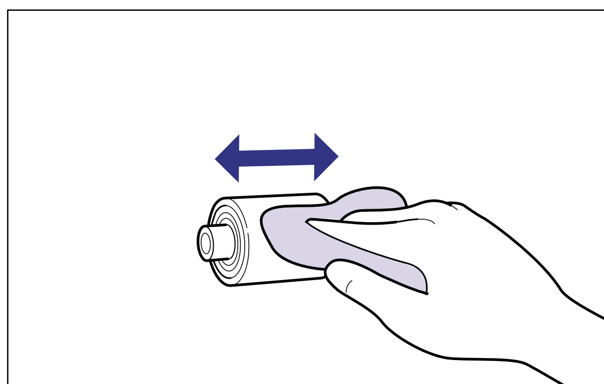


重要
- プリンタを移動するときは、「プリンタを移動する」（→P.4-38）を参照してください。
- ペーパーフィーダの清掃は、一段ずつ行ってください。また、移動するときは、一段ずつ取り外して持ち運んでください。

5 レバーを左側に押して、給紙ローラを取り外します。

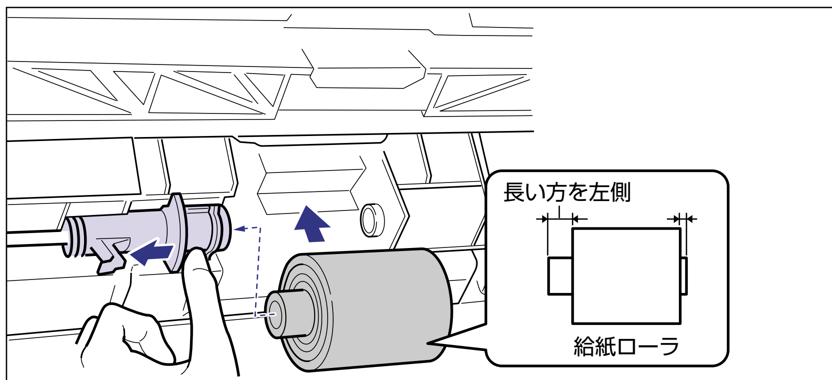


6 水を含ませた柔らかい布をかたく絞り、図のように給紙ローラの汚れを拭き取ります。

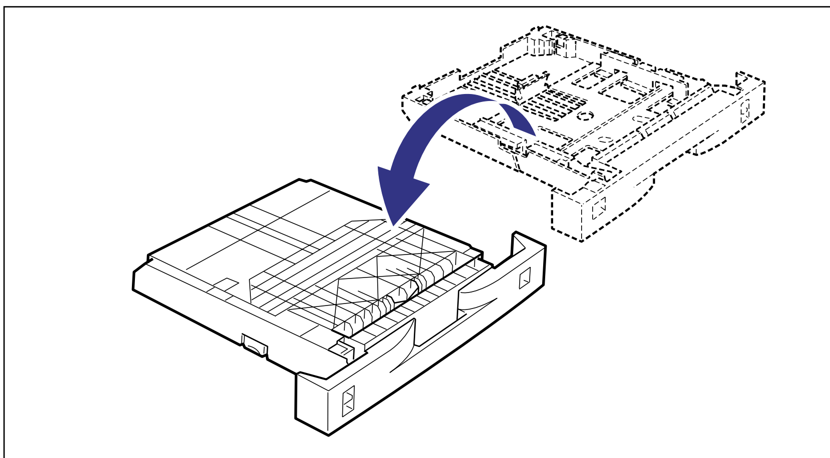


重要
- 給紙ローラの汚れを拭き取るときは、矢印の方向に拭き取ってください。
- 水を含ませた布以外のもので清掃しないでください。
- 給紙ローラは、完全に乾いてから取り付けてください。

7 給紙ローラの軸の長い方を左に向け、レバーを左側に押しながら給紙ローラを軸にはめ込んでレバーを戻します。

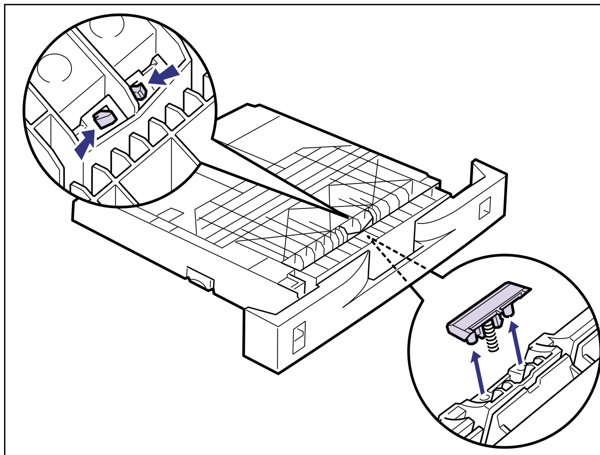


8 給紙カセットを裏返します。

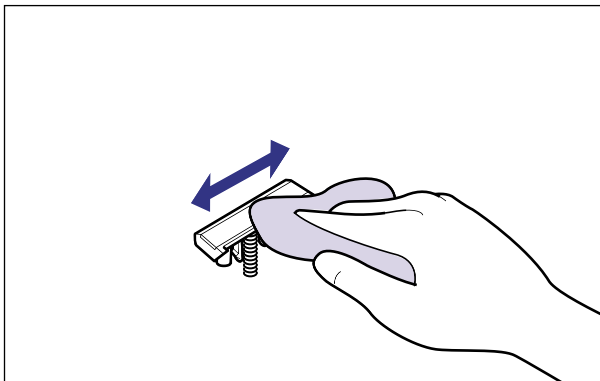


9 分離パッドのツメを左右同時につまみ、分離パッドを取り外します。

給紙カセットを上に向けたまま取り外すと、パッドが飛び出すことがあります。パッドが飛ばないように押さえながら取り外します。



10 水を含ませた柔らかい布をかたく絞り、図のように分離パッドの汚れを拭き取ります。

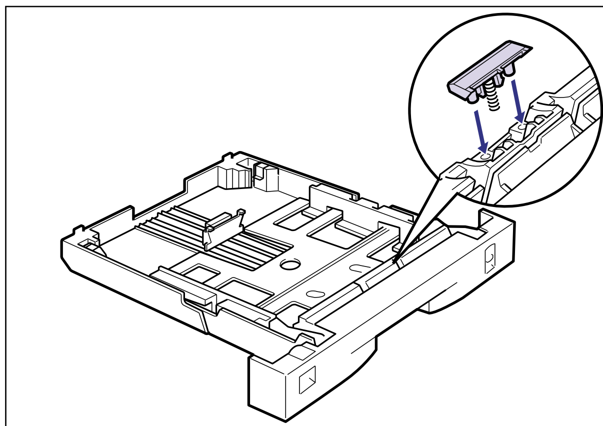


重要

- 分離パッドの汚れを拭き取るときは、矢印の方向に拭き取ってください。
- 水を含ませた布以外のもので清掃しないでください。
- 分離パッドは、完全に乾いてから取り付けてください。

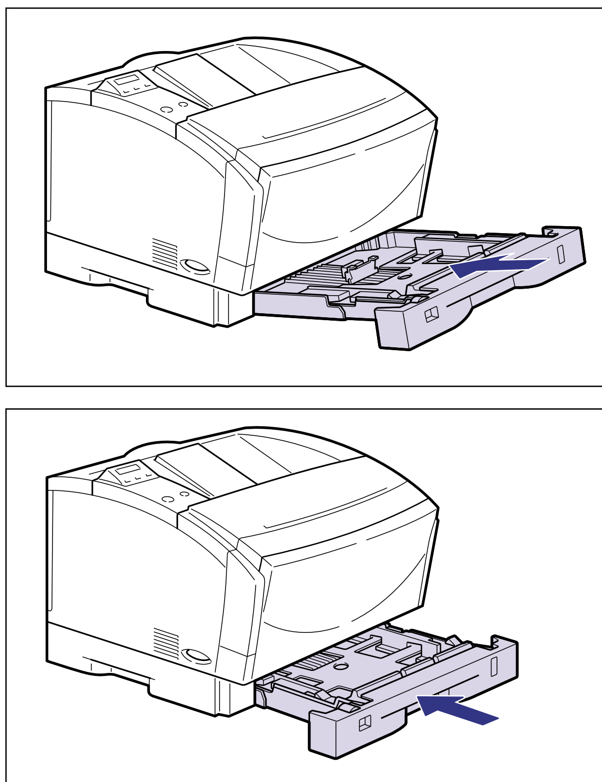
11 分離パッドをバネと一緒に図のように取り付けます。

カチッと音がするまで押し込みます。



12 プリンタ本体やペーパーフィーダを設置場所へ戻します。

13 給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体にセットします。



14 すべてのインターフェースケーブルや電源コードを接続します。

15 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

プリンタを清掃する

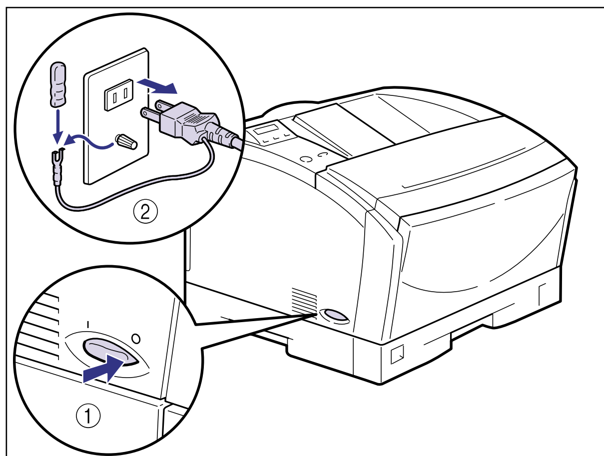
本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や通気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

⚠警告
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本体内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- 本体のプラスチックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線をアース線端子から取り外します②。**

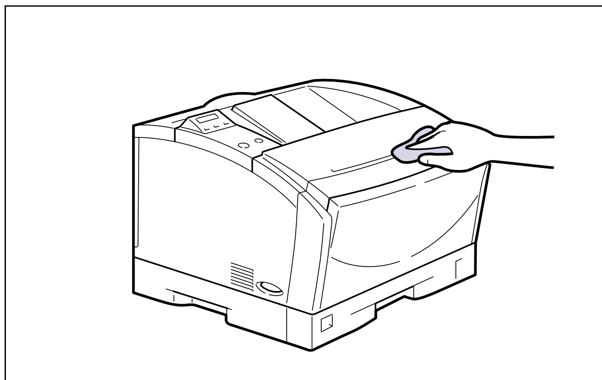
電源をオフにするときは、ジョブランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。



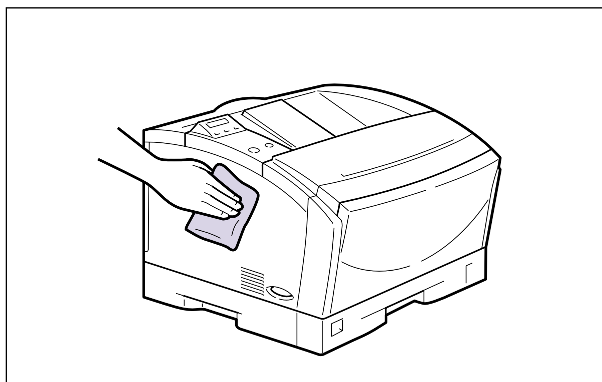
重要 電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れを拭き取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ず後から水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ってください。



3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。



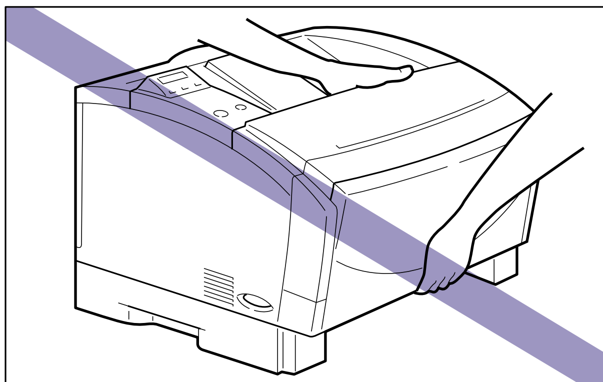
4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

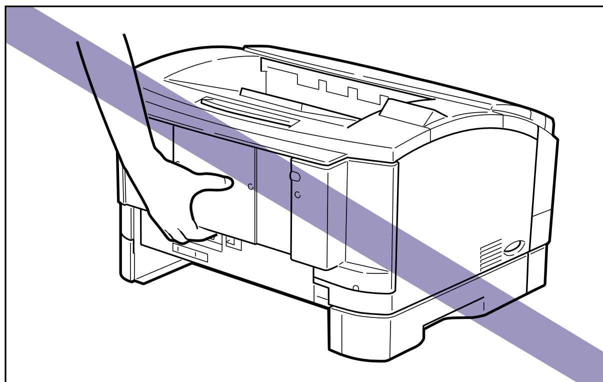
プリンタを移動する

メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の内容を守り、手順にしたがって移動してください。

警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

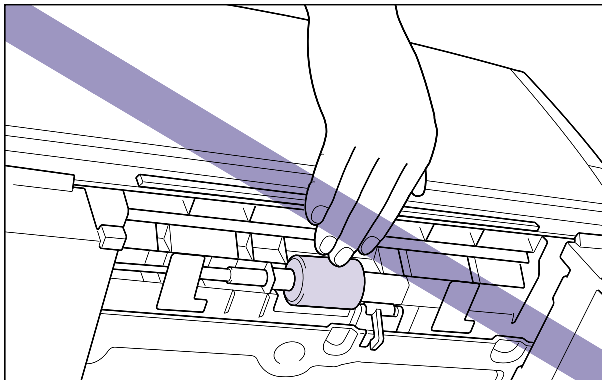
注意
- 本プリンタは給紙カセット、トナーカートリッジを取り付けていない状態で約13.6kgあります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。





重要

- 必ず給紙カセット、トナーカートリッジを取り外し、給紙トレイが閉じていることを確認してから持ち運んでください。
- 給紙トレイに絶対に手を掛けないでください。給紙トレイが破損することがあります。
- 給紙ローラには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。



メモ

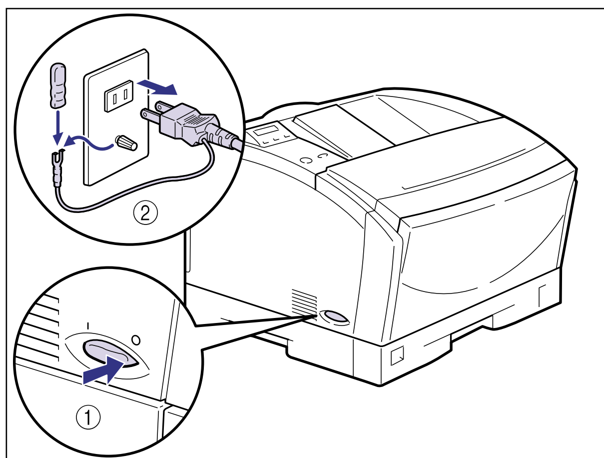
設置場所については、設置ガイド「第1章 設置する前に」を参照してください。

本体を移動する

本プリンタを移動するときは、次の手順で正しく持ち運んでください。

1 **電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにし①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します②。**

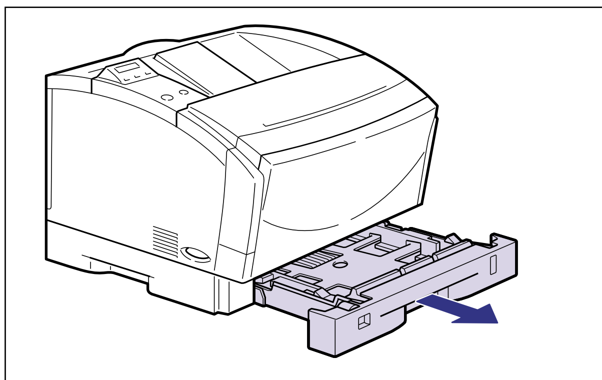
電源をオフにするときは、ジョブランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。

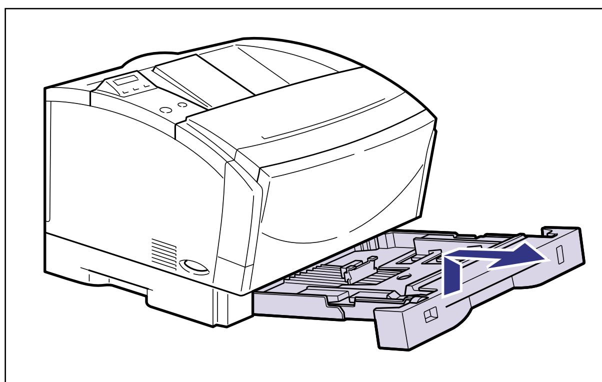


重要 電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 給紙カセットを止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します。



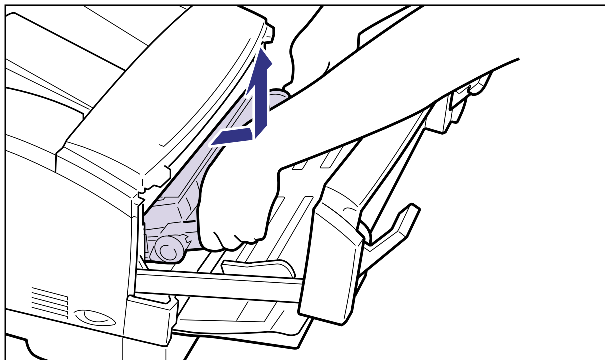




給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

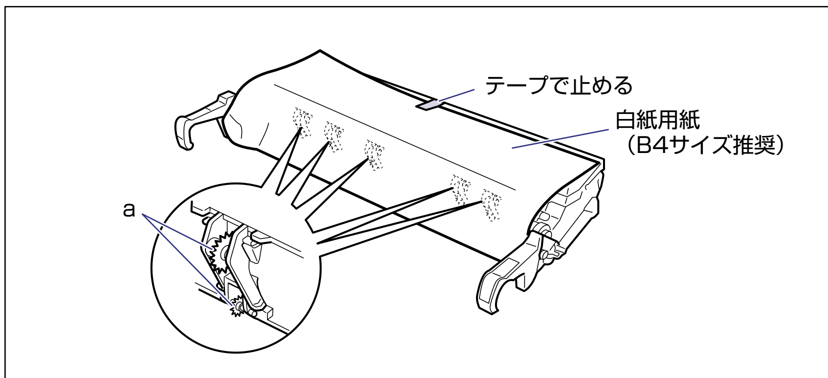
4 給紙トレイを開け、左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

5 トナーカートリッジの左右の取っ手を持ち、水平に引き抜いてトナーカートリッジを取り出します。



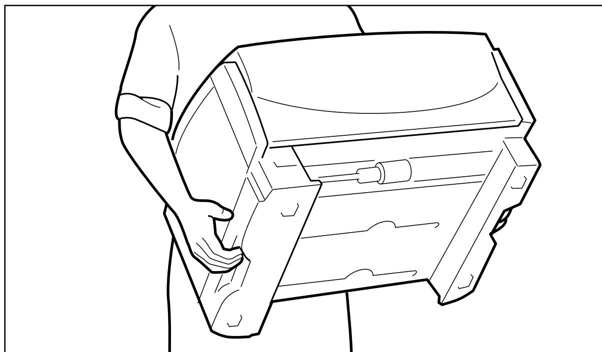


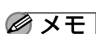
取り出したトナーカートリッジは、トナーカートリッジが入っていた保護袋に入れるか、ドラムにほこりなどが付着するのを避けるため、図に示すようにトナーカートリッジに白紙用紙（B4 サイズ推奨）を巻いてから、厚い布で包んで移動先に持ち運んでください。また、トナーカートリッジに白紙用紙を巻く際は、ドラムの上側に取り付けられている拍車状の部品（a）を破損しないように気を付けてください。



6 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーをロックし、給紙トレイを閉めます。

7 図のように本体の左右に手を掛け、しっかりと抱えて持ち運びます。





オプションのペーパーフィーダが取り付けられているときは、設置ガイド「第３章 オプションの取り付け」を参照してください。

8 移動場所にゆっくりとおろします。



プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

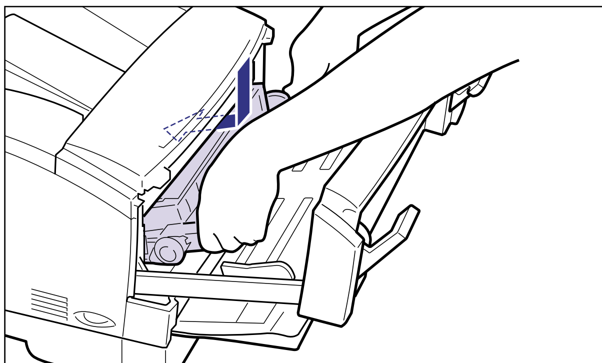


設置場所にはオプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

9 給紙トレイを開け、左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

10 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

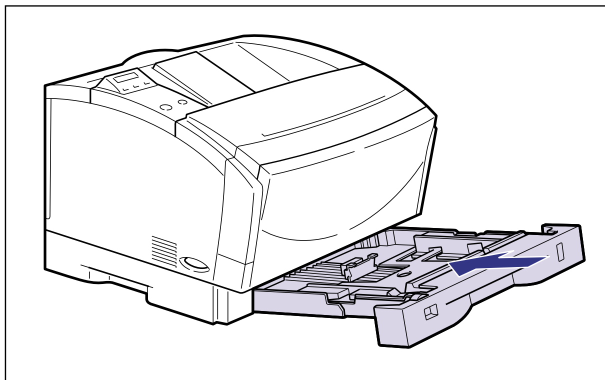
トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて、図に示す位置までゆっくりと水平に押し込みます。

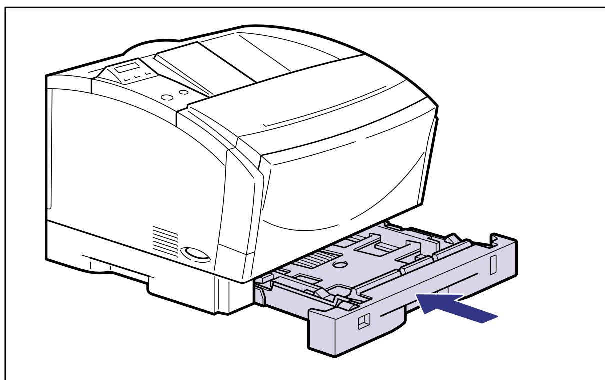


4 日常のメンテナンス

11 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーをロックし、給紙トレイを閉めます。

12 給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体にセットします。





13 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

14 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

●プリンタを輸送するときは

移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。

本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

プリンタの取り扱いについて

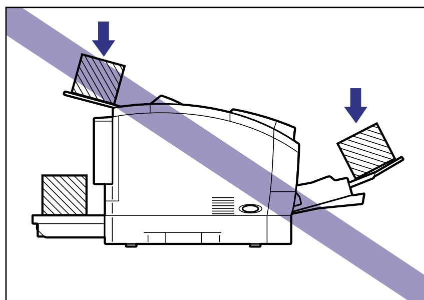
本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

重要　本プリンタの取り扱いについては「安全にお使いいただくために」(→P.x) もお読みください。

プリンタの取り扱いのご注意

つねに最良の状態でプリントできるように、以下の注意事項をお守りください。

重要
- プリンタや給紙トレイ、前カバーなどの上に重いものを置かないでください。



- 前カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、プリントの品質が低下する原因になります。
- プリント中に振動を与えないでください。プリントの品質が低下することがあります。
- プリント中は、絶対に前カバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 給紙トレイや前カバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。

プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないようなときは、以下の環境で保管してください。

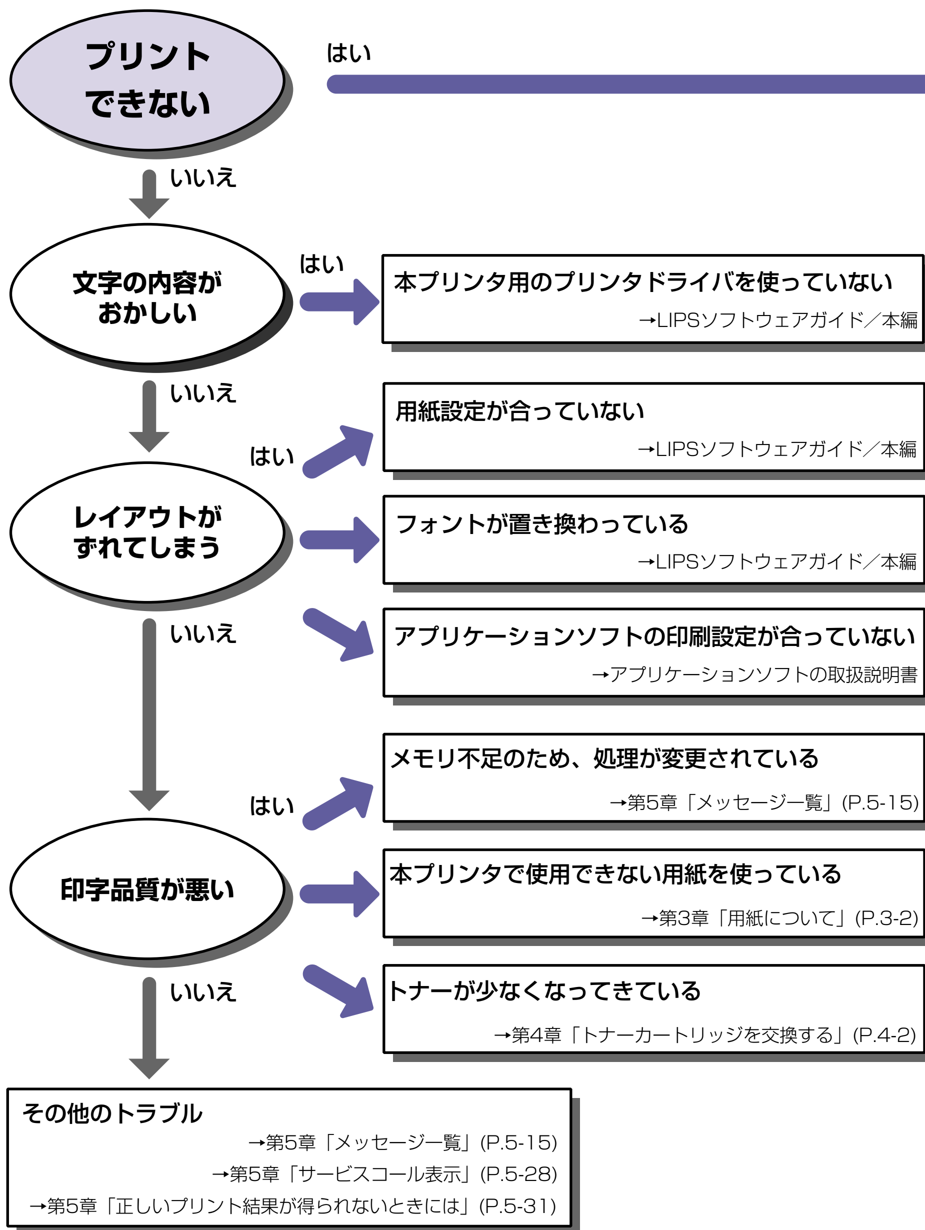
- 温度が0～35.0℃の範囲内の場所
- 湿度が10～80%RH（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

困ったときには

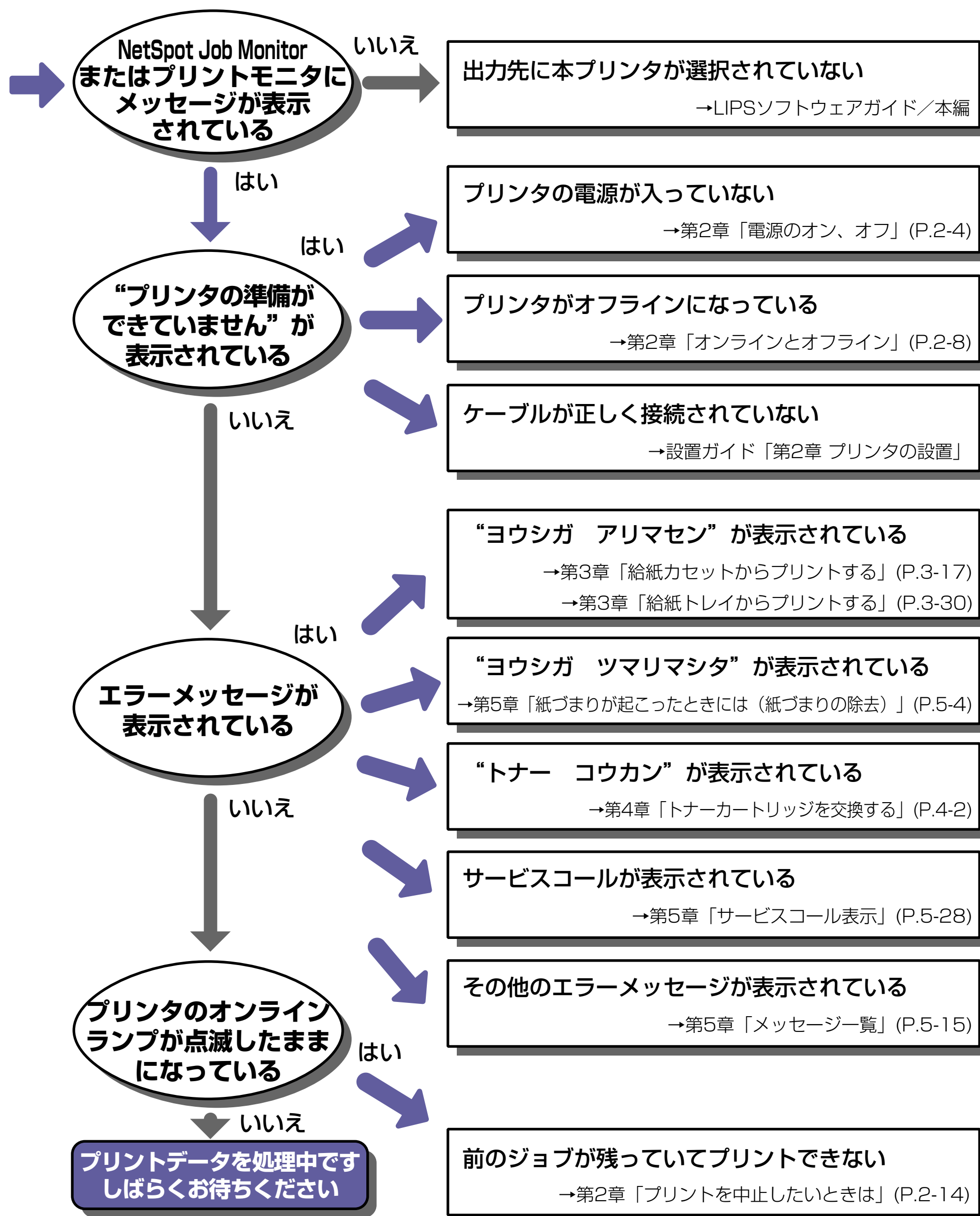
5
CHAPTER

この章では紙づまりが起こったときやエラーメッセージが表示されたときの対処のしかたについて説明しています。

トラブル解決マップ



プリントできない
はい
いいえ
文字の内容がおかしい
はい
本プリンタ用のプリンタドライバを使っていない
→LIPSソフトウェアガイド／本編
いいえ
はい
用紙設定が合っていない
→LIPSソフトウェアガイド／本編
レイアウトがずれてしまう
フォントが置き換わっている
→LIPSソフトウェアガイド／本編
いいえ
アプリケーションソフトの印刷設定が合っていない
→アプリケーションソフトの取扱説明書
はい
メモリ不足のため、処理が変更されている
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-15)
印字品質が悪い
本プリンタで使用できない用紙を使っている
→第3章「用紙について」(P.3-2)
いいえ
トナーが少なくなってきている
→第4章「トナーカートリッジを交換する」(P.4-2)
その他のトラブル
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-15)
→第5章「サービスコール表示」(P.5-28)
→第5章「正しいプリント結果が得られないときには」(P.5-31)


NetSpot Job Monitor またはプリントモニタにメッセージが表示されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
→LIPSソフトウェアガイド／本編
はい
はい
"プリンタの準備ができていません"が表示されている
プリンタの電源が入っていない
→第2章「電源のオン、オフ」(P.2-4)
プリンタがオフラインになっている
→第2章「オンラインとオフライン」(P.2-8)
ケーブルが正しく接続されていない
→設置ガイド「第2章 プリンタの設置」
いいえ
はい
エラーメッセージが表示されている
"ヨウシガ　アリマセン"が表示されている
→第3章「給紙カセットからプリントする」(P.3-17)
→第3章「給紙トレイからプリントする」(P.3-30)
"ヨウシガ　ツマリマシタ"が表示されている
→第5章「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」(P.5-4)
"トナー　コウカン"が表示されている
→第4章「トナーカートリッジを交換する」(P.4-2)
サービスコールが表示されている
→第5章「サービスコール表示」(P.5-28)
その他のエラーメッセージが表示されている
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-15)
いいえ
プリンタのオンラインランプが点滅したままになっている
はい
前のジョブが残っていてプリントできない
→第2章「プリントを中止したいときは」(P.2-14)
いいえ
プリントデータを処理中です しばらくお待ちください

紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）

プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、プリントを再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

紙づまりの除去手順

用紙がつまったときは、最初にメッセージを確認してから、手順にしたがって用紙を取り除きます。

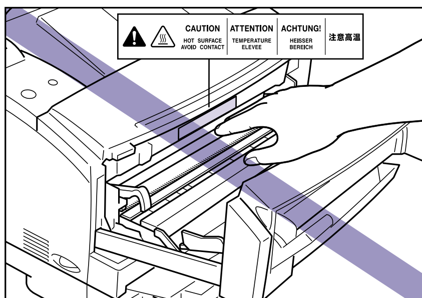


警告　製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。



注意

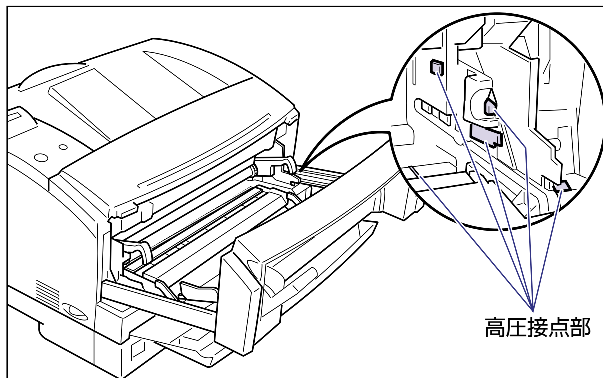
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように注意して扱ってください。



- 前カバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。



- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源はオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、プリント中のデータが消去されてしまいます。
- 用紙を取り除くときは、ドラムに触れないように気を付けてください。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。

---

1 ディスプレイに表示されているメッセージをすべて確認します。

メッセージが1つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。
メッセージは前カバーを引き出すと表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

13 ヨウシカ゛ ツマリマシタ



マエカハ゛ーエリア

メッセージは紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。

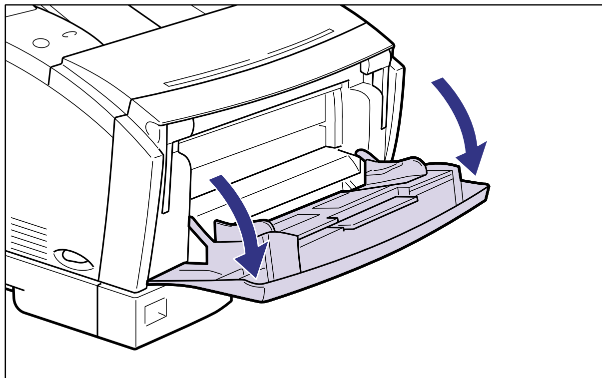
ディスプレイメッセージ	紙づまり位置
「マエ　カバー　エリア」	前カバー部
「ハイシ　エリア」	排紙部
「キュウシ　エリア」	給紙部

5

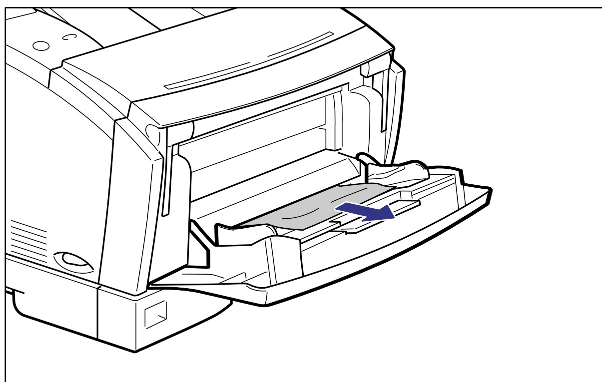
困ったときには

2 給紙トレイを開けます。

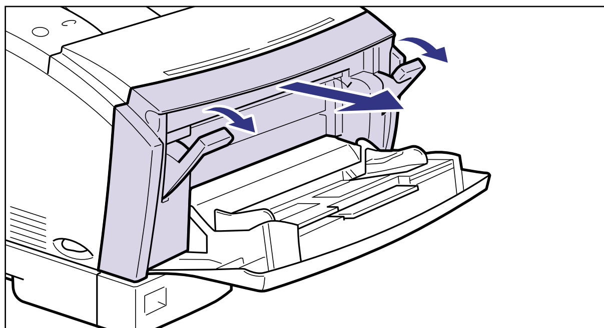
給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開けます。
給紙トレイから給紙していた場合には、手順3に進んでください。



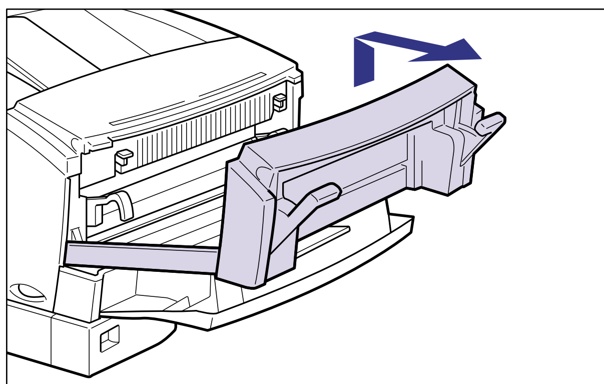
3 給紙トレイから給紙していた場合は、給紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。



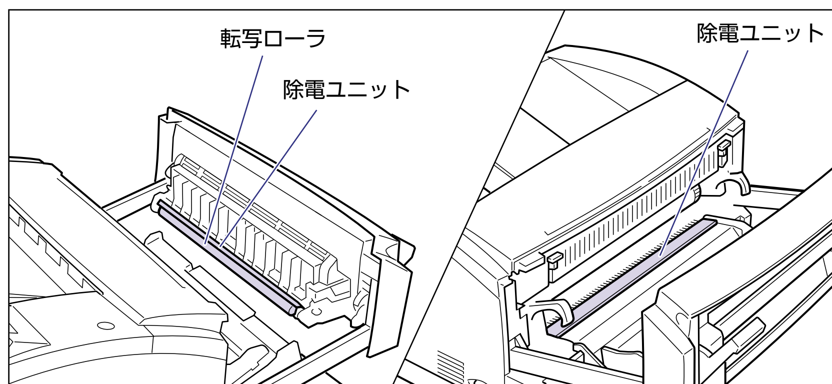
4 左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。



作業がしにくいときは、前カバーを少し持ち上げながら引くと、取り外すことができます。



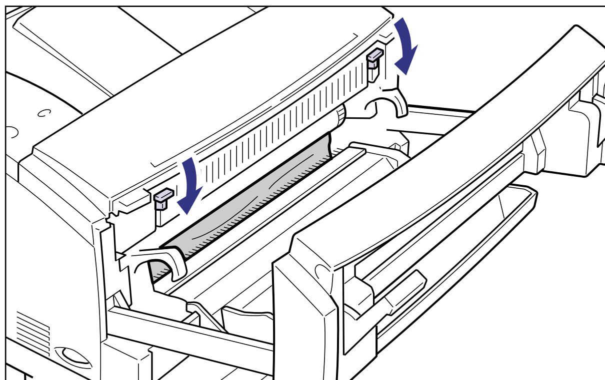
重要
- 取り外した前カバーは安全な場所に置いてください。
- 前カバー内の転写ローラおよび除電ユニットには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。



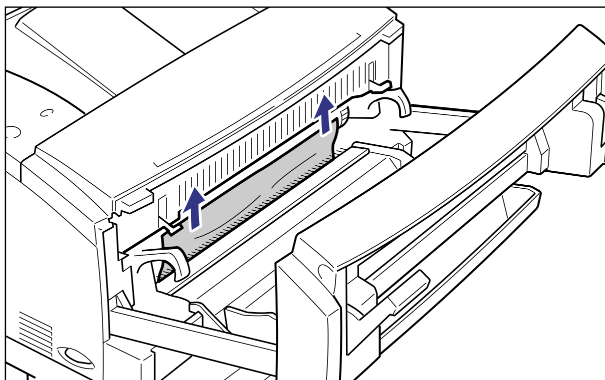
5

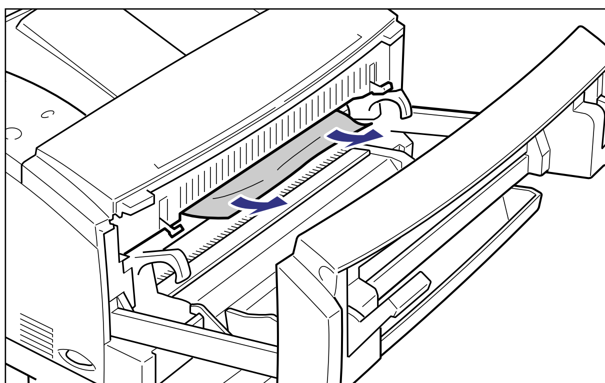
困ったときには

5 緑色の加圧解除レバーを左右ともに下げて、定着器圧を解除します。

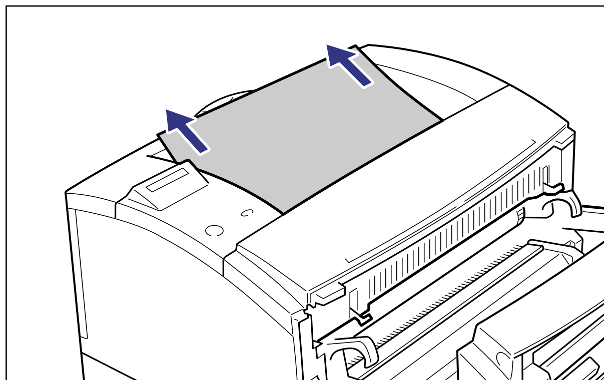


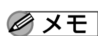
6 前カバー内部につまっている用紙を両手で引っぱって取り除きます。



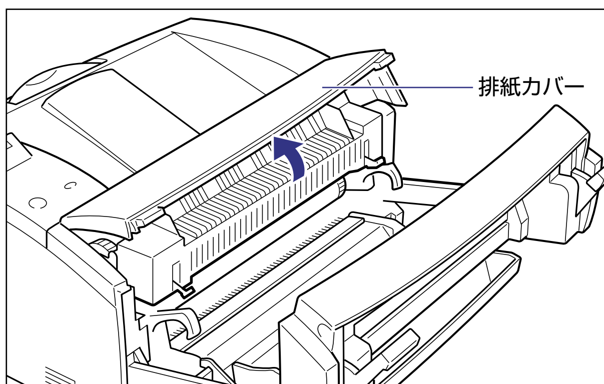


7 排紙トレイにつまっている用紙を両手で引っぱって取り除きます。

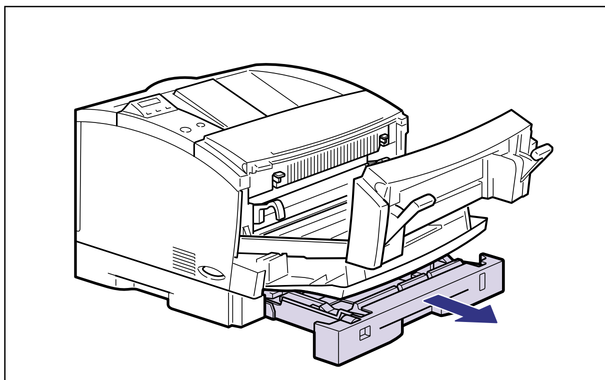


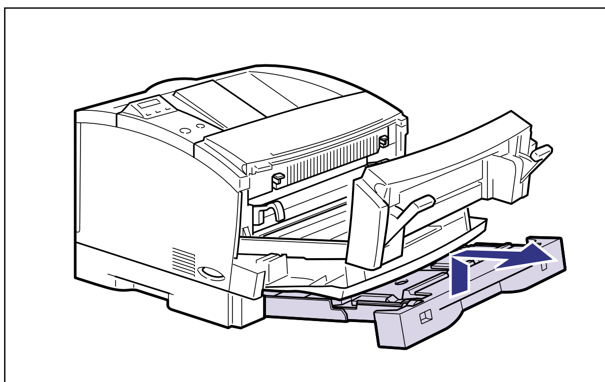


メモ　つまっている用紙を取り除いたあと、紙片などが残っていないか、排紙カバーを開いて確認してください。

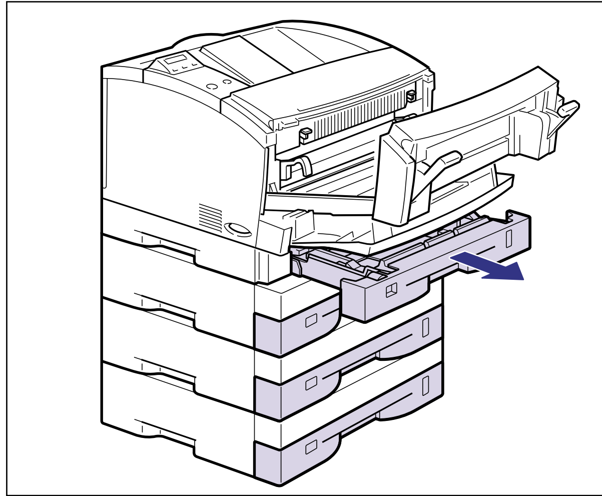


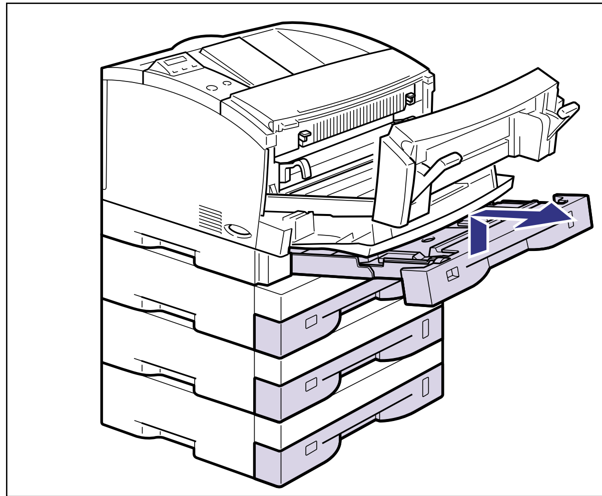
8 給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げて取り外します。





オプションのペーパーフィーダを取り付けている場合は、上段側から順にすべての給紙カセットを引き出してください。

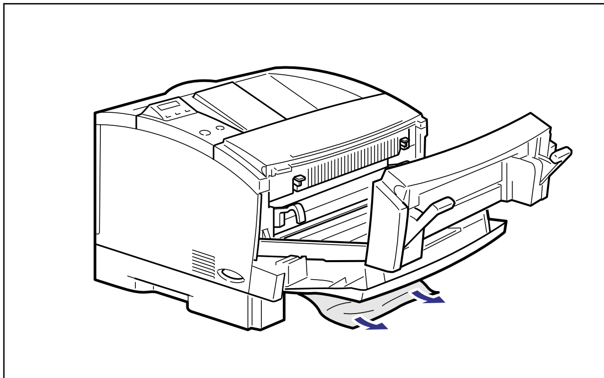


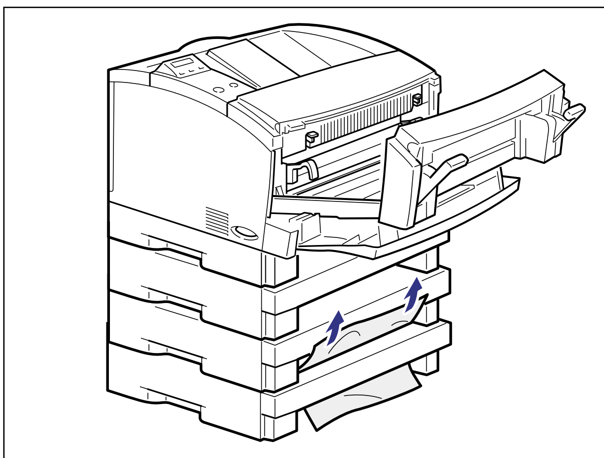


重要

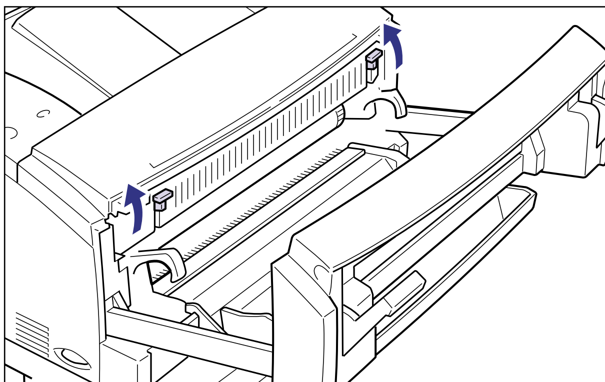
- カセットは上段側から引き出してください。下段側から引き出すと、つまった用紙がやぶれて紙づまりの原因となります。
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

9 つまっている用紙を両手で引っぱって取り除きます。

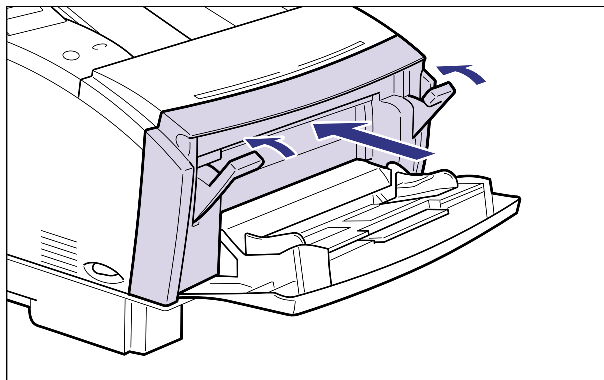




10 加圧解除レバーを左右ともに上げて、ロックします。



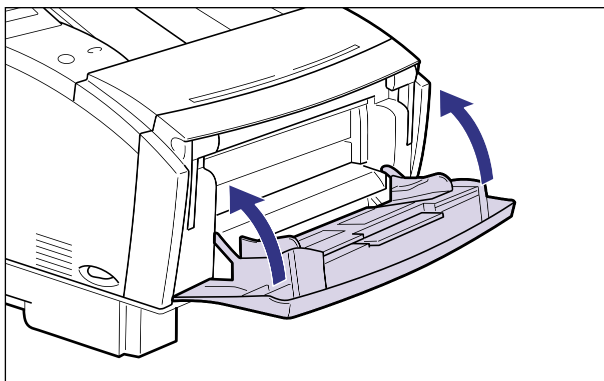
11 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーを上げてロックします。



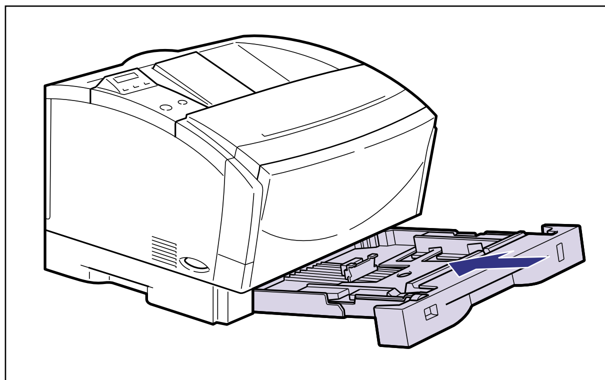


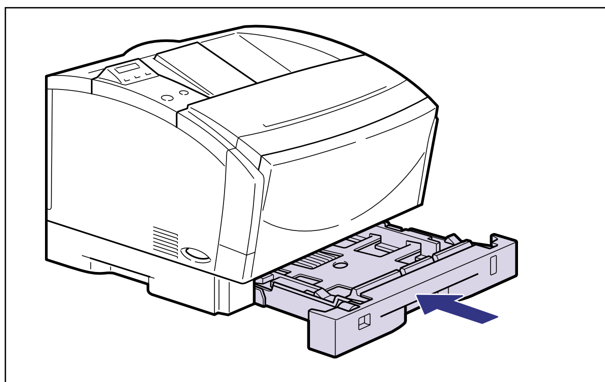
トナーカートリッジを取り付けた状態で、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

12 給紙トレイを閉めます。



13 給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体やペーパーフィーダにセットします。

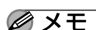




メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態（エラー状態）になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すエラーメッセージを表示します。また、プリントに支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告状態）になると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。

これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。



- 複数の警告が同時に発生しているときは、メッセージを交互に表示します。
- エラーメッセージが同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。
- （警告メッセージ）の付いているメッセージは、セットアップメニューの「警告表示」を「シナイ」に設定すると警告状態が発生している場合でも、メッセージは表示されません。
- <エラースキップ可>のマークが付いているメッセージは、[オンライン] を押すとエラーを回避（エラースキップ）してプリントを継続できますが、プリントデータが欠落したり、正しくプリントされなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、[オンライン] を押して再度プリントしなおしてください。また、このマークが付いているメッセージはセットアップメニューの「自動エラースキップ」を「ツカウ」に設定すると、自動的にエラーをスキップさせることもできます。

nn-nn　サービス　コール（nnは２桁の英数字）

原　因：プリンタの内部機構にトラブルが発生した

処　置：「サービスコール表示」（→P.5-28）の指示にしたがって、処置してください。

02　テイチャクキ　レイキャク

原因1：連続プリントによって定着器の温度が一定の温度を超えた

処　置：そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。冷却が終了するとプリントを再開します。

原因2：幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えてプリントした場合、印字品質を保つため、定着器の冷却を行っている

処置1：そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。プリント中に表示された場合は、冷却が終わるとプリントを再開します。プリント終了後に表示された場合は、定着器の冷却が終わると、表示が消えて機械の駆動が止まり、プリント可能状態になります。

処置2：セットアップメニューで特殊モードK の設定を「モード2」または「モード3」に変更します。（→LIPS 機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」）

重要　特殊モードK を「モード2」または「モード3」に設定すると、用紙サイズ切り替え時の定着ユニットの冷却によるプリント待ち時間を短くすることはできますが、印字品質が低下することがあります。

11　XXX ヨウシガ アリマセン（XXXは用紙サイズまたは略号）

原　因：給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「自動」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元）

処置1：用紙を補給またはセットしてください。

処置2：[給紙選択] で、同じ用紙サイズまたは大きい用紙サイズの他の給紙元を選択してください。（→給紙元を選択する：P.3-11）

12　カバーガ　アイテイマス

原　因：前カバーが開いている

処　置：前カバーをしっかりと閉めます。オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

13　ヨウシガ　ツマリマシタ

原　因：内部で紙づまりを起こしている

処　置：紙づまりを除去し、給紙カセットや前カバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。（➞紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）：P.5-4）

重要
- 紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイに紙づまりの位置を交互に表示します。
- 前カバーを開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ず前カバーを一度開閉してから、［オンライン］を押してください。

14　EPカートリッジ　ナシ

原　因：トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない

処　置：トナーカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（➞トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

16　トナー　チェック　（警告メッセージ）

原　因：トナーの残量が少なくなってきている

処　置：トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり左右に５〜６回、上下に５〜６回振って、セットしなおします。この操作を行ってもメッセージが表示されるときや画像に白抜けが発生したときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。前カバーを閉じた後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。（➞トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

16　トナー　コウカン　＜エラースキップ可＞

原　因：トナーの残量が少ない

処置１：トナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換してください。前カバーを閉じた後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。（➞トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

処置２：［オンライン］を押すと「16 トナー　チェック」のメッセージに変わり、プリントを継続します。

17　カセット１　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因：カセット１の用紙がなくなった

処　置：カセット１（プリンタ本体の給紙カセット）に用紙を補給してください。カセット１を元に戻した後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

17　カセット２　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因：ペーパーフィーダを装着時に、カセット２の用紙がなくなった

処　置：カセット２（オプションのペーパーフィーダ）に用紙を補給してください。カセット２を元に戻した後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

17　カセット３　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因：ペーパーフィーダを２段以上装着時に、カセット３の用紙がなくなった

処　置：カセット３（オプションのペーパーフィーダ）に用紙を補給してください。カセット３を元に戻した後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

17　カセット４　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因：ペーパーフィーダを３段装着時に、カセット４の用紙がなくなった

処　置：カセット４（オプションのペーパーフィーダ）に用紙を補給してください。カセット４を元に戻した後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

18　カセット１　ナシ

原　因：カセット１がセットされていない

処　置：カセット１をセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

18　カセット2　ナシ

原　因：カセット2がセットされていない

処　置：カセット2をセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

18　カセット3　ナシ

原　因：カセット3がセットされていない

処　置：カセット3をセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

19　ヨウシガ　ノコッテイマス　（警告メッセージ）

原　因：プリンタ内部に用紙が残っている

処　置：自動的に排出されます。少しお待ちください。

1C　ソウシンチュウ：セントロ／USB／EXP　（警告メッセージ）

原因1：双方向に対応していないパソコンと接続している場合に、メニューの双方向の設定が「ECP」または「ニブル」になっている

処　置：メニューの双方向の設定を「ツカワナイ」にしてください。（→LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」）

原因2：双方向通信機能を使ってプリンタからパソコンへデータを送信したときに、パソコン側がデータの処理中でデータを受信できる状態になっていなかった

処　置：一定時間後に自動的に送信データを消去し、メッセージが消えます。

21　プリント　オーバーラン　＜エラースキップ可＞

原　因：データが複雑すぎて処理が間に合わなかった（オーバーランした）

処置1：解像度の設定がファインのときはクイックに変更し、プリントしなおします。解像度の設定はプリンタドライバで行います。（→LIPSソフトウェアガイド／本編）

処置2：処置1の処置をしてもエラーが発生する場合は、セットアップメニューの印字調整グループで、「バンド制御」を「シナイ」に設定し、データを送りなおします。（→LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」）

処置3：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

23　ダウンロードメモリフル　＜エラースキップ可＞

原　因：オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした

処置1：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。

処置2：リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で空きRAM容量を増加し、データを登録しなおしてプリントします。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。（→電源のオン、オフ：P.2-4）
- セットアップメニューの印字調整グループで、「印字動作」を「トウロク　ユウセン」に設定してからハードリセットする。（→LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」）
- オプションの拡張RAMを取り付ける。（→設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」）

26　システムメモリ　フル　＜エラースキップ可＞

原　因：システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

処置1：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

処置2：リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。（→LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」）

処置3：処置2を行っても必要なワークメモリが確保できないときは、次のような方法で空きRAM容量を増加します。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張RAMを取り付ける。（→設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」）

28　ビョウガメモリ　フル　＜エラースキップ可＞

原　因：描画メモリが不足して処理ができなかった

処置1：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

処置2：リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。（→LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」）

処置3：処置2を行っても必要な描画メモリが確保できないときは、次のような方法で空きRAM容量を増加します。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張RAMを取り付ける。（→設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」）

30　メモリ　フル　　<エラースキップ可>

原因1：システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した

処　置：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

原因2：(電源のオン時に本エラーが発生した場合) メモリの構成が変更された (拡張RAMが取り外された) ためにNVRAMに設定されているメモリの容量を確保できなかった

処置1：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、メモリ構成の変更により正しくプリントされないことがあります。

重要　「30　メモリ　フル」が発生した時点で、NVRAMのメモリの構成が確保可能な値*に書き換えられます。(*：印字動作は工場出荷時の値に戻ります。) (→LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」)

処置2：電源をオフにした後、メモリの構成を変更前の構成に戻して (取り外したRAMを取り付けて) プリントしなおします。(→設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」)

33　ワークメモリ　フル　　<エラースキップ可>

原　因：ワークメモリが確保できない

処置1：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

重要　[オンライン] を押してプリントを継続する場合、登録済みのオーバレイやマクロなどのデータが削除されることがありますので気を付けてください。

処置2：リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法でRAMの空き容量を増加し、プリントしなおします。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす (メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください)。
- セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してハードリセットする。(→LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」)
- オプションの拡張RAMを取り付ける。(→設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」)

38　ガシツ　テイカ　　　　　　　　　　　　<エラースキップ可>

原　因：データが複雑すぎてファインモードで処理できない

処置1：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、解像度を下げてプリントします。

処置2：リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」）

処置3：リセットメニューでソフトリセットしたあと、解像度モードを下げてプリントしなおします。

処置4：ファインモードでプリントしたいときは、リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法でRAMの空き容量を増加します。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張RAMを取り付ける。（→設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」）

40　ツウシン　エラー　　　　　　　　　　　<エラースキップ可>

原　因：LANに接続しているときに、本プリンタとパソコンのデータのやりとりでエラーが発生した

処置1：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

処置2：リセットメニューでソフトリセットしたあと、本プリンタとパソコン間の LANケーブルの接続を確認し、プリントしなおします。

処置3：リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューのインタフェースグループの各設定値と、パソコンの設定値を合わせてプリントしなおします。

41　プリント　チェック　<エラースキップ可>

原因1：プリンタ内部に一時的なエラーが発生した

処　置：［オンライン］を押し、プリントを継続します。エラーが発生したページからプリントしなおします。

原因2：給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙のサイズと、給紙カセットの用紙サイズ表示、トレイ用紙サイズの設定が違っている

処　置：カセット給紙時はカセットの用紙サイズ表示とセットした用紙のサイズ、トレイ給紙時はトレイ用紙サイズとセットした用紙のサイズを合わせ、［オンライン］を押してください。エラーが発生したページからプリントを継続します。また、用紙のサイズが違っていても［オンライン］を押して強制的にプリントすることができます。（→プリンタドライバのヘルプ）

42　インタフェース：1　エラー

原　因：拡張ボードスロットに取り付けたオプションの拡張ボード（プリントサーバなど）に重度の障害が発生した

処　置：電源をオフにした後、オプションの拡張ボードの取り付けをチェックし、電源を入れなおします。（→オプションの拡張ボードの取扱説明書）

重要　上記の操作をしてもなおらない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

43　インタフェース：1　エラー　<エラースキップ可>

原因1：拡張ボードスロットに取り付けたオプションの拡張ボード（プリントサーバなど）に軽度の障害が発生した

処　置：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

原因2：リセット処理により、オプションの拡張ボードの通信が切断された

処　置：［オンライン］を押します。

52　イメージモード　フカ

原　因：イメージモードでプリント中に、対応していない形式のデータを受信した

処置1：［オンライン］を押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

処置2：イメージデータ形式に対応したプリンタドライバでプリントしなおします。

52　ヌリツブシメイレイ　フカ　＜エラースキップ可＞

原　因：ファインモードで高階調のプリント中に、塗り潰し命令を受信した

重要　このメッセージは、解像度を「ファインモード」で階調を「高階調」に設定した場合のみ表示されます。

処置1：[オンライン] を押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

処置2：リセットメニューでソフトリセットした後、プリンタドライバの解像度をクイックモードに設定し、プリントしなおします。（→プリント画質について：P.2-12）

処置3：[リセット] を押してソフトリセットした後、プリンタドライバの階調を「標準」に設定し、プリントしなおします。

53　セキュア　フカノウ

原　因：本プリンタ専用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたプリントデータが送られてきた

処　置：リセットメニューでソフトリセットをしてプリントデータを削除します。

53　パケットエラー　＜エラースキップ可＞

原　因：プリントデータ受信中にデータを認識できなくなった

処置1：[オンライン] を押すと、そのプリントデータを無視して、次のプリントを開始します。

処置2：本プリンタをネットワークに接続しているときは、ネットワーク上のすべてのパソコンをチェックし、プリンタドライバを本プリンタ対応にアップデートします。（→LIPS ソフトウェアガイド／本編）

処置3：Canon Driver Information Assist Service がインストールされていることを確認します。インストールされていないときは、インストールします。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第2章 Windows から印刷するには」）

F2　フォント　ミジッソウ　　　<エラースキップ可>

原　因：オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、プリント時に消去されていた

処置1：［オンライン］を押すと、間引き描画でプリントを継続します。

処置2：メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、プリントしなおします。

F9-nn　チェック　プリンタ（nnは2桁の英数字）

原　因：プリントデータ処理中にトラブルが発生した

処　置：電源をいったんオフにし、3秒以上待ってからオンにしてプリントしなおします。

重要　上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイに表示されている4桁の英数字を書きとめたあと、電源をオフにして電源プラグを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。

FF　フォント　フル　　　<エラースキップ可>

原　因：登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした

処置1：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

処置2：LIPS のコマンドをプログラミングしてプリントしたときは、不要な文字セットを消去してからプリントしなおします。（→プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」）

OF　オプション　ゴソウサ

原因1：ペーパーフィーダが正しく接続されていない

処　置：プリンタの電源をオフにし、ペーパーフィーダを正しく取り付けます。（→設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」）

原因2：プリンタの電源を入れたまま、ペーパーフィーダを取り外した

処　置：プリンタの電源をオフにし、ペーパーフィーダの取り外しまたは取り付けを正しく行ってから、電源を入れなおします。（→設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」）

原因3：ペーパーフィーダ接続部の接触不良が起きている

処　置：電源をオフにし、電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

原因4：本プリンタ用ではないペーパーフィーダが取り付けられた

処　置：電源をいったんオフにし、本プリンタ用のペーパーフィーダを取り付けてから電源をオンにしなおしてください。（→設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」）

PC　XXXヨウシニ　コウカン（XXXは用紙サイズまたは略号）　<エラースキップ可>

原　因：アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや給紙トレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている

処置1：選択されている給紙カセットにアプリケーションソフトで設定したサイズの用紙をセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

処置2：給紙トレイの場合はトレイ用紙サイズを確認し、アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合っていない場合は正しく設定してください。（→給紙トレイからプリントする：P.3-30）

処置3：［給紙選択］で、サイズの合った用紙がセットされている給紙カセットを選択してください。（→給紙元を選択する：P.3-11）

処置4：［オンライン］を押し、セットされている用紙に強制的にプリントしてください。給紙トレイの場合、トレイ用紙サイズの設定が自動的にアプリケーションソフトの設定に切り替わります。

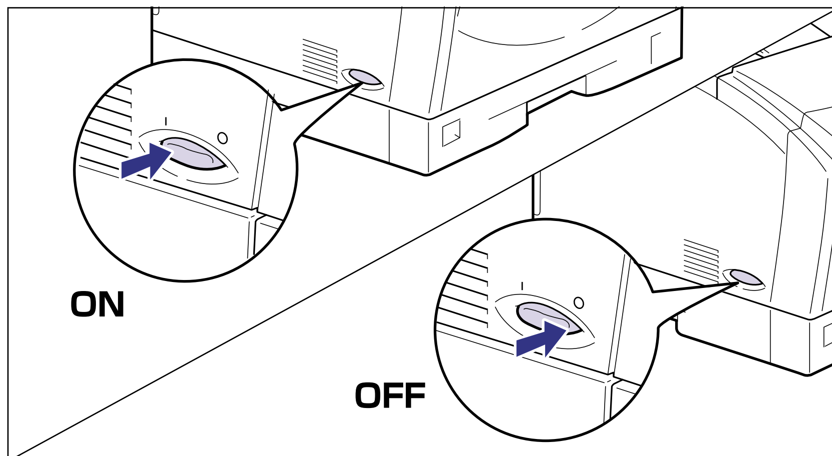
重要　「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されているときに上カバーを開けると、メッセージの表示が消えることがありますが、必ず表示されていたメッセージにしたがって用紙を交換してください。

サービスコール表示

プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
nn-nn ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ （nnは2桁の英数字）	プリンタ内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。
5F-50 ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ	プリンタの定着器にトラブルが発生した。	次の手順2以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5F-54 ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ	プリンタのモーターにトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。
5F-nn ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ （nnは2桁の英数字）	プリンタの内部に結露が発生した可能性がある。	本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、プリンタを設置してある環境に2時間以上放置してからプリントしてください。結露が発生したままの状態でプリントすると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、印字不良となることがあります。 この処置を行ってもメッセージが消えないときは、次の手順2以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
F9-nn ﾁｪｯｸ ﾌﾟﾘﾝﾀ （nnは2桁の英数字）	プリントデータ処理中にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。

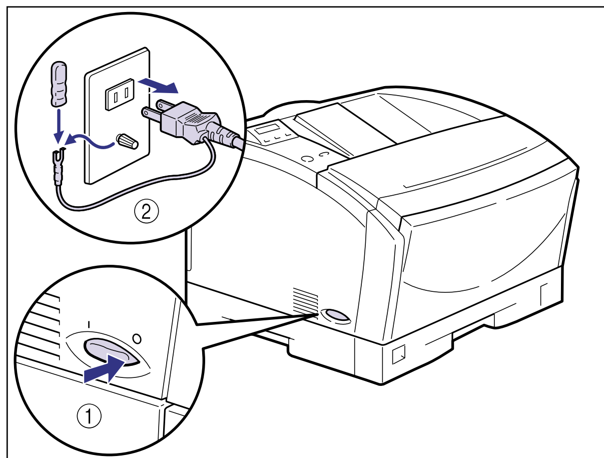
1 電源をいったんオフにし、3秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。



メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 ディスプレイに表示されている4桁の英数字とメッセージを書きとめます。

3 電源をオフにし①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します②。





電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめた４桁の英数字とメッセージをお知らせください。

正しいプリント結果が得られないときには

本プリンタの使用中に、トラブルかなと思われるような症状が起ったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要
- ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」（→P.5-15）、「サービスコール表示」（→P.5-28）を参照してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」（→ P.5-4）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起きたときや、記載されている処置を行っても直らないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

電源やプリンタ動作のトラブル

電源が入らない

原因１：電源コードのプラグが電源コンセントから抜けている

処　置：電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。

原因２：ブレーカーが落ちている

処　置：配電盤のブレーカーをオンにします。

原因３：電源コード内部で断線している

処　置：同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。

プリンタが動かない

原因1：オフラインになっている

処　置：[オンライン] を押し、オンラインランプを点灯します。（→オンラインとオフライン：P.2-8）

原因2：メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置：[オンライン] を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→プリントを中止したいときは：P.2-14）

原因3：インタフェースケーブルが外れている

処　置：インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタのインタフェース接続部にしっかりと接続します。（→設置ガイド「第2章 プリンタの設置」）

原因4：本プリンタやオプション品に故障がある

処　置：ディスプレイのメッセージを見て、処置します。（→メッセージ一覧：P.5-15、サービスコール表示：P.5-28）

プリントが途中で止まってしまった

原　因：メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置：[オンライン] を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→プリントを中止したいときは：P.2-14）

操作パネルのランプがつかない

原因1：電源がオンになっていない

処　置：電源をオンにしてください。

原因2：スリープモードになっている

処　置：プリントデータを送るか、操作パネルのキーのどれかを押すとプリント可能な状態に戻ります。

操作パネルのキーが機能しない

原因１：オンラインになっている

処　置：［オンライン］を押し、オフライン状態にします。（→オンラインとオフライン：P.2-8）

原因２：メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置：［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→プリントを中止したいときは：P.2-14）

原因３：キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される）

処　置：プリンタの管理者にご連絡ください。

プリントするたびに紙づまりが起こる

原因１：給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙が積載制限を超えている

処　置：用紙を積載制限の範囲内まで減らし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17、給紙トレイからプリントする：P.3-30）

原因２：給紙カセットや給紙トレイに用紙が正しくセットされていない

処　置：用紙を正しくセットしなおし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17、給紙トレイからプリントする：P.3-30）

原因３：給紙カセットや給紙トレイに使用できない用紙がセットされている

処　置：使用できる用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.3-2）

原因４：紙づまり処理が不完全である

処　置：紙づまりを除去し、プリントしなおしてください。（→紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）：P.5-4）

プリント結果のトラブル

用紙の角が折れたりしわがよる

原因1 ：給紙カセットに用紙が正しくセットされていない

処　置 ：給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

原因2 ：給紙トレイに用紙を斜めにセットした

処　置 ：給紙トレイにまっすぐに用紙をセットしてください。（→給紙トレイからプリントする：P.3-30）

原因3 ：湿っている用紙を使用している

処　置 ：乾いた用紙と交換してください。

給紙カセットやオプションのペーパーフィーダから給紙した場合に、画像が左側に片寄ってプリントされる、または斜めに傾いてプリントされる

原　因 ：給紙カセットやオプションのペーパーフィーダの用紙ガイドが正しくセットされていない

処　置 ：用紙ガイドを正しくセットしなおして、再度プリントしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17）

意味不明の半角文字がプリントされる

原　因 ：付属の Windows 用プリンタドライバを組み込まずにWindows からプリントした

処　置 ：付属のWindows用プリンタドライバを組み込み、プリントしなおしてください。（→LIPS ソフトウェアガイド／本編「第2章 Windows から印刷するには」）

最後のページがプリントできない

原　因 ：データの終わりを表すコマンドが来ない（ジョブランプが点灯している）

処　置 ：[オンライン] を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。（印刷機能のないアプリケーションソフトでプリントした場合、最後のページのデータが1ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます）。（→プリントを中止したいときは：P.2-14）

データが用紙をはみだした（用紙の周囲のデータがプリントされない）

原因1 ：データのサイズより小さな用紙をセットした

処　置 ：データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。（→プリンタドライバのヘルプ）

原因2 ：用紙をセットする位置が合っていない

処　置 ：用紙を正しくセットし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-17、給紙トレイからプリントする：P.3-30）

原因3 ：余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした

処　置 ：データの周囲に5mm以上（封筒は10mm以上）の余白を取ってプリントしなおしてください（用紙の周囲5mm（封筒は10mm）の範囲にはプリントできません）。（→用紙について：P.3-2、アプリケーションソフトの取扱説明書）

印字位置がずれてしまう

原因1 ：プリンタドライバで［とじ方向］の「とじ代」が設定されている

処　置 ：プリンタドライバで［とじ方向］の「とじ代」の設定を「0」に設定し、プリントしなおします。（→プリンタドライバのヘルプ）

原因2 ：アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

処　置 ：アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）

用紙が真っ白で何もプリントされない

原因１：シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした

処　置：トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（➞トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

原因２：用紙が重なって送られた

処　置：給紙カセットや給紙トレイの用紙を、よく揃えてセットしなおしてください。OHP フィルムやラベル紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（➞給紙カセットからプリントする：P.3-17、給紙トレイからプリントする：P.3-30）

原因３：プリンタ内部でトラブルが発生している

処置１：ディスプレイに「nn-nn　サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置２：処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

用紙が真っ黒で何もプリントされない

原因１：トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置：トナーカートリッジを新品に交換してください。（➞トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

原因２：プリンタ内部でトラブルが発生している

処置１：ディスプレイに「nn-nn　サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置２：処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

ページの途中から次ページに分かれてプリントされる

原　因：アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置：1 ページに収まるようにアプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してからプリントしなおします。（➞アプリケーションソフトの取扱説明書）

縮小されてプリントされる

原　因 ： 縮小プリントの設定がされている

処　置 ： プリンタドライバやアプリケーションの倍率設定を確認してください。（→プリンタドライバのヘルプ）

用紙がカールする

原因1 ： 用紙が適切でない

処　置 ： 本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.3-2）

原因2 ： 用紙のプリント面が表裏逆向きにセットされている

処　置 ： 給紙カセットはプリント面を上向き、給紙トレイはプリント面を下向きにセットしなおして、プリントしてください。

原因3 ： 定着モードが用紙に合っていない

処　置 ： プリンタドライバの用紙タイプを「普通紙　L」に設定、プリントしてください。（→プリンタドライバのヘルプ）

印字品質のトラブル

印字がかすれる（白く抜ける）

原　因：トナーカートリッジの寿命がきている、またはトナーが均一になっていない（片寄っている）

処　置：トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり左右に5～6回、上下に5～6回振ってトナーをならしてセットしなおします。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。（→トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

白いすじが入る

原因1：トナーカートリッジの寿命がきている、またはトナーが均一になっていない

処　置：トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり左右に5～6回、上下に5～6回振ってトナーをならしてセットしなおします。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。（→トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

原因2：トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置：新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

印字が全体的にうすい、濃い

原因1：トナー濃度の設定が適当でない

処　置：セットアップメニューの拡張機能グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→印字濃度を調整する：P.4-25）

原因2：プリンタドライバで［トナー節約モード］が［使う］に設定されている

処　置：プリンタドライバで［トナー節約モード］を［使わない］に設定してください。（→プリンタドライバのヘルプ）

印字ムラが出る

原因1 ：トナーカートリッジの寿命がきている

処　置 ：トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり左右に5～6回、上下に5～6回振ってトナーをならしてセットしなおします。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。(→トナーカートリッジを交換する:P.4-2)

原因2 ：トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置 ：新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

原因3 ：用紙が湿っている、あるいは乾燥している

処　置 ：適切な用紙に交換してください。（→用紙について：P.3-2）

ファインモードでプリント時に画像が粗くなった、または正しくプリントできなかった

原　因 ：データが複雑、あるいは多量すぎて処理ができなかった

処置1 ：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、解像度を下げてプリントしてください。

処置2 ：リセットメニューでソフトリセットした後、解像度モードを下げてプリントしなおしてください。

処置3 ：ファインモードでプリントしたいときは、リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で空きRAM容量を増加してください。

- セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットする。（→LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」）
- オプションの拡張RAMを取り付ける。（→設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」）

プリントした用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する

原　因 ：定着ローラが汚れている

処　置 ：定着ローラを清掃してください。（→定着ローラを清掃する：P.4-22）

黒いすじが連続で何枚にもわたって入る

原　因：トナーカートリッジの寿命がきている

処　置：新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.4-2）

網掛けを使用した部分に帯状の印字ムラがでる

原　因：プリント時の環境条件によっては、このような現象が発生することがある

処　置：プリンタドライバの「特殊濃度調整を行う」チェックボックスをチェックして、再度プリントしてください。この操作を行っても印字ムラが発生する場合は、プリンタドライバの「特殊濃度調整を行う」で、濃度を低く設定したあとに、再度プリントしてください。（→プリンタドライバのヘルプ）

幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えてプリントした場合に、用紙の両端に一度印字した文字や画像の残像が印字される

原　因：プリント条件や「特殊モードK 」の設定によっては、このような現象が発生することがある

処　置：セットアップメニューの拡張機能グループの「特殊モードK」の設定を「モード1」に変更し、再度プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第３章 セットアップメニューの設定項目」）

プリンタの機能を確認したいときは

本プリンタは、メニューの設定値などを確認できるステータスプリントの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終わった後やプリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

ステータスプリント

ステータスプリントでは、プリンタで現在使用できる機能や、メニュー設定値の一覧などがプリントされます。ステータスプリントを行うときは、次の手順で操作します。

メモ
- ステータスプリントは、A4サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。ただし、コピー枚数は無視され、常に1枚の用紙がプリントされます。

オンライン

1 [オンライン]を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

ユーティリティ
<

2 [ユーティリティ]を押します。

ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ

ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ →

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

実行

3 [実行]を押します。

ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ →

01 ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ

ディスプレイに「01 ステータス　プリント」と表示され、ステータスプリントがプリントされます。

4 ステータスプリントのプリント内容を確認します。

ステータスプリントを行うと、次のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。



ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したステータスプリントとは、一部内容が異なる場合があります。

Canon STATUS PRINT LASER SHOT LBP-1420

A3 セントロニクス USB 拡張

バージョン : XXXXXXXXXXX
サブバージョン : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
エンジンバージョン : XXXXXX

全体メモリ搭載状況 : 12 (12 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 1858 Kbytes

拡張機能グループ
スリープ動作 : する
スリープモード : 15分
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する

給紙グループ
給紙モード : 自動
トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
自動選択/トレイ : 使う
自動選択/カセット1 : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
用紙名称/トレイ :
用紙名称/カセット1 :

レイアウトグループ
コピー枚数 : 1枚
縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

印字調整グループ
スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
階調処理 : 標準
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
中間調選択 : パターン1
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
印字動作 : 自動

インタフェースグループ
インタフェース選択 : 自動
タイムアウト : 15秒
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP
ジョブ区切り : しない

ユーザメンテナンスグループ
特殊モードK : モード1

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : LASER SHOT LBP-1420
Description : Canon LASER SHOT LBP-1420
CompatibleID :

搭載コントローラ
LIPS Ver.01.26 LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2627
シリアルナンバー : 000000000000

Page Count : 0000007

5 困ったときには

付録

6
CHAPTER

この章では、おもな仕様、用語集、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを記載しています。

おもな仕様

■ ハードウェアの仕様

形式		デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式		電子写真方式（ローラー定着）
プリント速度		20*枚／分（A4, 横送り, 300/600dpi） *注：プリント速度は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、プリント枚数の設定により遅くなることがあります。
ウォームアップ時間		30秒以下（20℃, 拡張RAM未装着時）
ファーストプリント時間		約10.1*秒（A4,横送り, 300/600dpi, 20℃, カセット給紙/フェースダウン排紙） *注：ファーストプリント時間は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、定着モードの設定により遅くなることがあります。
用紙サイズ	**カセット1**	A3、B4、A4、A4R、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数：約250枚（64g/m^2）
	ペーパーフィーダカセット2（オプション）	A3、B4、A4、A4R、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数：約250枚（64g/m^2）
	ペーパーフィーダカセット3（オプション）	A3、B4、A4、A4R、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数：約250枚（64g/m^2）
	ペーパーフィーダカセット4（オプション）	A3、B4、A4、A4R、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数：約250枚（64g/m^2）
	給紙トレイ	幅：76.2～297mm　長さ：98～431.8mm 最大積載枚数：約100枚（64g/m^2）
排紙方式		フェースダウン
排紙積載枚数		排紙トレイ　約250枚（64g/m^2）
稼働音音圧レベル（プリンタ本体のみ）（バイスタンダ位置）（ISO9296に基づく公表騒音放出値）		スタンバイ時最大（600dpi）　38dB[A] 動作時最大（600dpi）　53dB[A]
使用環境（プリンタ本体のみ）		動作環境温度　10～32.5℃ 湿度　20～80%RH（結露しないこと）

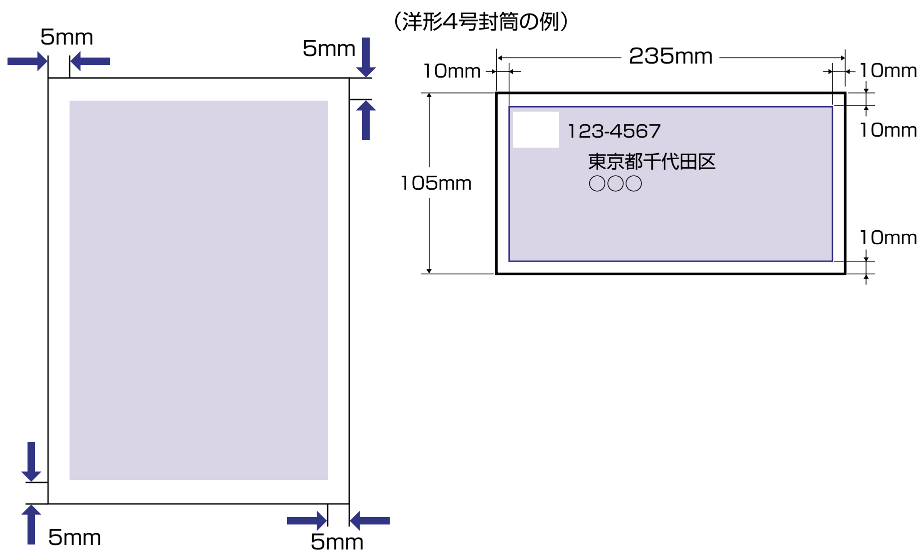
保管環境（プリンタ本体のみ）	保管環境温度　0～35.0℃ 湿度　10～80%RH（結露しないこと）
電源	AC100V±10%（50 / 60Hz±2Hz）
消費電力（20℃時）	動作時平均　約422W*1 スタンバイ時平均　約78W*1 スリープモード時　約10W以下*1 最大835W以下*1, 2 *1 本体標準状態での値です。 *2 フルオプション装着時は840W以下です。ただし、この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。
消耗品	キヤノン純正品EP-65トナーカートリッジ プリント可能ページ数　約10,000*ページ * A4片面プリント、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合
質量	プリンタ本体（トナーカートリッジは除く）.... 約15.0kg 250枚給紙カセット.. 約1.4kg トナーカートリッジ （キヤノン純正品EP-65トナーカートリッジ...... 約2.0kg 250枚ペーパーフィーダ（PF-65D）*.............. 約5.0kg *印の製品は、別売のオプションです。

■ コントローラの仕様

CPU	IBM PowerPC 405（200MHz）
メモリ（RAM）容量	標準12 MB オプションの拡張RAMにより、最大140MBまで拡張可能
ホストインタフェース	パラレルコネクタ（IEEE1284／双方向）×1個 USBコネクタ（V1.1スレーブのみ）×1個
ユーザインタフェース	LCD16桁 ×1段 LEDランプ9個 操作キー 8個
RAMスロット	1
拡張ボードスロット	1

■ ソフトウェアの仕様

内蔵コントロールコマンド	LIPS IVs
有効印字領域	上下左右とも周囲5mm（封筒は10mm）の範囲には印字できません。

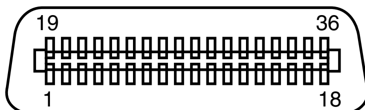


インタフェース仕様

パラレルインタフェース（IEEE1284準拠）

■ 信号線とピン配置

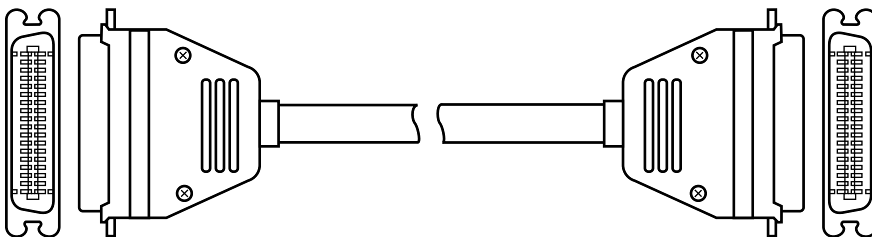
ピン番号	信　号	ピン番号	信　号
1	$\overline{\text{STROBE}}$	19	GND（$\overline{\text{STROBE}}$）
2	DATA0	20	GND（DATA0）
3	DATA1	21	GND（DATA1）
4	DATA2	22	GND（DATA2）
5	DATA3	23	GND（DATA3）
6	DATA4	24	GND（DATA4）
7	DATA5	25	GND（DATA5）
8	DATA6	26	GND（DATA6）
9	DATA7	27	GND（DATA7）
10	$\overline{\text{ACK}}$	28	GND（PERROR, SELECT, $\overline{\text{ACK}}$）
11	BUSY	29	GND（BUSY, $\overline{\text{FAULT}}$）
12	PERROR	30	GND（$\overline{\text{AUTOFD}}$, $\overline{\text{SELECT IN}}$, $\overline{\text{INIT}}$）
13	SELECT	31	$\overline{\text{INIT}}$
14	$\overline{\text{AUTOFD}}$	32	$\overline{\text{FAULT}}$
15	$\overline{\text{AUXOUT1}}$	33	AUXOUT2
16	Logic GND	34	AUXOUT3
17	Chassis GND	35	$\overline{\text{AUXOUT4}}$
18	Peripheral Logic High	36	$\overline{\text{SELECT IN}}$



メモ　「AUXOUT」は、拡張用の信号出力で、現在は未使用です。

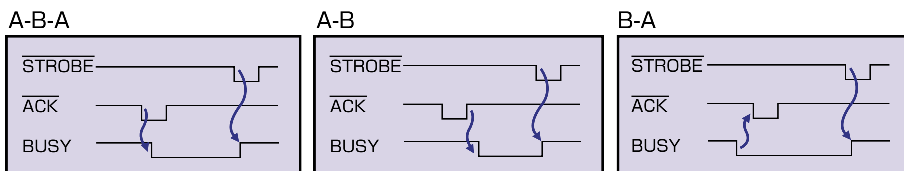
6
付録

■ コネクタおよびケーブル



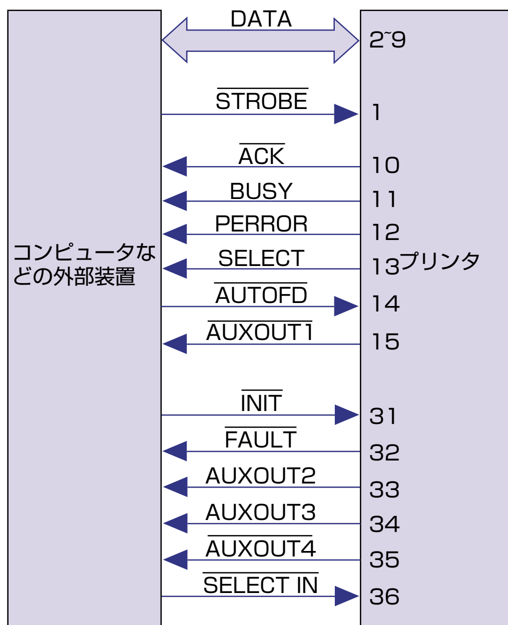
コネクタ：第一電子工業　57FE-30360 または相当品。
ケーブル：シールドケーブル（最長 3m）。

■ タイミングチャート



メモ　タイミングはメニュー機能の「拡張機能／インタフェースグループ」で変更します。（→LIPS 機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」）

■ 結線図



用語集

英数字

EP-65カートリッジ

キヤノン独自の、トナー、感光体ドラム、クリーニングユニットを一体にしたカートリッジです。トナーが無くなったら他のユニットも一緒に交換するため、常に安定した高印字品質を維持できます。また、交換作業も非常に簡単です。
EP-65は、A4原稿（印字比率：約5%、濃度：工場出荷時の初期値）で約10,000枚プリント可能です。

LIPS

LIPSとは、キヤノンの日本語プリンタ用に開発されたコントロールコマンドです。LIPS II、LIPS II+、LIPS III 、LIPS IV、LIPS IVc、LIPS IVsの6種類があり、LIPS IV、LIPS IVcはLIPS IIIの機能を拡張したもので、フルカラープリントにも対応しています。本プリンタは標準でLIPS IVsに対応しています。LIPS IVsはWindowsおよびMacintosh専用のコントロールコマンドです。

MaxiMem（マキシメム）

高精細プリントを最大限に引き出す、キヤノン独自のメモリ効率化機能です。

NetSpot Console

NetSpot Consoleはパソコンからネットワークで接続したプリンタの管理を行うユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてインストールして使用します。
（→LIPSソフトウェアガイド／本編「第5章 プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには」）

NetSpot Device Installer

NetSpot Device Installerはパソコンからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティソフトです。パソコンへインストールすることなく使用できます。
（→LIPSソフトウェアガイド／本編「第5章 プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには」）

NetSpot Job Monitor

NetSpot Job Monitorは、パソコン側でプリンタの状態をリアルタイムで表示するためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてパソコンにインストールして使用します。
（→LIPS ソフトウェアガイド／本編「第５章 プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには」）

NVRAM

NVRAM とは、Non-Volatile Random Access Memory の略で、電源を切っても内容が保存される、読み書き可能なメモリのことです。本プリンタにはメニュー機能の設定内容を保存するために用いられており、常に最新の設定内容が保存できるようになっています。

RAM

RAM とは「Random Access Memory」の略で、読み書き可能なメモリですが、電源を切ると登録した内容が消えてしまいます。本プリンタでは、システムワークメモリや受信バッファに使っています。また、本プリンタのメモリ容量を増加するために、オプションの拡張RAMが用意されています。

USB コネクタ

USBとは「Universal Serial Bus」の略で、パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。Windows パソコンやMacintoshパソコンのプリンタ接続やキーボード接続、マウス接続などに利用されています。

ア行

オーバレイ

2ページ分のデータを重ね合わせて1ページの書類としてプリントすることをいいます。本プリンタには、オーバレイ用のメモリ領域が用意されています。このメモリにあらかじめ重ね合わせてプリントしたいデータを登録しておくことで、プリント時に重ね合わせることができます。各種の帳票を多量にプリントするときなど、まず帳票のフォーマットデータを登録しておけば、後から数値などのデータを送るだけでスピーディーにプリントすることができます。
（→LIPS ソフトウェアガイド／本編）

オフライン

パソコンとプリンタ間の回線が切断され、パソコンからのプリントデータを受信できない状態をいいます。用紙の選択やメニュー機能を使うときは必ずオフラインの状態にします。オフライン状態では、操作パネルのオンラインランプは消灯しています。
（→「オンラインとオフライン」：P.2-8）

オンライン

パソコンとプリンタ間の回線がつながって、パソコンからのプリントデータを受信できる状態をいいます。プリントは必ずオンラインの状態で行います。用紙の選択やメニュー機能は設定できません。オンライン状態では、操作パネルのオンラインランプが点灯しています。
(→「オンラインとオフライン」: P.2-8)

カ行

拡張RAM

プリンタのメモリを増設するためのオプションです。16MB、32MB、64MB、128MB のうちいずれかを 1 個まで増設できます。標準で 12MB のメモリを最大140MBまで拡張できます。拡張RAM を装着すると、システムワークメモリや受信バッファ、描画メモリ容量を増し、ファインモードでプリント可能な用紙サイズを拡大します。
(→設置ガイド「第 1 章 設置する前に」)
(→受信バッファ、システムワークメモリ、描画メモリ)

クイックモード

画像データや写真イメージデータをデータ処理解像度 300dpi で出力するモードです。

クリーニング用紙

定着ローラを清掃するための用紙です。プリントした用紙が黒点状に汚れるときは、クリーニング用紙をプリントして、定着ローラの清掃を行います。
(→「定着ローラを清掃する」: P.4-22)

コントロールコマンド

ページにプリントする文字や罫線、網かけ、図形、イメージなどのデータ、および印字位置や印字方法など、どこに何をどのようにプリントするかをプリンタに指示するための命令です。本プリンタは、キヤノン独自のLIPS IVs を内蔵しています。
(→エミュレーションモード)

サ行

システムワークメモリ

主に多角形描画などの図形処理のときにシステムが使用するメモリです。工場出荷時の状態では、搭載されているメモリ容量に応じて自動的に確保されます。取り付けられている拡張RAMや印字動作の設定によって確保できる容量は変わります。
（→拡張RAM、描画メモリ、受信バッファ）

受信バッファ

パソコンから送られたプリントデータを一時的に保存しておくためのメモリです。受信バッファのサイズを大きくすると、一度にたくさんのプリントデータを保存しておくことができるようになり、パソコン側で印刷処理から解放される時間が早くなります。取り付けられている拡張RAMや印字動作の設定によって確保できる容量は変わります。
（→拡張RAM、描画メモリ、システムワークメモリ）

ジョブ

パソコンから送られるひとまとまりのプリントデータのことをいいます。通常、パソコンから送られるプリントデータには、開始と終了を示す命令（コマンド）がついており、この命令で他のジョブと区別します。

スーパースムージングテクノロジー

キヤノン独自のイメージ処理技術で、文字や図形の輪郭部のギザギザを自動的に検知してスムージング処理を行います。本プリンタのレーザビームの走査線密度はクイックモードで300dpi、ファインモードで600dpiですが、スーパースムージングテクノロジーで、クイックモード時 1200dpi相当×600dpi相当、ファインモード時2400dpi相当×600dpiの高品位印字を実現しています。

スケーラブルフォント

文字を外郭の曲線や直線を数式で記録し、数値を変えることで文字を拡大･縮小したり変形できるタイプのフォントです。輪郭線で文字を表すため、拡大しても曲線部分がギザギザになりません。本プリンタでは、パソコンから送られたフォントデータを使ってプリントを行います。

セントロニクス

コンピュータと周辺機器を接続するパラレルインタフェースの代表的な規格です。コンピュータで扱っている16ビットや32ビットのデータを、8本の線を使い、8ビットずつ同時に伝送します。高速なデータ伝送が可能ですが、ケーブル長の限界が3m程度に制限されます。現在では、ほとんどのパソコンでプリンタケーブルの規格として採用されています。
本プリンタでは、接続しているコンピュータからプリンタの設定や状態の管理ができる、IEEE1284.4対応の双方向通信が可能な方式を採用しています。
(→パラレルインタフェース)
(→設置ガイド「第2章 プリンタの設置」)

ハ行

パラレルインタフェース

パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式(インタフェース)のひとつです。
パソコンで扱っている16ビットや32ビットのデータを、複数の線を使って数ビットずつまとめて(パラレルで)伝送します。データをまとめて送るため高速伝送が可能ですが、ケーブルの線数を多く必要とし、線間の干渉などによる信号ロスも多いため、ケーブルの長さに制限があります。パラレルインタフェースの代表的なもののひとつが「セントロニクス」です。
(→USBコネクタ、セントロニクス)
(→設置ガイド「第2章 プリンタの設置」)

ビットマップフォント

1つの文字を点の集合で表したフォントのことです。ビットマップフォントは拡大率(文字サイズ)に応じてパターンが必要で、拡大率に制限があります。グラフィックセット、文字ピッチ、文字サイズ、文字スタイル、文字太さ、書体(これらを属性と呼ぶ)の組み合わせ方によっていろいろなフォントになります。

描画メモリ

ファインモード(600dpi)時に確保する描画用のメモリ容量です。印字動作を「画質優先」に設定すると、システムワークメモリや受信バッファ用のメモリを自動調整し、入力データに依存せずに600dpiの処理が可能になります。また、ファインモードでプリント可能な用紙サイズは、取り付けられている拡張RAMの容量で変わります。
(→LIPS機能ガイド「第3章 セットアップメニューの設定項目」)
(→拡張RAM、受信バッファ、システムワークメモリ)

ファインモード

画像データや写真イメージデータを高品位なデータ処理解像度600dpiで出力するモードです。

フォント

印字する文字や数字やシンボルの集合のことをフォントと呼びます。1つのフォントでは文字やシンボルは同じデザインとなっていますが、フォントごとに文字のデザインが異なり、このデザインのことを書体と呼びます。文字を表すデータの違いでビットマップフォントとスケーラブルフォントがあります。

プリンタドライバ

アプリケーションソフトで作成したデータをプリンタが受け付けるデータに変換するためのソフトウェアです。通常、アプリケーションソフトにプリンタの種類毎にファイルで用意され、接続したプリンタに合わせてアプリケーションソフトに組込んで使用します。お使いのプリンタに対応したプリンタドライバがないと、アプリケーションソフトから正しくプリントできません。本プリンタには、LIPS IVプリンタドライバが付属しており、単にデータの変換だけでなく、プリンタの各種機能の設定ができます。
（→LIPSソフトウェアガイド／本編）

マ行

メニュー機能

本プリンタの各種機能を設定するための機能です。操作パネルのキーから設定できます。
（→LIPS機能ガイド）

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

設置サービスのご案内

本プリンタの設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。

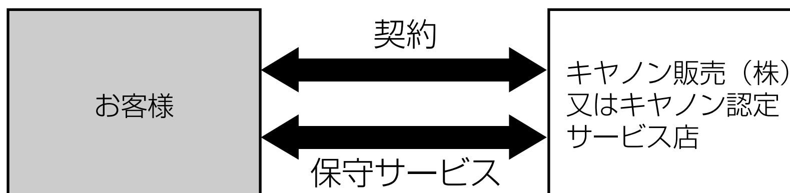
保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、３年間、４年間、５年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様IDとトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。
「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後７年間です。

無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

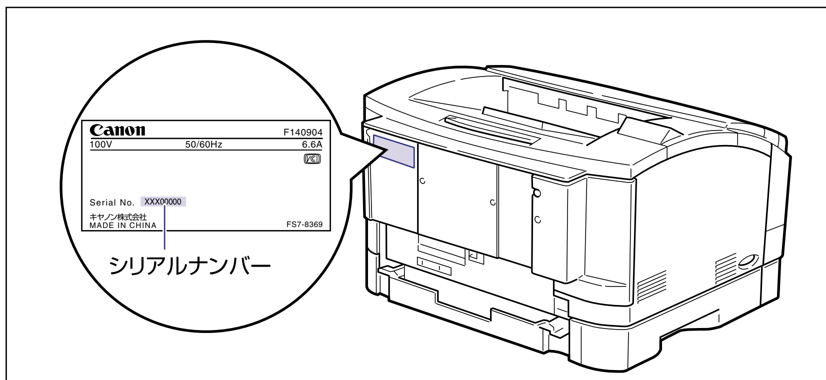
6
付録

シリアルナンバーの表示位置について

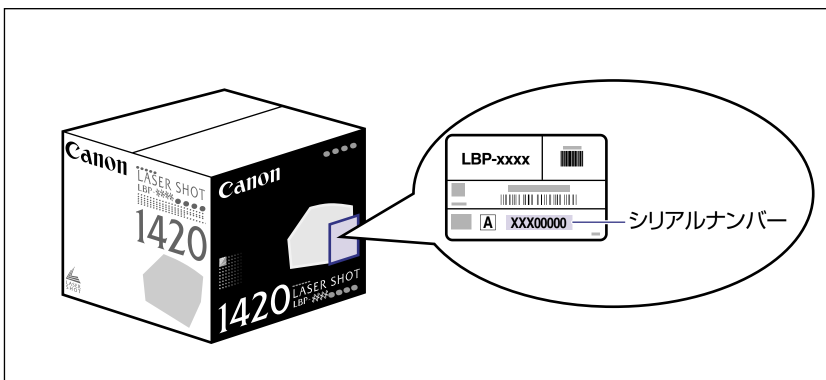
本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー（Serial No.）が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要 シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面



■ 梱包箱外側



6
付録

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

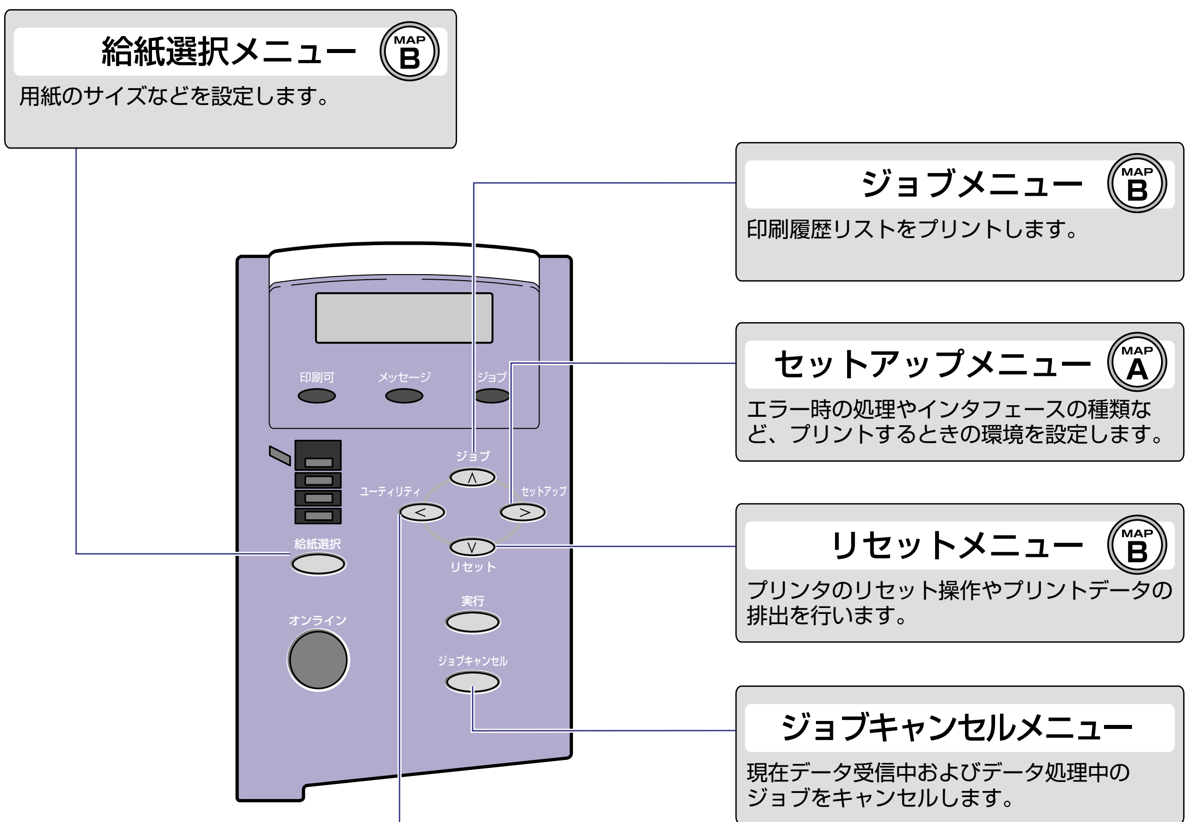
ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ（http://canon.jp/）**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ **CD-ROMの代引き配送サービス**
プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMを有料（代金引き換え）にてお届けいたします。
ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

メニュースタートアップ



※ジョブキャンセルメニューの詳細については、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイド「第2章 メニューの機能と操作」を参照してください。

ユーティリティメニュー MAP B

プリンタの現在の設定内容などの内部情報をプリントします。

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当する MAP A から MAP B を参照してください。

MAP A セットアップメニューを表示する

1.［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push オンライン

2.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

Push ジョブ ユーティリティ セットアップ リセット

MAP B 給紙選択メニューを表示する

1.［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push オンライン

2.［給紙選択］を押します。
給紙選択メニューが表示されます。

キュウシ モート゛ →

Push 給紙選択

MAP B ジョブメニューを表示する

1.［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push オンライン

2.［ジョブ］を押します。
ジョブメニューが表示されます。

シ゛ョフ゛
インサツリレキ リスト ↓

Push ジョブ ユーティリティ セットアップ リセット

MAP B ユーティリティメニューを表示する

1.［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push オンライン

2.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ
ステータス フ゜リント →

Push ジョブ ユーティリティ セットアップ リセット

MAP B リセットメニューを表示する

1.［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push オンライン

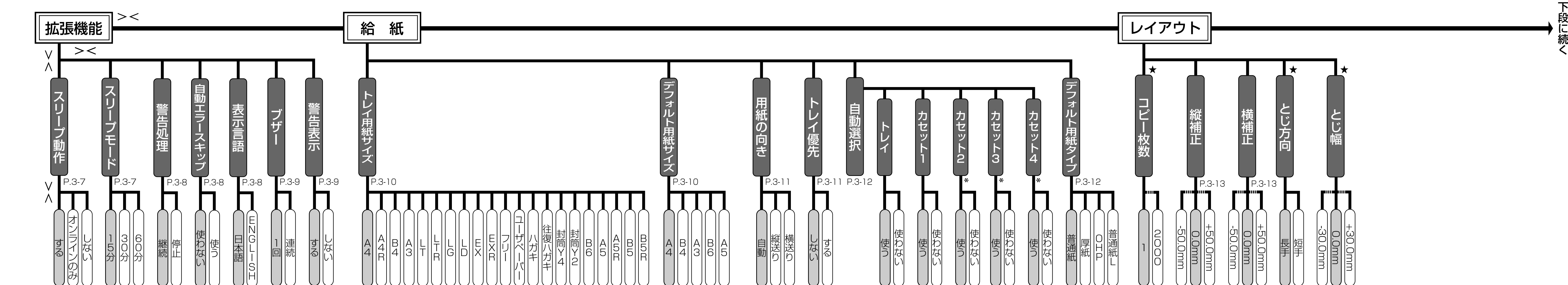
2.［リセット］を押します。
リセットメニューが表示されます。

リセット
ソフトリセット →

Push ジョブ ユーティリティ セットアップ リセット

MAP A

メニュールートマップ

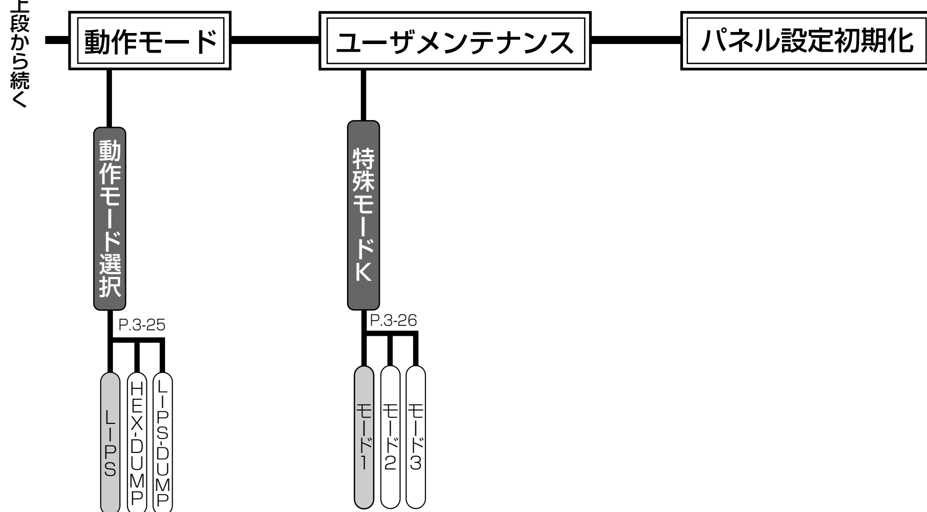


上段から続く

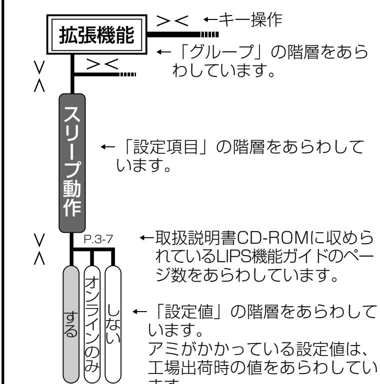
印字調整 ＞＜
- スーパースムーズ ★: 使う / 使わない
- 解像度 ★: ファイン / クイック
- 階調処理 ★: 標準 / 高階調
- トナー節約 ★: 使わない / 使う
- トナー濃度 P.3-14: 1 / 4 / 8
- 中間調選択 ★: パターン1 / パターン2
- バンド制御 P.3-14: する / しない
- ページ制御 *P.3-15: する / しない
- 画質警告 P.3-15: 継続 / 停止
- 印字動作 P.3-16: 自動 / 画質優先 / 登録優先

インタフェース
- インタフェース選択 P.3-18: 自動 / セントロニクス / USB / 拡張I/F *
- タイムアウト P.3-18: 15秒 / 300秒 / しない / 5秒
- セントロニクス設定 *
  - busy-ack P.3-19: A-B-A / A-B / B-A
  - セントロ受信速度 P.3-20: 高速 / 中速 / 低速
  - セントロ送信速度 P.3-20: 高速 / 中速 / 低速
  - インプットプライム P.3-20: 動作モード依存 / リセット
  - 双方向 P.3-21: ECP / ニブル / 使わない
  - ジョブ区切り P.3-22: しない / する
- 拡張ネットワーク *
  - TCP/IP P.3-22
    - フレームタイプ: ETHERNET2 / 無効
    - IPモード *: 手動 / 自動
    - プロトコル *
      - DHCP: オフ / オン
      - BOOTP: オフ / オン
      - RARP: オフ / オン
    - アドレス *
      - IPアドレス: (数値入力)
      - サブネットマスク: (数値入力)
      - ゲートウェイアドレス: (数値入力)
  - 設定登録 P.3-23
  - ネットワーク設定初期化 P.3-23
- コネクション認識 *P.3-24: する / しない

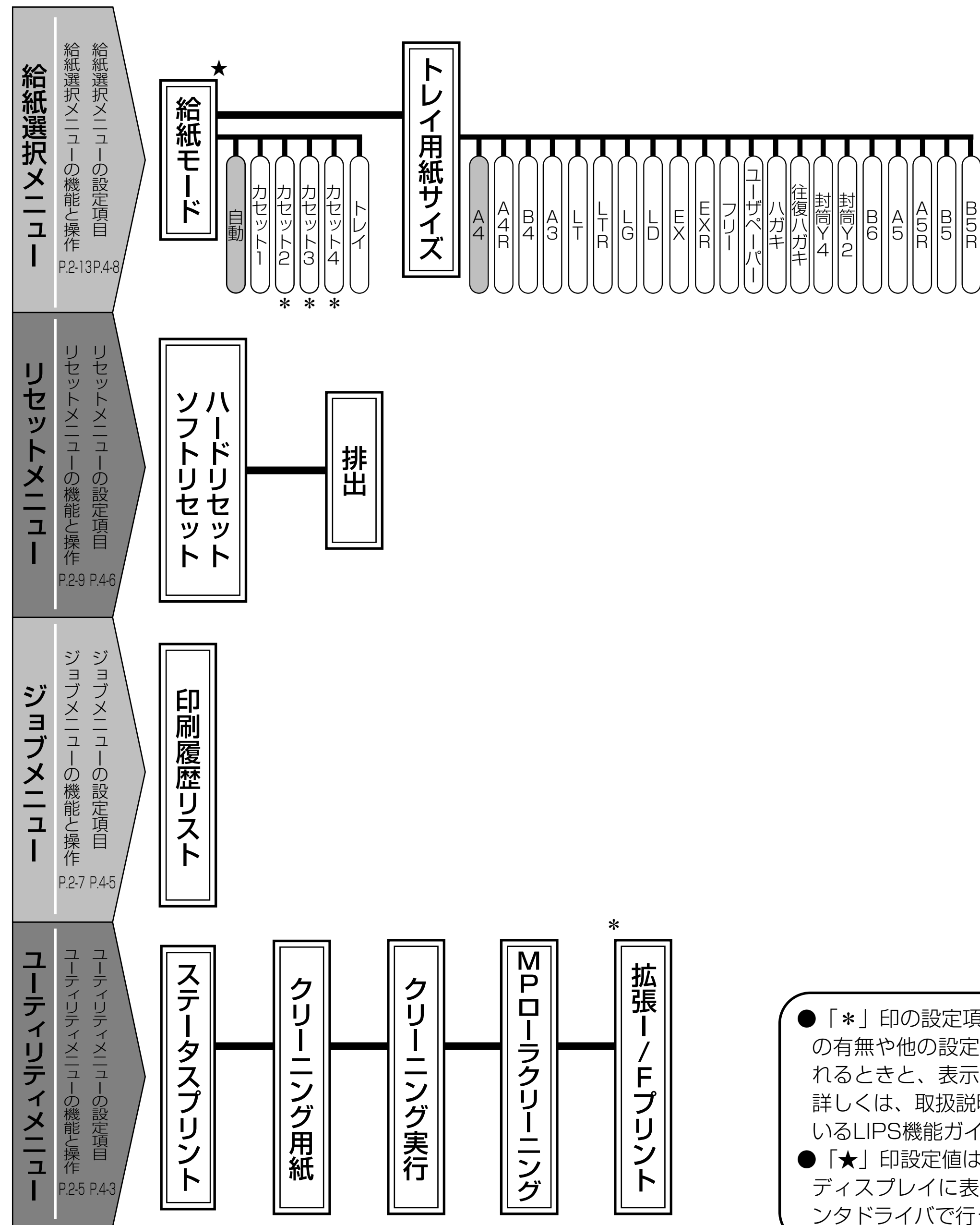
下段に続く



ルートマップの見かた



- ●ルートマップ中のページ数は取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。
- ●ルートマップ中の「┅」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- ●「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。
- ●「★」印の設定値は、プリンタの操作パネルのディスプレイに表示されますが、設定はプリンタドライバで行ってください。
- ●キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの∧∨＜＞と［実行］の5つのキーを使って操作します。
  ∧ 上の項目に戻る。
  ∨ 下の項目に進む。または項目を決定する。
  ［実行］でも同様の操作が行えます。
  ＜ 左の項目を選択する。
  ＞ 右の項目を選択する。



- 「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。
- 「★」印設定値は、プリンタの操作パネルのディスプレイに表示されますが、設定はプリンタドライバで行ってください。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

PUB. R-IJ-1057AF
©CANON INC. 2002